

加西市総合運動防災公園

基本構想

2025年(令和7年)8月

加西市

目次

◆基本構想

第1章 構想の策定にあたって	1
第2章 スポーツを取り巻く環境	2
1 国のスポーツに関する動向	2
2 県のスポーツに関する動向	3
3 社会潮流.....	3
第3章 関連計画等の整理	5
1 加西市のまちづくり・スポーツや防災施策の方向性	5
2 国・県のまちづくり・スポーツ施策の方向性	9
3 避難所等の災害対策に関する動き	9
第4章 加西市のスポーツに関する状況	11
1 人口動態、社会動態.....	11
2 加西市のスポーツに関する取組等	13
3 スポーツ施設の状況.....	16
4 地域や利用者ニーズ、留意点等の把握	23
5 加西市のスポーツ・スポーツ施設整備に関する課題	28
第5章 総合運動防災公園の目指す姿	31
1 基本コンセプト.....	31
2 導入施設・機能	36
第6章 整備候補地の検討	41
1 候補地の位置	41
2 候補地の評価基準.....	42
3 候補地の評価・選定	44
4 候補地における整備ゾーニングの検討.....	46
第7章 総合運動防災公園整備に想定される事業スキーム	48
1 本事業への適用が想定される事業スキーム.....	48
2 事業スケジュールの検討	50
参考資料	51
○参考 地域や利用者ニーズ把握のアンケート・ヒアリング	51

第1章 構想の策定にあたって

1 基本構想策定にあたって

人生 100 年時代といわれる中、少子高齢化やライフスタイルの多様化が進み、スポーツや健康づくりに対する関心が高まっている。

国では、「世界共通の人類の文化」であるスポーツを通じ、「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むこと」ができる社会を目指し、2011 年(平成 23 年)に「スポーツ基本法」を施行した。法では、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠であると規定されており、**体力の向上、生活習慣病の予防、健康長寿、相互コミュニケーション、青少年の健全育成等**、様々な目的でスポーツに取り組むことが推奨されている。

2015 年(平成 27 年)にはスポーツ庁を新設し、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現を目的とし、生活の中に自然とスポーツが取り込まれている「**スポーツ・イン・ライフ**」(生活の中にスポーツを)という姿を目指し、様々なプロジェクトを展開している。

近年では、**地域課題の解決のため、スポーツを活かした取組**が展開され、総合型地域スポーツクラブ設立による**地域活性化**、スポーツを通じた**共生社会の実現**、観光とスポーツを組み合わせた**スポーツツーリズム**による地域振興等にも着目されている。

市民の**健康増進**や**いきがづくり**、**スポーツを活かしたまちづくり**を進めていくため、これらの取組を実現する**スポーツ環境の基盤**を整えていくことが求められている。

加西市においては、2011 年(平成 23 年)に策定した**第5次総合計画**で、住民が身近な場所でスポーツに親しめる**機会の拡充**を打ち出し、2021 年(令和3年)策定の**第6次総合計画**では、スポーツを楽しむ機会の拡充の取組として、**総合体育館の整備**を位置づけた。さらに、同年に**第2次加西市スポーツ推進計画**を策定し、「**しょうがいスポーツ応援都市 KASAI**」を基本理念として掲げ、市民誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ活動ができる社会の実現を目指し、様々なスポーツ施策に取り組んでおり、体育館整備については、スポーツ活動の中核となり、地域コミュニティ形成に資する施設として、**多機能型総合体育館整備**を位置づけた経緯がある。

一方、我が国では、南海トラフ地震など、今後発生が懸念される大規模地震に加え、気候変動の影響により、局地的な集中豪雨や台風の激甚化など、自然災害の危険性が一層高まっている。こうした中で、災害による被害を最小限に抑えるためには、事前の備えとして地域全体の防災力を高めていくことが不可欠となっている。

これらの状況を踏まえ、加西市では、かねてより**整備ニーズがあった陸上競技場、総合体育館等**からなる**複合施設である総合運動防災公園**を将来的に整備していくにあたり、スポーツを取り巻く環境、加西市のまちづくりの方向性やスポーツや防災に関する状況を整理するとともに、総合運動防災公園の目指す姿を明らかにする。

第2章 スポーツを取り巻く環境

1 国のスポーツに関する動向

少子高齢化が加速し、高齢社会の到来、生涯学習・健康増進や健康寿命の延伸への意識の高まり等に伴い、スポーツを行う目的や、スポーツの内容の多様化、健康づくりについて行政に求められる役割も大きく変化してきている中、国においては、2010年(平成22年)に「新たなスポーツ文化の確立」を目指す姿とした「**スポーツ立国戦略**」が策定された。翌2011年(平成23年)には50年ぶりにスポーツ振興法が改正され、「**スポーツ基本法**」が施行された。2015年(平成27年)にはスポーツの価値を日本から世界に広げ、誰もがスポーツを楽しむ環境を整えるためスポーツ庁を新設された。

スポーツ基本法の施行に伴い、2012年(平成24年)にはスポーツ基本法の理念を具現化した「**スポーツ基本計画**」、2017年(平成29年)には**第2期スポーツ基本計画**、2022年(令和4年)には**第3期スポーツ基本計画**が策定された。

第3期スポーツ基本計画においては、多様な主体におけるスポーツの機会創出等、総合的かつ計画的に取り組む施策が打ち出された。

■ 第3期スポーツ基本計画で打ち出されている施策(抜粋)

①多様な主体におけるスポーツの機会創出

・地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動部活動改革の推進、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上

②スポーツによる健康増進

・健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業・保険者との連携強化等

③スポーツによる地方創生、まちづくり

・武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加速化等

④スポーツを通じた共生社会の実現

・障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信等

また、ラグビーワールドカップが2019年(令和元年)、東京オリンピック・パラリンピックが2021年(令和3年)に開催され、スケートボード、BMX、スポーツクライミング等新たな競技が実施され、「**アーバンスポーツ**」をはじめ、スポーツの機運の高まりにつながっている。

スポーツ施設関連については、2018年(平成30年)にスポーツ庁、経済産業省が打ち出したスタジアムやアリーナを核とした官民による新しい公益の在り方が、「**スタジアム・アリーナ改革ガイドブック**」によって提示された。

スポーツを観ることができる施設として、高付加価値のサービスを提供し、にぎわいの創出や持続可能なまちづくり等の実現、それに伴う税収の増加等も含めて、投資以上の効果を地域にもたらすプロフィットセンター化を図っていくことが必要と位置づけられている。

地方公共団体は、「**観るスポーツ**」の価値を認識し、スポーツの可能性を最大限に活用する施設整備や柔軟な対応を図ることとされている。

2 県のスポーツに関する動向

兵庫県では、2012年(平成24年)に「**兵庫県スポーツ推進計画**」を策定し、「一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会『スポーツ立県ひょうご』の実現」を基本理念に掲げ、スポーツ施策を進めてきた。

2022年(令和4年)には「**第2期兵庫県スポーツ推進計画**」を策定し、「『**する・みる・ささえる**』スポーツへの参画を通じて、『**躍動する兵庫**』の実現をめざす。」を基本理念とし、4つの政策目標を元に、運動・スポーツが好きになる機会の創出をはじめ、各種のスポーツ施策を推進している。

①生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する
基盤を作る「子ども・ユーススポーツの推進」

②人生100年時代を見据えて、全ての県民がス
ポーツに親しむ「生涯スポーツの推進」

③国内外でトップアスリートが活躍する「競技スポ
ーツの推進」

④スポーツを通じた共生社会を実現する「障害者
スポーツの推進」

また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、延期になっていた**ワールドマスターズゲームズ関西**が2027年(令和9年)に開催予定となっており、兵庫県をはじめ、関西一円が会場となることで、世界各地からのアスリートの来日が期待されている。

3 社会潮流

我が国は世界でトップクラスの長寿社会を迎え、**健康寿命を延伸**し、誰もが末永く元気にいきいきとくらすことができる社会の構築が必要となっている。

健康への関心が高まりをみせる中、スポーツを通じた心身の健康増進や継続的な運動習慣による生活習慣病予防や医療費抑制にも着目されている。

さらに、近年ではスポーツの力を通じ、社会課題の解決、地域の活性化、地域共生社会の実現等の取組が進められており、スポーツが持つ多面的な価値が改めて見出されている。

スポーツと地域が密接な関わりをみせる中、地域においてスポーツ施設が多岐に渡る役割を果たしており、地域住民の心身の健康づくりや生きがいづくり、地域コミュニティの活性化、スポーツツーリズムの拠点、交流人口の拡大等、様々な役割を果たすことで、地域の活性化に貢献している。

また、フェーズフリーの観点からは、日常的には運動・スポーツの場として、災害時には地域住民の避難所や災害救助活動の場として活用される等、防災拠点としての役割を果たし、地域防災力を高め、災害に強いまちづくりの展開のため重要な施設となっている。

これら、地域の活性化、健康や安全・安心の確保といった多様なまちづくりの課題解決等のため、スポーツやスポーツ施設の力を活かしていくことが期待されている。

■加西市総合運動防災公園(仮称)整備に関するこれまでの主な取組と国、県のスポーツ施策に関する動き

年度	国の動き	県の動き	市の動き
S39	・東京オリンピック開催		
S50		・兵庫県立障害者スポーツ交流館完成	
S56			・加西勤労者体育センター完成
H3			・陸上競技場整備が位置づけられた健康ふれあいぱ〜く・善防構想策定
H6			・加西球場完成
H12	・スポーツ振興基本計画(第1期)策定	・スポーツクラブ 21(総合型地域スポーツクラブ)設置支援事業	
H17			・ぜんぼうグリーンパーク完成
H22	・スポーツ立国戦略策定		
H23	・スポーツ基本法施行		・第5次加西市総合計画策定、住民が身近な場所でスポーツに親しめる機会の拡充が位置づけられる ・第1回グリーンパークトライアスロン in かさい開催
H24	・スポーツ基本計画策定	・兵庫県スポーツ推進計画策定	
H26			・加西市スポーツ推進計画策定
H27	・スポーツ庁設立		
H29	・第2期スポーツ基本計画策定		
H30	・スタジアム・アリーナ改革ガイドブック公表		
R1	・ラグビーワールドカップが日本で開催		
R3	・第3期スポーツ基本計画策定 ・2020 東京オリンピック・パラリンピック開催		・第6次加西市総合計画策定、総合体育館の整備が位置づけられる ・第2次加西市スポーツ推進計画策定、同計画内で体育館建設に向けての検討が位置づけられる
R3		・第2期兵庫県スポーツ推進計画策定	
R5	・運動部活動の地域移行に関するガイドライン公表		

第3章 関連計画等の整理

1 加西市のまちづくり・スポーツや防災施策の方向性

(1) 第6次加西市総合計画(2021年(令和3年)3月)

- ・未来を拓く協創のまち 加西 ～豊かな自然、育まれた歴史、深まる絆を活かして～を基本理念に掲げ、4つの基本方針をもとに施策を展開している。
- ・学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちをめざしており、スポーツ振興のため、**総合体育館の整備等**により、身近な場所でスポーツを楽しむ機会の拡充を位置づけている。
- ・自分や家族及び財産を守るための防災体制の充実など、快適に暮らせる安全な社会づくりをめざしており、地域と連携した防災体制の充実を位置づけている。

■スポーツに関連する施策

○基本方針1 政策3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり

未来の
加西の姿

生涯にわたって、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちを目指します。

■芸術・スポーツの振興

- ・生活の様々な場面において芸術文化を感じることでできる環境づくりやイベントの開催など、**高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進**に取り組みます。
- ・**総合体育館の整備**や既存施設の改修を行い、**身近な場所で芸術やスポーツを楽しむ機会を拡充**します。
- ・地域に密着して活動するスポーツ団体や芸術団体の指導者を養成し、活動を支援します。

■防災に関連する施策

○基本方針3 政策8 安全・安心に暮らせる環境の充実

未来の
加西の姿

地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。

■防災・感染症対策の充実

- ・防災訓練や災害対策に関する情報提供、災害時要援護者の登録促進や防災リーダーの育成を図り、防災体制の強化に取り組みます。
- ・自主防災組織の活動促進や地域の消防団への支援等、地域防災力の向上に努めます。

(2) 第2次加西市スポーツ推進計画 ～しょうがいスポーツ応援都市・KASAI～(2021年(令和3年)3月)

- ・「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」を基本理念に掲げ、4つの基本方針に基づくスポーツ施策を展開している。
- ・スポーツ施設整備については、総合体育館の整備が位置づけられ、スポーツ活動の中核となり、地域のコミュニティ形成に資する施設とされている。

■スポーツ拠点整備等に関連する施策方針など

基本方針3 スポーツ施設の整備

施策方針1 スポーツをする・みる場の確保

- ・現存の施設については、長寿命化計画を策定し、施設の延命を図り、スポーツをする場所を損なわないように努める。

- ・整備要望が高い複合型の総合体育館の建設を進め、スポーツ活動の中核を担い、また、施設が地域のコミュニティとなるための整備に努める。

② 社会体育施設の充実 【新規】	・加西球場の硬式化等の検討を行うとともに、各種施設の長寿命化計画に基づく施設の充実を図る。
③ 総合体育館の建設に向けての検討【新規・重点】	・総合体育館の建設のために、加西市総合体育館整備基本計画(仮称)を策定し、建設に向けて始動する。

(3)加西市地域防災計画(令和3年度版修正)

- ・災害対策全般に関して総合的かつ計画的な防災行政の整備や推進を図ることにより、防災体制の万全な確立を進めています。
- ・災害対策拠点の整備・機能充実に努めるほか、自衛隊応援要請訓練などの実効性のある防災訓練や市民や不特定多数の者が利用する施設管理者等への講習等を行うこととしています。

■災害対策拠点の指定・整備充実関連する施策・方針など

第2章 第1節 第5 災害対策拠点、防災拠点の指定・整備

- ・避難所等災害対策の拠点となる施設について、耐震性の確保、電気室の高所設置、発電機や水・食料等の常備などの対策を講じることとしています。
- ・市内の公園やスポーツ施設等を広域避難場所に指定し、物資備蓄基地、ヘリポート、仮設住宅建設用地等必要な施設の整備・充実に努めることとしています。
- ・また、障がい者や高齢者等災害時要援護者にもやさしい工法の採用に努めるほか、避難場所であることのPRに努めることとしています。

第3章 第7節 相互応援協力計画

- ・市において大災害が発生し、本市のみでは対応できない等の事態が発生した場合、他の地方公共団体等と職員救援・物資の相互融通等の協力による応援・受援体制について、マニュアル(災害時受援計画)を作成し円滑に対応できるようにしておくこととしています。

◆加西市災害時受援計画(令和5年)

第3編 第1章 物資集積・配送拠点の指定及び運営方法

- ・災害発生時に物資の供給を円滑に実施するため、物資の調達及び物流について外部からの支援を受け入れる体制を構築することとしています。
- ・大量の物的支援を受けの際、兵庫県等の調達先から送られてくる支援物資を受入れる物資集積・配送拠点や同拠点の利用ができない場合の代替施設を開設することとしています。
- ・集積・配送拠点が備える環境:① 10トン車が無理なく出入できる。② フォークリフトの運用が可能(荷重に耐えられる。)③ 雨風がしのげる。④ 物資の分配エリアを広く確保できる。⑤ 駐車スペースを広く確保できる。

(4)加西市都市計画マスタープラン(令和5年3月改定)

- ・大空に 夢がふくらむ「未来の田舎(ミライナカ)」かさい～みんながあこがれるサステイナブルな未来都市～を基本理念として掲げ、「未来に輝くまちづくり」「便利で暮らしやすいまちづくり」「活気あるまちづくり」「安全安心なまちづくり」などを基本目標としてその実現に向けて取り組むこととしています。
- ・災害リスクを低減した安全・安心なまちとするため、防災施設の適正な維持管理とともに、避難施設、避難路の整備や避難訓練の実施などの減災の取組を進めるほか、障がい者や近年増加する外国人など誰もが

不自由なく快適に暮らすことができるインクルーシブなまちづくり、緑あふれ人や自然に優しく若い世代や女性に選ばれる、未来に輝くまちづくりに取り組みます。

■スポーツ、防災、公園に関連する施策・方針など

第4章 全体構想 4-3. 部門別整備方針

◆公園・緑地等

- ・公園・緑地等は、都市の快適性を高めるとともに、スポーツ・レクリエーションやコミュニケーション、高齢者や子育て世帯等の様々な人々が交流する憩いの場や地震等の災害時には一時避難場所となるなど、様々な役割を持つ貴重な公共空間であることから、適切な維持管理を図ります。
- ・施設の維持管理において、経費削減や利用者ニーズにきめ細かく対応した質の高いサービス提供のため、指定管理者制度等の民間企業のノウハウ活用を継続します。
- ・新たな公園・緑地の整備に当たっては、公園利用者に愛着が感じられるよう、住民の意向を一定反映した施設整備に努めます。

◆防災

- ・地震や火災、集中豪雨等による災害等から市民の生命と財産を守り、安心した暮らしが持続できるよう、「加西市地域防災計画」や「加西市国土強靱化地域計画」に基づき、災害に強いまちづくりを推進します。
- ・災害に強いまちづくりの推進に際しては、道路・公園の整備、緑地の確保などを推進します。
- ・指定緊急避難所や指定避難所については、「加西市国土強靱化地域計画」に基づき必要な防災機能の確保に向けた整備を推進します。
- ・安全・安心なまちづくりを推進するため、耐震化された防災拠点の維持管理や防災備蓄倉庫を中心拠点とした物資供給のライフライン確保に努めます。

◆スポーツ・行政施設等

- ・市民が健康で文化的な生活を営む上で欠かすことのできない教育・文化等の都市施設については、既存施設の有効利用を図りつつ時代の変化や利用者ニーズに応じた機能の充実、都市内人口の推移に対応した施設の安定的な維持管理・運営に努めます。
- ・施設整備については、本市の脱炭素化に向けた太陽光発電等の再生可能エネルギーや省エネルギー技術の導入とともに施設の耐震化に努めます。
- ・施設の維持管理・運営については、経費削減や利用者ニーズにきめ細かく対応した質の高いサービス提供のため、指定管理者制度など民間企業のノウハウ活用を継続します。
- ・文化・スポーツの振興を図るため既存体育施設等の整備・改修の検討を行うとともに、陸上競技場と総合体育館建設の検討を加速化させます。また、陸上競技場、総合体育館は避難所や備蓄倉庫等を含む防災拠点機能を有する施設として検討を進めます。
- ・教育・文化・行政施設の各施設については、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方にに基づき、出入口の段差・勾配の改良や階段・スロープ等への手すりの設置・改善、車いす対応型トイレの設置やオストメイト機能の付加など、誰もが施設利用できる環境の創出に努めます。
- ・視覚・聴覚障がい者等に配慮した情報提供の充実(表示案内板)を図ります。

加西市国土強靱化地域計画(令和2年7月)

- ・想定する災害リスクや地域の状況等に応じて、防災施設の整備・維持保全、施設の耐震化等のハード対策と、情報収集・提供対策、災害対応体制や避難体制の確保、訓練・防災教育等のソフト対策を適切に組み合わせ、より強くしなやかな災害に強い地域の実現を目指し、効果的に取り組むこととしています。
- ・大規模災害時には避難地ともなりえる都市公園については、適切に整備等を図ることとしています。
- ・避難所等においては、燃料備蓄の計画的推進、災害時簡易トイレの備蓄、冷暖房機器の設置やプライバシー確保のための間仕切り等の導入、非常用電源(再生可能エネルギー設備等含む)の充実などについて、検討や取組を進めることとしています。

(5)その他関連計画におけるスポーツ関連施策

■加西市

計画名	年	概要
加西市健康増進計画	R3	・施策の方向性として、ライフスタイルに合った身体活動・運動実施ができるよう取り組むとして、 運動のきっかけづくりへの取組や運動継続に向けての支援 等の取組を位置づけている
第3次加西市観光推進基本計画	R5	・体験する観光の取組として、 スポーツツーリズム を取り上げ、「 グリーンパークライアスロンin加西 」等の継続によりさらなるサイクルツーリズムへの取り組み強化や、関連する重点施策として、交流する観光を進める中で、 域内消費額の向上 への取組を位置づけている。
加西市障害者基本計画 第6期加西市障害福祉計画 第2期加西市障害児福祉計画	R3	・ スポーツに関する人材の育成や施設・設備の整備の促進や障がいの有無にかかわらずスポーツを行うことのできる環境づくり を促進することを位置づけている。
加西市国民保護計画	R3	・避難住民又は武力攻撃災害により現に被害を受け、若しくは受けるおそれのある者で避難しなければならない者について、原則として、学校、公民館等を一時的に避難施設として収容し保護することとしている。
原子力災害発生時における受入れマニュアル	H30	・原子力災害発生時に避難所となる施設等をあらかじめ定めるとともに、避難元町の基礎的情報を踏まえ、各避難所等における食料、飲料水及び生活必需品の把握等を行うこととしている。
加西市気候エネルギー行動計画(加西市地球温暖化対策地域推進計画)	R6	・ 防災拠点 となる公共施設等に再生可能エネルギーを活用した 災害に強い自立・分散型エネルギーシステムの構築 や、避難施設に指定されている市内に点在する全ての 市公共施設の脱炭素化 を位置づけている。
加西市中学校部活動ガイドライン	R4	・休日の 部活動の段階的な地域移行 を位置づけている。
加西市公共施設等総合管理計画	R4	・市内スポーツ施設の基本方針について、現状維持とし、予防保全型の対策を進め、長寿命化を図ることとされている。なお、加西勤労者体育センターは耐震診断の実施、耐震改修の検討が位置づけられている。

2 国・県のまちづくり・スポーツ施策の方向性

■国

計画名	年	概要
第3期スポーツ基本計画	R4	<ul style="list-style-type: none"> ①多様な主体におけるスポーツの機会創出、②スポーツによる健康増進、③スポーツによる地方創生、まちづくり、④スポーツを通じた共生社会の実現等が打ち出されている。 ・スポーツができる場の創出やスポーツ施設のユニバーサルデザイン化推進が示されている。

■兵庫県

計画名	年	概要
善防地区ため池多目的利活用調査報告(兵庫県社土地改良事務所)	H3	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池や周辺環境を整備し、防災上の安全確保や400mトラックをもつグラウンド、緑地等を備えた「健康ふれあいばーく・善防」を整備し、市民の健康維持を図る水辺緑地空間としての活用を検討している。
公共施設景観指針	H18	<ul style="list-style-type: none"> ・施設別指針として、公園では、「緑」を活かした良好な景観の形成や周辺地域の歴史・文化等の特性への配慮が位置づけられている。 ・公共建築物では、地域景観のシンボルとしての建築物、周辺地域の歴史・文化等の特性への配慮が位置づけられている。
福祉のまちづくり基本方針(兵庫県)	R3	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の役割として、高齢者、障害者等に配慮した生活環境を整備するため、市町が設置・管理する建築物、道路、公園等を整備し、民間施設の整備を促進・支援することが示されている。
第2期兵庫県スポーツ推進計画	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリースポーツ等の機会の充実の中で、公園やオープンスペースの有効活用、アーバンスポーツの普及等が位置づけられている。

3 避難所等の災害対策に関する動き

避難所などの災害対策拠点については、これまでの災害や2024年(令和6年)に発生した能登半島地震を踏まえ、男女共同参画をはじめ、様々な視点から避難所の生活環境の改善が求められている。

【促されている取組の一例】

- ・男女別の更衣室やシャワー室、授乳室等、プライバシーを確保するための間仕切りの設置
- ・避難所の開設時に設置できるよう、健康の維持やプライバシーの確保等に有効なパーティションや段ボールベッド、エアベッド等の簡易ベッドの備蓄及び実際に使用した訓練
- ・どのような季節に災害が発生したとしても、避難所における良好な生活環境が確保できるよう、冷暖房設備及び電源の確保、換気等対策の整備や備蓄
- ・平時からの予備電源や発電装置の確保
- ・速やかに炊き出しが可能となるよう、大型のガス設備や燃料、キッチンカーやキッチンコンテナ等の設備の備蓄・保有
- ・トイレの洋式化・バリアフリー化の促進及びマンホールトイレの整備やトイレカー等のより快適なトイレの整備・保有
- ・雨水利用施設や防災井戸などの断水時の代替水源の設置

- ・災害時に使用できるシャワー設備や入浴資機材(仮設風呂、シャワーカー、仮設シャワー等)の整備
- ・国や他の自治体からの応援職員やインフラ復旧工事従事者、ボランティア等が健康に必要な活動ができるよう、トレーラハウスやムービングハウスの活用も含めた宿泊場所や活動拠点の確保

■関連図書

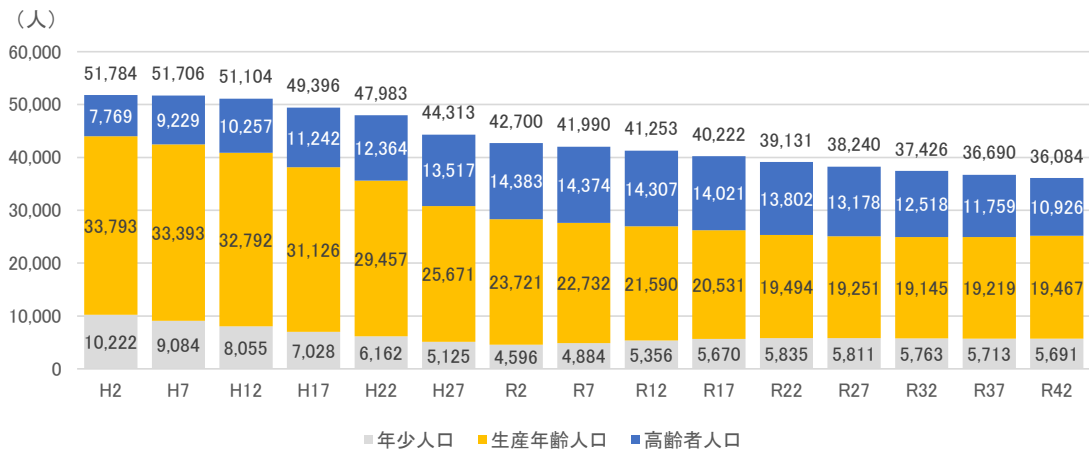
図書名	年
令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応の在り方について(報告書)〈中央防災会議 防災対策実行会議〉	R6
能登半島地震を踏まえた災害対応検討ワーキンググループ	R6

第4章 加西市のスポーツに関する状況

1 人口動態、社会動態

(1)人口動態

- ・近年は人口減少が続いており、2020年(令和2年)の国勢調査では、高齢者人口が33.7%、年少人口は10.8%と少子高齢化が進行している。社人研による推計では、2070年時点の総人口は約17,000人まで減少する予測となっている。
- ・第3期加西市地域創生戦略では、これまでの子育て応援政策や人口減少対策、直近の人口動態を踏まえ、合計特殊出生率の向上や社会動態の改善により、2070年時点の総人口19,000人を目指している。

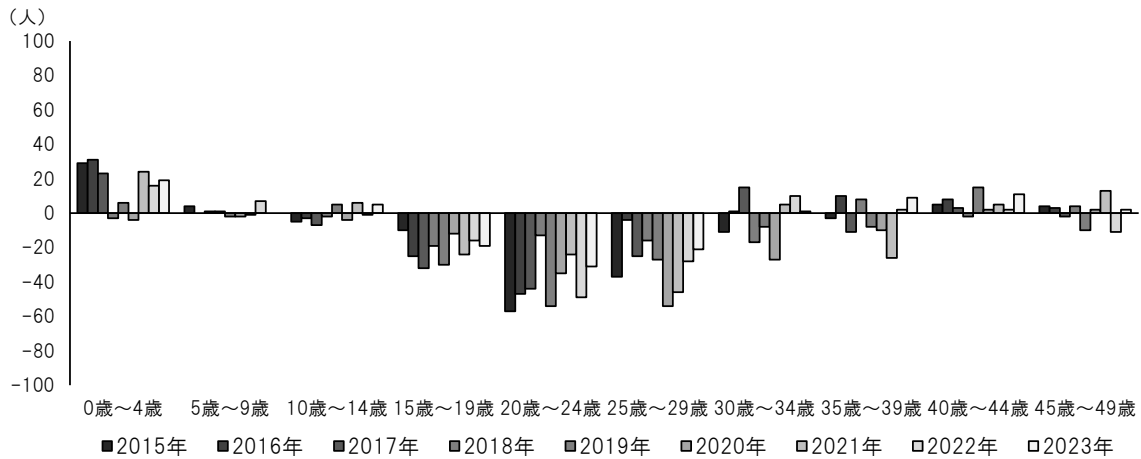


資料：第2期加西市地域創生戦略掲載のグラフを編集
 ※2020年までは国勢調査による実績値、2025年以降は推計値

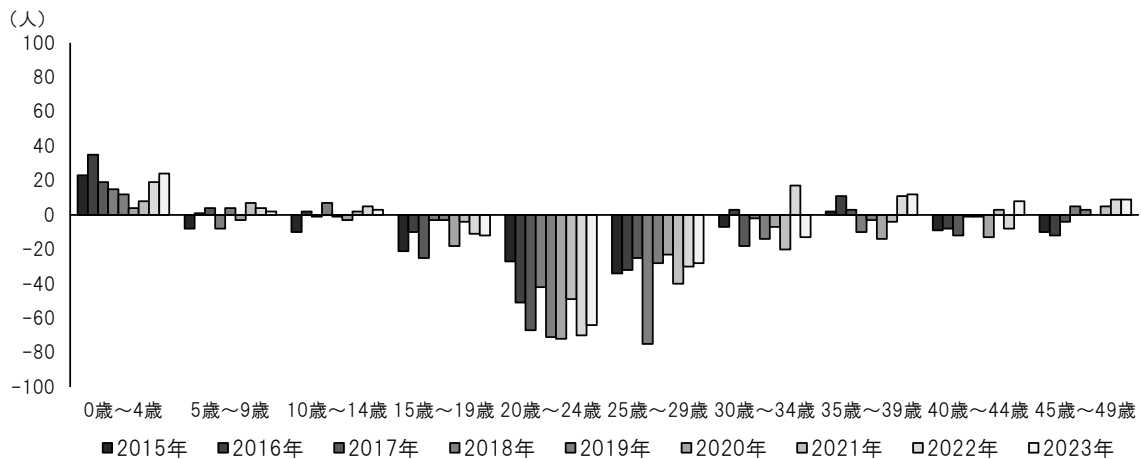
(2)社会動態

加西市では、就職期にあたる20歳前半の女性の転出超過が大きな課題となっている。神戸市や阪神圏域と比較して若年者の男性比率が高い地域であり、生活利便性や働きたい職種の有無などを背景として、若年女性が都市部に移動するといった傾向がみられる。

■ 男性の転出入の推移(日本人のみ)



■ 女性の転出入の推移(日本人のみ)



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」(各年1月1日～12月31日)
 ※2017年までは日本人のみ、2018年からは外国人を含む移動者数を表示している。

2 加西市のスポーツに関する取組等

(1) スポーツイベント

広域からの集客があるグリーンパークトライアスロン in 加西、スポーツツーリズムとしての取組や市民が中心となって参加する市民スポーツ大会等に取り組んでいる。

① グリーンパークトライアスロン in 加西

- ・2024 年度(令和6年度)で 12 回を迎え、トライアスロン競技では珍しい内陸部で“ため池”と、田園風景をコースに、初心者から上級者までが参加でき、気軽に楽しく競技できる大会を実施している。
- ・「スポーツで旅を楽しむ」「旅先でスポーツを楽しむ」ことを目的とする旅行者を取り込み、観光の活性化を図るスポーツツーリズムの推進を目指す。
- ・また、車イスを含む全カテゴリーの選手が出場できるパラトライアスロン部門を開催している。



② その他

- ・町親善ソフトボール大会(NPO 法人加西市スポーツ協会主催)
- ・市民スポーツ大会(旧体育大会)
- ・スポーツ少年団のつどい
- ・スポーツクラブ 21 連絡協議会交流会

(2)スポーツ教室の開催

プロスポーツチームや大学等と連携したスポーツ教室やニュースポーツ教室等インクルーシブなスポーツ普及にも取り組んでいる。

- ・ヴィッセル神戸応援ツアー
- ・ヴィクトリーナ姫路応援ツアー
- ・ヴィクトリーナ姫路バレーボール教室
- ・神戸ストークス応援ツアー
- ・Cento Cuore HARIMA ジュニアサッカースクール
- ・ニュースポーツ教室
- ・テニス教室
- ・日ノ本学園ジュニア新体操教室
- ・AS ハリマアルビオン ボールあそび教室



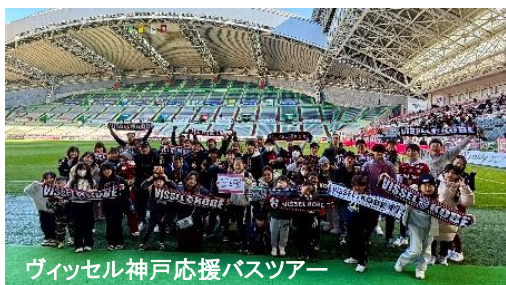
CCH サッカー教室



テニス教室



日ノ本学園新体操教室



ヴィッセル神戸応援バスツアー



AS ハリマアルビオン ボールあそび教室

(3)健康に関する動向

- ・ラジオ体操の考案者の1人、大谷武一氏の出身地としてラジオ体操の促進や児童・生徒の体力・運動能力向上等、幅広い年代の市民の健康づくりに取り組んでいる。
- ・ラジオ体操の促進
- ・児童生徒の体力、運動能力の向上推進・児童生徒の健康教育の推進
- ・運動による健康づくりの推進
- ・「健幸都市」を目指し加西市歩くまちづくり条例を制定し、市民の健康と幸せな暮らしの実現のため、人が集い共に歩くことで、健康と、新たな出会い、活力ある地域を目指している。

(4)市内スポーツ関連団体の活動

市内には、様々なスポーツに取り組む団体が活動している。

■主なスポーツ関連団体

【スポーツ少年団】

(R7年度)

種目	団体名	団員数(人)
野球	北条野球スポーツ少年団、富田少年野球団、善防少年野球クラブ、九会野球スポーツ少年団、富合野球スポーツ少年団、泉少年野球クラブ	106
サッカー	加西フットボールクラブ、根日女サッカースクール	133
バレーボール	北条東ジュニアバレーボールクラブ、下里ジュニアバレーボールクラブ、九会ジュニアバレーボールクラブ(男子)、九会ジュニアバレーボールクラブ(女子)、富合ジュニアバレーボールクラブ、日吉ジュニアバレーボールクラブ、泉ジュニアバレーボールクラブ	57
柔道	加西柔道こども会	10
剣道	加西市剣道スポーツ少年団、加西剣道こども会	32
バスケットボール	加西ミニバスケットボール教室	40
少林寺拳法	少林寺拳法加西支部	17
空手道	加西市少年少女空手道教室	27
ランニング	MT ランニングクラブ	45
バドミントン	HAKU ジュニアバドミントン	16

【スポーツ協会(所属団体)】

(R7年度)

団体名	団体数	会員数(人)
軟式野球協会	22	428
陸上競技協会	1	53
バレーボール協会	25	270
サッカー協会	9	130
卓球協会	5	60
ソフトテニス協会	10	160
空手道協会	1	63
剣道連盟	8	137
少林寺拳法協会	1	35
バドミントン協会	1	25
テニス協会	4	60
ゲートボール協会	18	112
グラウンド・ゴルフ協会	1	20
バウンドテニス協会	1	5
バスケット協会	16	195

【スポーツクラブ 21】

(R6年度)

団体名	会員数(人)
スポーツクラブ 21 北条・北条東	79
スポーツクラブ 21 下里	78
スポーツクラブ 21 九会	120
スポーツクラブ 21 日吉	87
スポーツクラブ 21 西在田	125

※活動休止団体を除く。

3 スポーツ施設の状況

(1)スポーツ施設の概要

・加西市には、体育館として加西勤労者体育センターが整備されているのをはじめ、野球場、多目的グラウンド、屋根付きグラウンド、テニスコート等様々な施設が整備されているが、とりわけ、加西勤労者体育センターは整備後40年以上が経過しており、耐震性能も十分ではない。

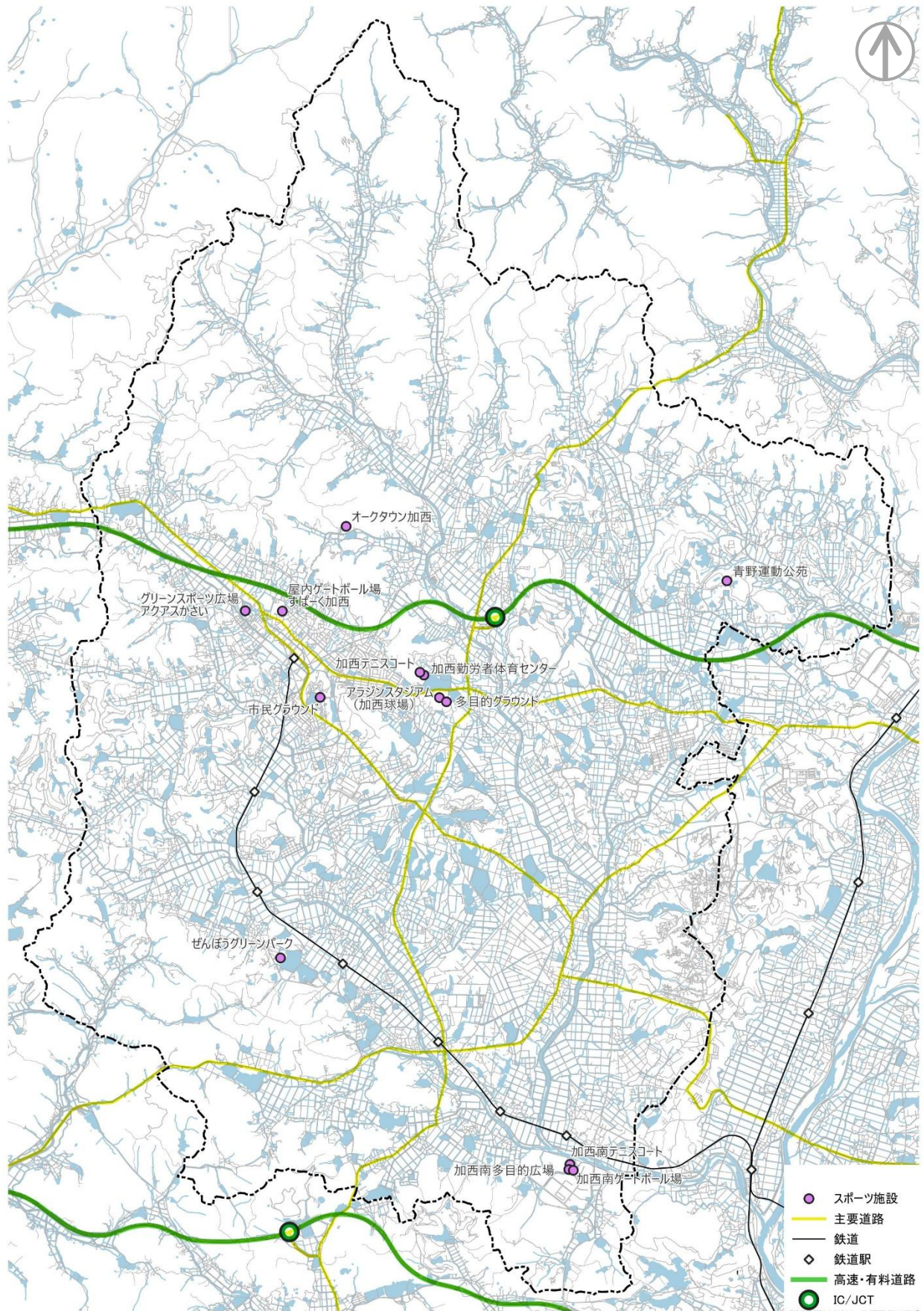
名称	竣工年・耐震	所在地	施設構造	敷地面積	延床面積	規模	施設概要	主な用途
加西勤労者体育センター	昭和56年 R3耐震診断・ 改修未実施	玉野町 1124-5	鉄筋コンクリ 造2階建	1,609.30 m ²	1,046 m ² 1階 922.2 m ² 2階 123.8 m ²	バレーボールコート (9m×18m)2面、 バドミントンコート2 面、バスケットボ ールコート2面	1階 体育館(アリーナ)、事 務室、更衣室、休 憩室、トイレ、身障 者用トイレ、器具庫 2階 卓球場	バレーボール、 バドミントン、バ スケットボ ール、卓球
加西 テニスコート	平成4年	玉野町 1124-4	砂入り人工芝 コート 木造平屋建 (トイレ)	8,106 m ²	64.2 m ²	6面	テニスコート6面 (内3面は照明設 備有、ナイター可) 屋外トイレ1棟	ソフトテニス、 硬式テニス
アラジン スタジアム (加西球場)	平成6年	玉野町 1126-1	黒土(内野) 天然芝(外 野) 鉄筋コンクリ ート造(管理 棟)	29,002 m ² (駐車場含)	338 m ² (管理 棟)、48.1 m ² (屋 外トイレ)、58.74 m ² (屋外トイレ)	フィールド面積 12,672 m ² 両翼 91.5m 中堅(センタ ー)122m	公認第2種軟式野 球場 管理室・本部室・ 救護室・更衣室・ シャワー室・トイレ 等 観客席:3,000人 収容	軟式野球、ソフ トボール
多目的 グラウンド	平成26年	玉野町 1126-1	砂入り人工芝 コート 軽量鉄骨造 平屋建	8,455.75 m ²	28.33 m ²	グラウンド 面積 5569.95 m ²	フットサルコート4 面 グラウンドゴルフ コート2面	サッカー、フット サル、ゲートボ ール、グラウン ドゴルフ
市民 グラウンド	平成6年	北条町西 高室 592- 1	真砂土グラ ウンド 鉄骨造	10,262.18 m ²	97 m ² 本部席 30 m ² 、 倉庫 9 m ²	フィールド面積 10,160 m ² 右翼 82m、左翼 92m センター106m	グラウンド 本部席 トイレ	軟式野球、サ ッカー、ゲート ボール、グラウ ンドゴルフ
屋内ゲートボ ール場 すばーく加西	平成7年	北条町北 条 1320- 1	屋根付き砂 入り人工芝 グラウンド 鉄骨造	6,425 m ²	1,172.21 m ² 屋内ゲートボ ール場 1,100.21 m ² クラブハウス 72 m ²	縦 41m、横 27 m、高さ 7m	人工芝グラウンド クラブハウス 更衣室 休憩室 トイレ 身障者用トイレ	ゲートボール、 グラウンドゴル フ
グリーンスポ ーツ広場アク アスカさい	平成8年	西上野町 17	多目的広場 天然芝コート 管理棟 鉄骨造	19,735 m ²	59 m ² (管理棟 42 m ² 、トイレ 17 m ²)	多目的広場: 8,380 m ² グラウンド:面積 6,006 m ² 、縦 91m 横 66m、天然芝 緑地帯:面積 2,850 m ²	多目的広場 グラウンド 観水公園 管理室、シャワー 室、更衣室、 トイレ 身障者用トイレ	一般サッカー、 ジュニアサッカ ー、 ゲートボール、 グラウンドゴル フ
加西南 テニスコート	平成12年	網引町 2001-15	砂入り人工芝 コート	2,356 m ²	7 m ² (管理事務 所)		テニスコート2面 管理事務所1棟	ソフトテニス、 硬式テニス
加西南 多目的広場	平成12年	網引町 2001-16	真砂土入り グラ ウンド	5,680 m ²	—	フィールド面積 5,680 m ² 両翼 68m 中堅(センタ ー)122m	グラウンド	野球、ソフトボ ール
加西南 ゲートボ ール場	平成12年	網引町 2001-17	真砂土入り グラ ウンド	751 m ²	—	ゲートボールコート 縦 20m、横 15m	ゲートボール場	ゲートボール
ぜんぼう グリーン パーク	平成17年	両月町 484-1	真砂土入り グラ ウンド 鉄骨造平屋 建	39,988.43 m ²	37.15 m ²	—	グラウンド、トイレ	サッカー ゲートボ ール グラウンドゴル フ

【参考】

名称	竣工年・耐震	所在地	施設構造	敷地面積	延床面積	規模	施設概要	主な用途
オークタウン 加西	【研修所】 昭和 62 年 (新耐震基準)	鴨谷町 159-40	【研修所】 鉄骨	25,000 m ²	【研修所】 684 m ²	—	【研修所】 研修室(55名)、 和室(12名)、 調理実習室(20 名) 合宿室(4室)(8 ~16名) 【体育館】 バレーコート1面、 バドミントン2面等 【屋外設備】 テニスコート2面 多目的グラウンド (グラウンドゴルフ 等) バーベキュー・キ ャンプサイト	研修やレクリエ ーション、青少 年の健全育成 や企業の人材 育成、健康増 進等
	【体育館】 昭和 63 年 (新耐震基準)		【体育館】 鉄骨・鉄筋コ ンクリート		【体育館】 564 m ²	—		

名称	竣工年・耐震	所在地	施設構造	敷地面積	延床面積	規模	施設概要	主な用途
青野運動 公苑	【ゴルフコー ス、テニスクラ ブ、スポーツ ホテル】平成3 年 【グラウンドゴ ルフ場】平成 28年 【天然芝テニ スコート】平成 30年	油谷町 639-3	【スポーツホ テル、クラブ ハウス、管理 棟等】鉄骨造 【コテージ】 木造	1,382,159.29 m ² (未活用地含 んだ場合 1,541,461.29 m ²)	クラブハウス等 8,910.98 m ²	—	バレーコート2面、 バスケットボールコ ート2面 等 ゴルフコース 18 ホール・6,594 ヤ ード、パー72 テニスクラブ 屋 内4面、屋外 16 面、天然芝2面 グラウンドゴルフ 8ホール×3	県民のスポー ツ・レクリエーシ ョンの場

■施設配置図



(2)スポーツ施設の利用状況

市内スポーツ施設の利用状況として、加西勤労者体育センターの利用者が最も多くなっており、アラジンスタジアム、多目的グラウンドについても年間1万人を超える利用となっており、**体育館や野球場、多目的グラウンドについては市民の利用ニーズが高くなっている。**

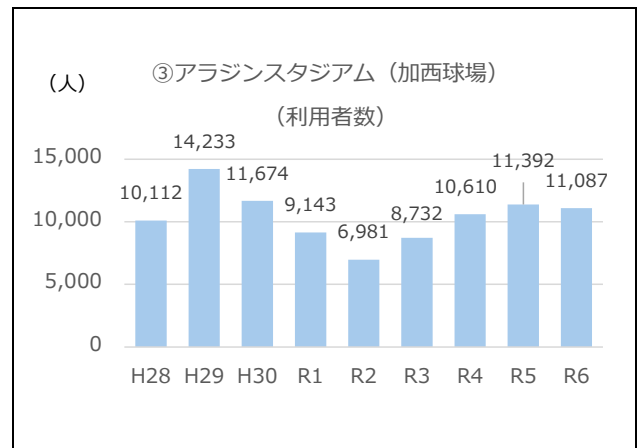
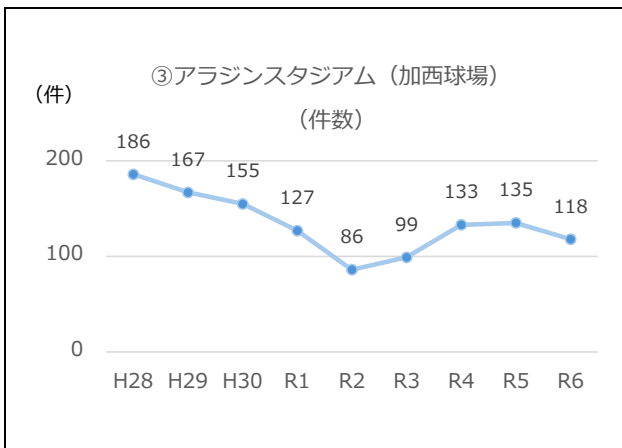
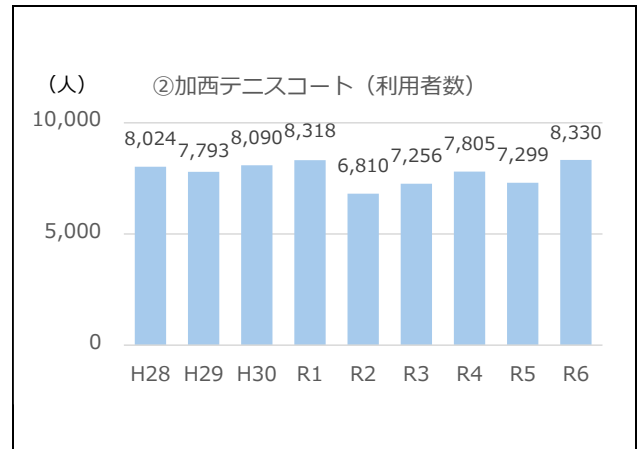
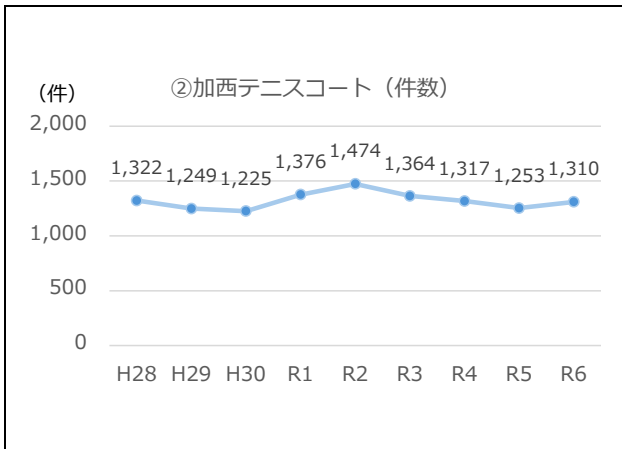
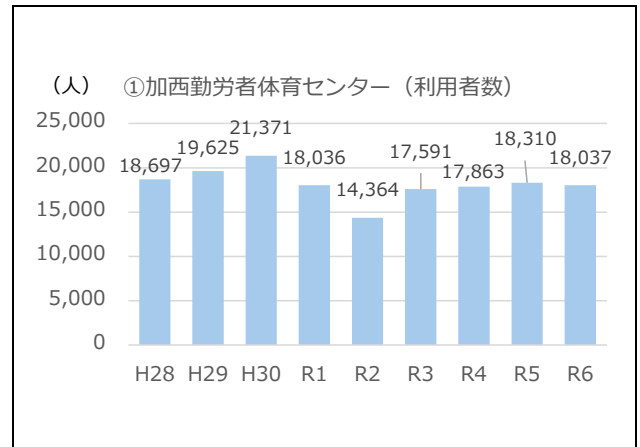
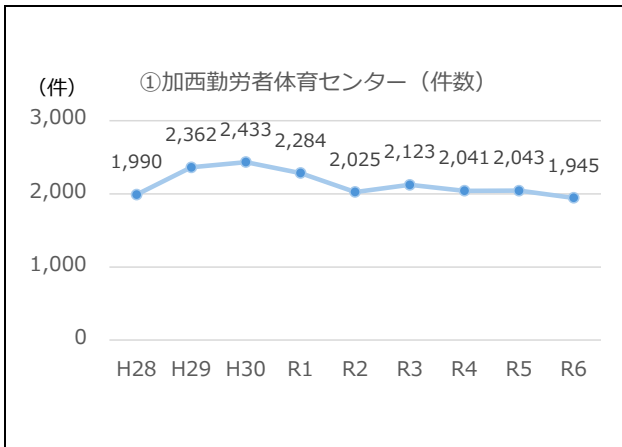
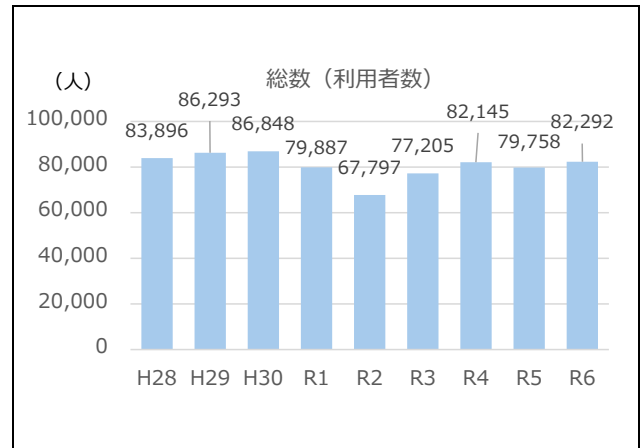
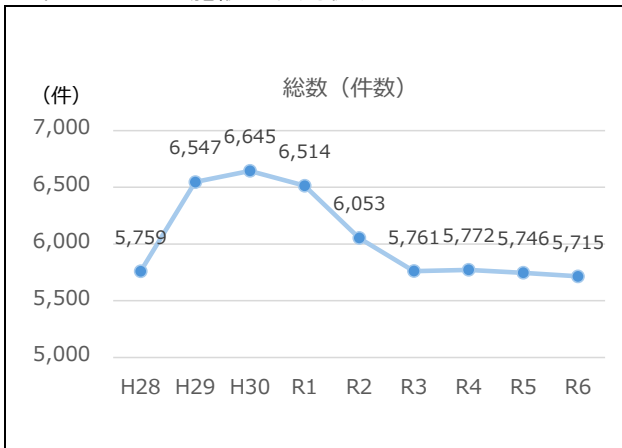
■市内スポーツ施設の利用状況

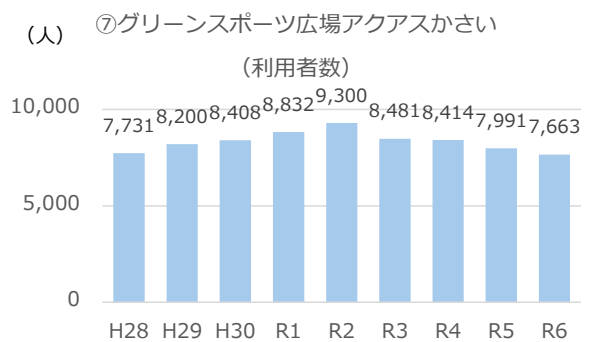
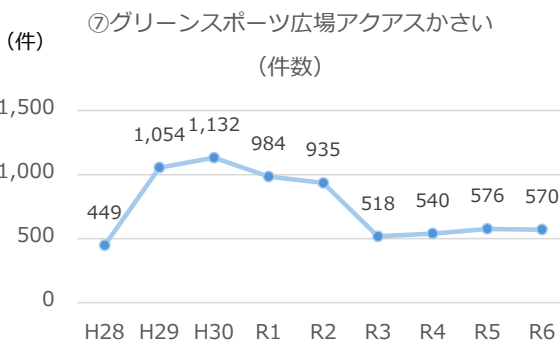
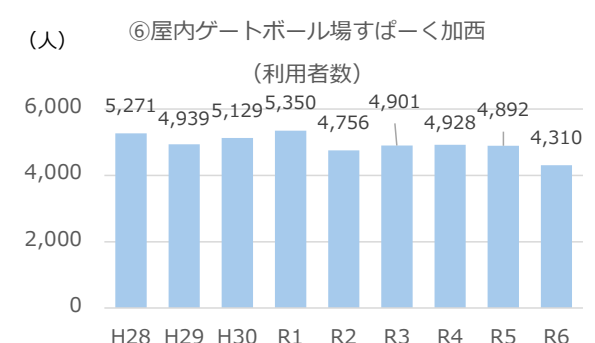
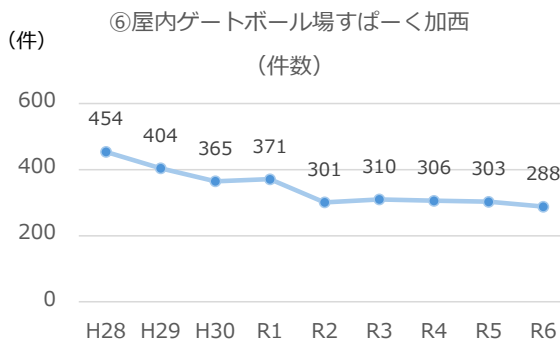
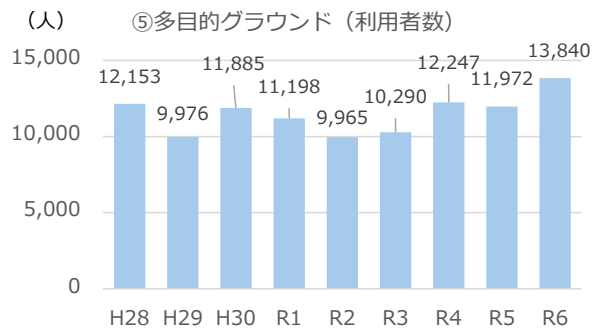
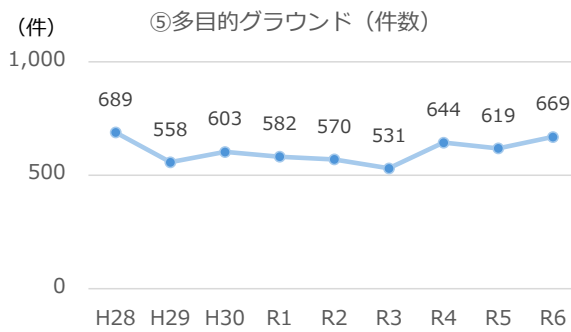
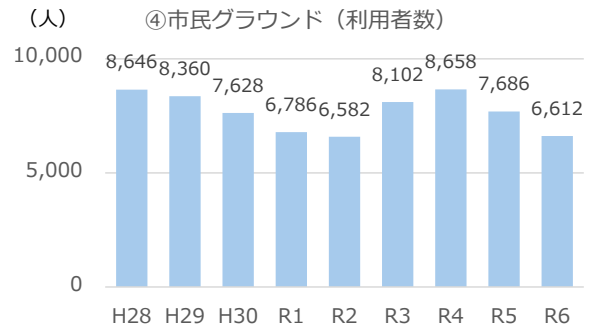
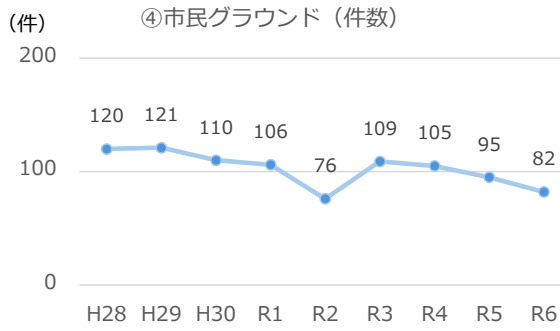
(件/人)

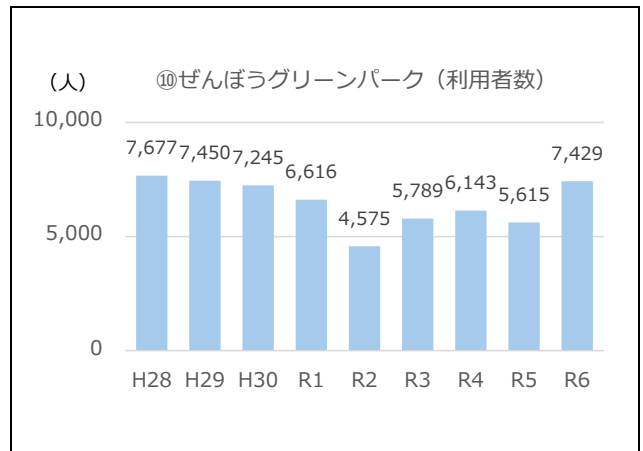
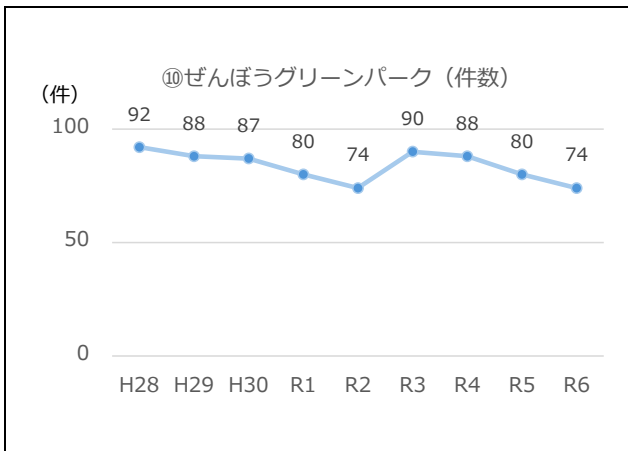
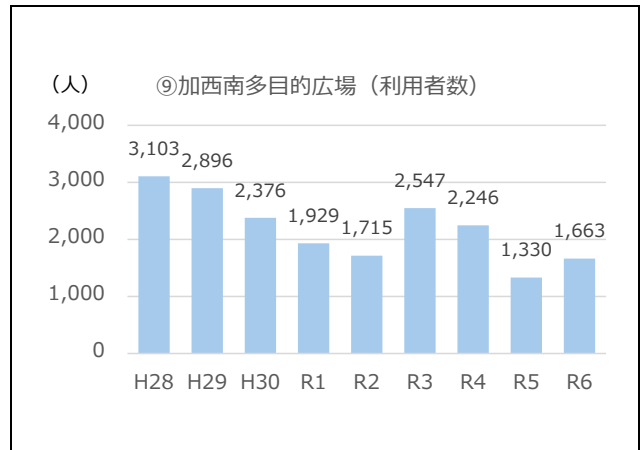
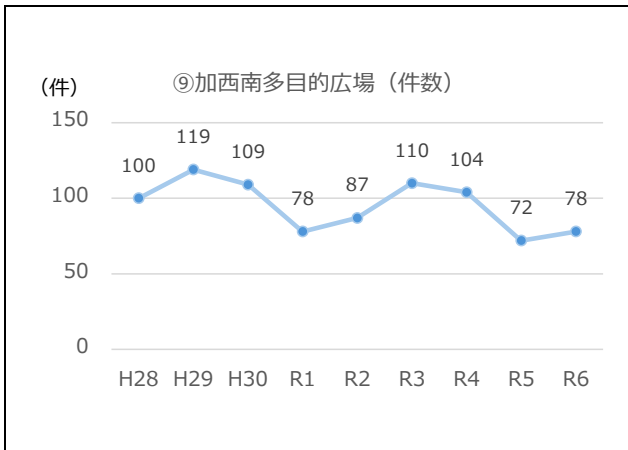
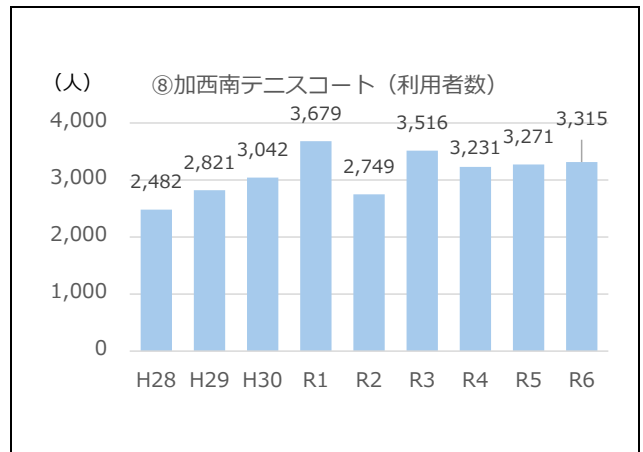
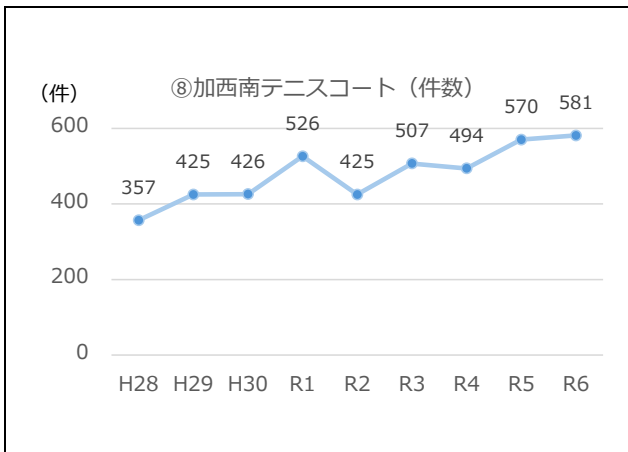
No.	施設名	種別	年間利用件数・利用者数								
			H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
①	加西勤労者 体育センター	件数	1,990	2,362	2,433	2,284	2,025	2,123	2,041	2,043	1,945
		人数	18,697	19,625	21,371	18,036	14,364	17,591	17,863	18,310	18,037
②	加西 テニスコート	件数	1,322	1,249	1,225	1,376	1,474	1,364	1,317	1,253	1,310
		人数	8,024	7,793	8,090	8,318	6,810	7,256	7,805	7,299	8,330
③	アラジン スタジアム (加西球場)	件数	186	167	155	127	86	99	133	135	118
		人数	10,112	14,233	11,674	9,143	6,981	8,732	10,610	11,392	11,087
④	市民 グラウンド	件数	120	121	110	106	76	109	105	95	82
		人数	8,646	8,360	7,628	6,786	6,582	8,102	8,658	7,686	6,618
⑤	多目的 グラウンド	件数	689	558	603	582	570	531	644	619	669
		人数	12,153	9,976	11,885	11,198	9,965	10,290	12,247	11,972	13,840
⑥	屋内ゲートボ ール場すば ーく加西	件数	454	404	365	371	301	310	306	303	288
		人数	5,271	4,939	5,129	5,350	4,756	4,901	4,928	4,892	4,310
⑦	グリーンスポ ーツ広場アク アスカさい	件数	449	1,054	1,132	984	935	518	540	576	570
		人数	7,731	8,200	8,408	8,832	9,300	8,481	8,414	7,991	7,663
⑧	加西南 テニスコート	件数	357	425	426	526	425	507	494	570	581
		人数	2,482	2,821	3,042	3,679	2,749	3,516	3,231	3,271	3,315
⑨	加西南 多目的広場	件数	100	119	109	78	87	110	104	72	78
		人数	3,103	2,896	2,376	1,929	1,715	2,547	2,246	1,330	1,663
⑩	ぜんぼう グリーンパーク	件数	92	88	87	80	74	90	88	80	74
		人数	7,677	7,450	7,245	6,616	4,575	5,789	6,143	5,615	7,429
総数		件数	5,759	6,547	6,645	6,514	6,053	5,761	5,772	5,746	5,715
		人数	83,896	86,293	86,848	79,887	67,797	77,205	82,145	79,758	82,292

※R2、3年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用の制限を設けた期間あり

■市内スポーツ施設の利用状況

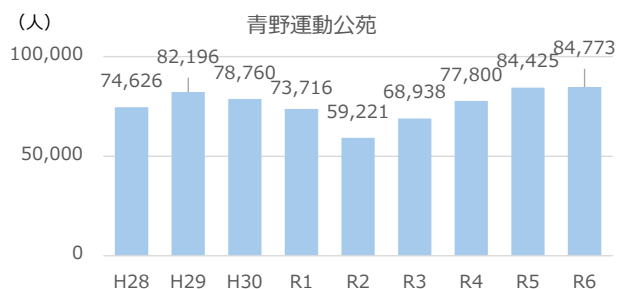
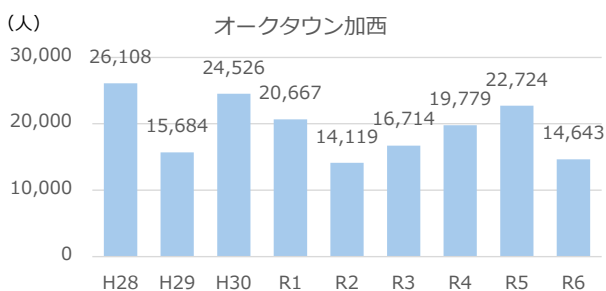






【参考】

施設名	種別	年間利用件数・利用者数									
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
オークタウン加西	人数	26,108	15,684	24,526	20,667	14,119	16,714	19,779	22,724	14,643	
青野運動公苑	人数	74,626	82,196	78,760	73,716	59,221	68,938	77,800	84,425	84,773	



4 地域や利用者ニーズ、留意点等の把握

(1) 利用者ニーズ

総合運動防災公園の整備にあたり、市民や施設利用者のニーズを図るため、下記のアンケートやヒアリング調査を実施した。

【2020 年度(令和2年度)】

市民	・18 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出)
----	---------------------------

【2024 年度(令和6年度)】

市民	・18 歳以上の市民 2,000 人(無作為抽出)
中学生	・市内中学校の中学2年生
施設利用者	・市内スポーツ施設(11 施設)利用者
企業	・加西商工会議所の会員で従業員 11 名以上の企業
スポーツ関連等団体	・スポーツ団体、高齢者・障がい者団体、青少年育成団体、スポーツ推進委員

施設や設備に関するニーズ	・加西勤労者体育センターを利用する市民が多い。	<市民>
	・市内スポーツ施設に対し、空調設備やトイレ・更衣室の清潔さ等に不満を感じる市民が多い。	<市民> <団体>
	・今後整備を望む施設は、近所の広場や公園をはじめ、多目的広場や体育館、トレーニング室等	<市民>
	・練習、大会に使用する場所の充実が望まれている。	<団体>
	・施設の利用ニーズは高い。	<団体>
スポーツ種目やスポーツの機会に関するニーズ	・暑い日や雨の日も体を動かせる屋根付き運動場・広場、観客席、ベンチ(屋根付き含む)、休憩場所、広々とした駐車場が望まれている。	<市民> <中学生> <団体>
	・散歩・ウォーキングをする市民が最も多いが、軽い体操、ストレッチやジョギング、各種球技等様々なニーズがみられる。	<市民>
	・中学生は軽いストレッチ、ジョギング・ランニング等	<中学生>
	・施設利用者はグラウンド・ゴルフ、野球、サッカー、ウォーキング、バドミントン	<利用者>
	・やってみたいスポーツは、ウォーキングや体カトレーニング、バドミントン、ヨガ・ダンス等の実施	<市民>
	・中学生は、バレーボール、バドミントン、バスケットボール、サッカー、卓球等をしたい生徒が多い。	<中学生>
	・施設利用者は、実施したスポーツ以外にも、アーバンスポーツやアウトドアスポーツ等日頃できない活動についても望んでいる。	<利用者>
・運動・スポーツをする機会(時間)を増やしたいと考えている市民が多い。	<市民> <中学生>	
公園・広場に関するニーズ	・公園や広場で運動・スポーツをする市民の割合が高い。	<市民>
	・のびのびと体を動かすスペースや散歩、子どもを安心した遊ばせられる場、友人と気軽に遊ぶ場、子どもが遊べる遊具、緑豊かで自然とふれあえる場を望む市民が多い。	<市民> <中学生> <利用者> <企業>
	・イベント開催を期待する市民が多い。	<市民>

バリアフリー、
共生社会に
関するニーズ

・市内スポーツ施設の バリアフリー を望む意見が多い。	<団体>
・障がいの有無に関わらず 運動・スポーツを楽しむ場 と考える市民が多い。	<市民> <中学生> <利用者>

防災機能に
関するニーズ

・災害時に遊具等を防災的機能として活用できる フェーズフリーな公園 としてのニーズがみられる。	<市民> <中学生> <利用者>
・ 防災拠点のモデル として活用していけるような施設整備についての要望がみられる。	<団体>

施設の
管理・運営等に
関するニーズ

・維持管理に大きな費用がかからない 施設 を望む市民が多い。	<市民> <利用者> <企業>
・仕事終わりの 遅い時間や早い時間での利用 が望まれている。	<企業>
・ 環境に配慮した整備・運営 を望む市民が多い。	<市民> <中学生> <利用者> <企業>
・ 飲食店、ジュースや軽食 等の提供が望まれている。	<中学生> <団体>

施設の立地に
関するニーズ

・ 主要道路からのアクセスや駐車場整備	<市民> <中学生> <利用者> <企業> <団体>
・ 十分な広さ	<市民> <中学生> <利用者> <団体>

(2)留意点等

構想策定にあたり、整備に関わる留意点を把握するため、庁内関係各課へのヒアリングを行った。

■概要

対象	ヒアリング概要
・建築課、都市計画課、政策課、防災課	・施設整備にあたっての留意点 ・防災等に関する施策上の位置づけ
・学校教育課、観光課、健康課、生涯学習課、地域福祉課、農政課	・市民・地域のスポーツ・健康づくりニーズ ・地域で展開されているスポーツ活動

①スポーツ・健康づくり

1)スポーツ振興

- ・小学校や中学校の施設開放、公民館体育室は利用率が高く、加西勤労者体育センターや学校体育館ではスポーツ少年団の練習・大会、中学校も他校を招いての大会ニーズがある。
- ・市内での活動については実施場所に限りがあり新たな施設があれば利用ニーズが見込まれる。
- ・総合計画策定で「生涯にわたって学びが楽しめる環境づくり」を位置づけており、市民ワークショップでは、「大人と子供と一緒にスポーツを楽しめる場所が必要」、「市民がスポーツを行うためにセミナー等を開催すべき」という意見もあった。

2)健康づくり・生涯学習

- ・市では「運動ポイント事業」によるポピュレーションアプローチと運動教室やラジオ体操等による健康づくりの推進に取り組んでおり、高齢者を中心に一定の参加者がみられる。今後多世代に広げていきたい。

3)障がい者スポーツ

- ・障がい者にとって自己実現の場となるスポーツ施設が必要
- ・市内身体障がい者団体がグラウンドゴルフに熱心に取り組んでおり、全国大会に出場するなど活躍している。

4)教育

- ・小中学生の体力テスト結果は、全国平均と比べほぼ同程度であるが、下回る種目も複数みられる。
- ・楽しみながら体力を向上させる取組として、特に、多くの小学校ではリズムジャンプトレーニングを体育の授業に取り入れている。
- ・中学校の学校部活動については、地域クラブ活動への展開を進めているが、その受け皿となる指導者や指導団体の確保が課題である。その活動場所として、総合運動防災公園の活用も視野に入れて今後検討していく。

5)観光・合宿等の需要

- ・トライアスロンをきっかけとしたPRにより神戸や大阪から来訪があるなど、サイクリストからの加西市の認知度は上がっている。
- ・いこいの村はりま、オークタウン加西ではスポーツ少年団や大学の合宿需要が高い。

6)スポーツを活かした地域・経済の活性化

- ・スポーツだけでなく市外からの来訪を誘引するような機能や、飲食店の利用等、市内に経済効果が波及する仕組みづくりが必要

7)プロスポーツにふれる機会

- ・加西市出身のトップアスリートが活躍後に指導の道に進む場合、帰ってくるができる環境がない。
- ・高いレベルの選手・試合を子どもたちがみられる環境であれば、あこがれを持ってスポーツに取り組み、次世代につながる循環が生まれる。

②公園・広場

1)市民が集い・憩う、まちの賑わい創出

- ・家族で一緒に過ごすことができるような空間、球技が許される安全な空間、子どもが遊べる場所とウォーキングコースの併設など、複合的な機能があれば多様な層の利用が期待できる。
- ・雨天や夏の直射日光を想定し、屋根付き広場の設置や、木陰や東屋を設ける等休憩スペースの整備が必要

2)地域防災

- ・体育館の広域避難所・物資の集積所としての役割や、広場等のヘリコプターの離発着場としての活用が期待される。防災拠点として位置づけできることが望ましい。
- ・市内には広場を活用してレクリエーションを兼ねた炊き出しや土嚢づくり、放水訓練等を行っている活発な自治会はある。普段から利用できる防災拠点があれば、啓発の面でも非常に有効
- ・陸上競技場は、災害時に備えた物資の備蓄機能を充実させるとともに、自衛隊による応援要請訓練の実施や、市民が参加する防災講習・自主防災訓練の場としても活用できる施設であることが期待される。

3)ユニバーサルデザイン

- ・障がい者、高齢者の利用を見越し、駐車場から施設への動線等にも配慮が必要
- ・施設のフラット化、字幕案内や外の様子が確認できるエレベーター、オストメイトトイレ、カームダウン室、障がいがある子どもも使えるキッズルームなど多様な方の利用を想定した検討が必要

4)持続可能なまちづくり

- ・加西市は脱炭素先行地域に選定されており、公共施設での再生可能エネルギーの供給が必要。また、地域エネルギー会社を設立していることから連携の可能性もある。

③施設整備・施設運営

1)官民連携の施設づくりや施設運営

- ・多様な施設が想定されるが、一体として管理し、管理効率が悪くならないような配慮が必要
- ・民間活力導入による効率的な管理運営や整備費の圧縮等に期待したい。
- ・平日の利用者確保や賑わいや採算が維持できるようなイベントなどの取組が必要

2)候補地、立地

- ・児童・生徒が利用する場合、車での送迎が多いため、自動車でのアクセスが良い場所に整備できると良い。高齢者の利用に関しても車でのアクセス性を重視
- ・部活動の地域展開を念頭に、学校から近くにあり、スムーズに移動できる道路整備や公共交通の整備などを検討する必要がある。
- ・農振地域、他の規制状況等を勘案した敷地選定が必要
- ・市用地や既存施設の有効活用の可能性や造成等整備コスト低減が図られる必要がある。

3)整備上の懸念事項

- ・ナイター照明については近隣農地の営農、住民の住環境問題などに配慮が必要
- ・整備にあたり、ため池や農業用水に干渉する場合、関係者全員との合意形成が必要。また、大規模に農地が減少する場合には、代替地を提示する必要がある。
- ・開発面積が1haを超える場合は調整池を設ける必要がある。

4)現況施設の課題

- ・学校体育館を含む市内の屋内体育施設には空調がなく利便性が悪い。
- ・公民館は老朽化が深刻であり、バリアフリーに課題
- ・体育館、学校体育館はコート数や駐車場の不足、観覧席がないことなどが課題
- ・屋外施設は天候に左右される、駐車場が狭い等の課題がある。

5 加西市のスポーツ・スポーツ施設整備に関する課題

(1) スポーツ振興につながる施設の再整備

【社会潮流】

- ・スポーツ施設について、「**する・みる・ささえる**」の視点から、誰もが利用できる施設として十分に活用され、真に地域の資源となるような施設整備が求められている。

【加西市の現状】

- ・加西勤労者体育センターの利用が多くなっている一方、**老朽化**が進み、十分な**耐震性能**を備えていない。
- ・**観客席を備えた体育館がない**他、**陸上競技場整備検討が頓挫**しており、広域圏で開催するスポーツ大会に必要なスペックを有する施設がなく、「**する・みる・ささえる**」スポーツの**機会を逸している**。
- ・**地域コミュニティの核**となっている**学校施設の開放**等により、身近な場所で市民がスポーツを楽しんでいる。

【市民等のニーズ】

- ・市内スポーツ施設について、**施設の清潔さ**や**空調設備の面で不満**を感じる人が多い。
- ・**場所や施設があればスポーツの機会が増える**と考える市民が多い。
- ・スポーツ団体から、**北播地域等広域レベルのスポーツ大会が開催できる規模を有するスポーツ施設整備**が求められている。

【課題】

- ・**陸上競技場の整備及び体育館の再整備**が急がれる。
- ・整備にあたっては、**冷暖房機能**など、**快適に活動できる環境**を整える必要がある。
- ・「**する・みる・ささえる**」スポーツを実現できるスポーツ施設の整備が求められている。
- ・施設整備にあたっては、多くの利用者が利用し、**スポーツコミュニティの核**となる等、**地域資源としての真価を発揮できる施設**にしていく必要がある。

(2) 誰もが気軽に利用できる公園・広場機能の確保

【社会潮流】

- ・公園・広場について、自然環境の多様な機能を活かした社会的共通資本である**グリーンインフラ**として活用し、**多様な都市課題の解決に貢献**することが求められている。
- ・人生 100 年時代といわれ、健康に自立して過ごせる期間である「**健康寿命**」への**意識**が高まっている。

【加西市の現状】

- ・市内には丸山総合公園や玉丘史跡公園等を備えているが、運動公園といった**スポーツ・健康づくりや多目的な利用に供する公園・広場機能は不十分**
- ・医療・介護等の負担軽減や個人の生活の質の維持のため、健康増進等により、**健康寿命の延伸につながる取組を展開**している。

【市民等のニーズ】

- ・**公園や広場で運動・スポーツ**を行う市民が多い。
- ・**のびのび体を動かせる場、子どもが元気に遊べる遊具、屋根付き運動場、飲食機能や売店、豊かな緑**等のニーズが高い。
- ・**健康・体力維持、増進のために運動・スポーツ**を実施している市民が多い。

【課題】

- ・**運動・スポーツ機能**を備え、**健康づくりやスポーツの機会確保**につながる運動公園の整備が求められている。
- ・**豊かな緑**を含めた、**十分なオープンスペース**が確保され、**市の中核となるポテンシャルとなる公園の整備**が必要である。
- ・様々な年齢の市民が気軽に**健康づくりに取り組むことができる機能**や**コンテンツを提供する施設**として整備していくことが求められている。

(3)大規模施設整備に伴う防災機能の確保

【社会潮流】

- ・大きなオープンスペースとなる公園・広場は、避難場所や延焼防止等の防災機能を有しているが、近年は日常と災害時を区別しないフェーズフリーの考え方が広がっている。

【加西市の現状】

- ・防災・減災の備えが求められる中、総合運動防災公園整備にあたっては、市の防災拠点として、より充実した防災機能確保が重要となる。
- ・地域活動の停滞等による地域の防災機能の低下等が懸念されている。
- ・防災拠点となる公共施設等には、再生可能エネルギーの活用等、脱炭素化が位置づけられている。

【市民等のニーズ】

- ・災害時に防災面で機能できるような公園の整備を望む市民ニーズがみられる。

【課題】

- ・日常的に運動・スポーツ、健康づくりに使える総合運動公園としてだけでなく、地域の防災力向上や市の防災拠点にもなるフェーズフリーの考え方に基づいた総合運動防災公園の整備が必要である。
- ・再生可能エネルギーを導入する等脱炭素化を図り、持続可能なまちの実現に貢献する施設整備が求められている。

(4)地域・多文化共生社会の実現につながる施設整備

【社会潮流】

- ・障がいのある人とない人がともに運動やスポーツを楽しむことができるユニバーサル、インクルーシブな環境整備や国籍にとらわれず異なる文化をもつ人々が互いの理解を尊重することが求められている。

【加西市の現状】

- ・障がいの有無や性による差、年齢差や国籍の違いなどに関わらず、誰もがお互いの人権を尊重し、いきいきと生活できる地域・多文化共生社会の実現に向けた取組が進められている。

【市民等のニーズ】

- ・市内スポーツ施設について、バリアフリーの面で不満を感じる人が多い。

【課題】

- ・整備にあたっては、バリアフリーやユニバーサルデザイン、多文化共生に配慮する等、誰もがつかいやすい施設として整備し、地域・多文化共生社会の実現につなげていくことが求められている。

(5)スポーツを通じたコミュニティの活性化

【社会潮流】

- ・競技スポーツだけでなく、健康、レクリエーションを目的に生涯にわたってスポーツを楽しむ人が増えている。
- ・スポーツを通じ、人と人の交流、地域コミュニティの形成や地域活性化の取組が進められている。

【加西市の現状】

- ・スポーツ協会をはじめ、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等様々なスポーツ団体が活動し、スポーツ団体間の連携・交流が展開され、様々なコミュニティが形成されている。

【市民等のニーズ】

- ・部活動の地域展開が進む中、スポーツ団体から学校との連携等を望む意見が出されている。

【課題】

- ・スポーツの振興はもとより、人と人との交流促進につながるスポーツの力を活かし、コミュニティの活性化や新たなコミュニティの形成を図り、地域の活性化につなげていく必要がある。

(6)既存施設の活用・整備、運営費用の低減

【社会潮流】

- ・人口減少が進む一方、公共施設の老朽化も進み、公共施設の維持管理や既存施設の有効活用への配慮が求められている。
- ・公共施設の整備に民間事業者が参画し、民間事業者の資金やノウハウを活用する事業が広がっている。

【加西市の現状】

- ・公共施設等の総合的な管理を進め、よりよい財産の継承を念頭に置いたマネジメントに取り組んでいる。

【市民等のニーズ】

- ・維持管理にお金がかからない施設整備が求められている。
- ・飲食機能や売店、キッチンカー等、総合運動防災公園に多様なサービスが求められている。

【課題】

- ・既存施設の有効活用や費用低減につながる事業スキーム等について検討する必要がある。
- ・民間事業者のノウハウを活用し、施設整備・運営に係る費用軽減の検討や市民ニーズに対応するサービス提供について検討する必要がある。

第5章 総合運動防災公園の目指す姿

1 基本コンセプト

(1) 想定される役割・利用者

- ・総合運動防災公園は、加西市のスポーツに関する課題を踏まえ、**年齢や障がいのある・なしなどに関わらず、運動・スポーツの振興や市民の健康増進に資する施設**として整備していく必要がある。
- ・運動・スポーツ、健康づくりを通じて人と人との交流を促し、**スポーツを通じたコミュニティの形成や人と人の結びつきの力を地域の活性化**につなげていくことも重要である。
- ・また、市内のスポーツ施設や公園・広場等との役割分担を図り、**地域の中核スポーツ拠点**として機能させていく必要がある。
- ・さらには、加西市の運動・スポーツの拠点としての役割だけでなく、**憩いの場、市民同士、市民と来訪者の交流の場、地域防災力の向上、持続可能なまちづくりへの貢献等、スポーツを通じて加西市のまちづくりを進めていく**ことが重要である。

① スポーツ・健康づくり施設として期待される役割

1) スポーツ活動の振興

- ・陸上競技、サッカー、グラウンド・ゴルフ、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球等、陸上競技場や体育館の整備を通じて競技力向上につなげることができる活動を展開する場になるとともに、様々なスポーツを楽しむ場

2) スポーツを通じた健康づくり

- ・人生 100 年時代を見据え、子どもから高齢者まで、誰もが生涯スポーツを楽しみ、ライフスタイルに応じた健康づくり活動ができる場
- ・高齢者がいつまでも健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、健康寿命の延伸につながる健康づくり活動ができる場

3) スポーツを通じた地域・多文化共生社会実現

- ・障がいの有無、国籍や民族の違いに関わらずスポーツを楽しむことができる場
- ・インクルーシブスポーツの推進等、障がいのある人とない人がともにスポーツを楽しむことができるスポーツ環境が整う場

4) 学校部活動地域展開、子どもの体力向上

- ・少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツに継続して親しむ機会を確保するため、地域クラブ活動及び学校部活動の受け皿となる場
- ・子どもが体を動かしたり遊ぶことを通じて、運動の楽しさや心地よさを感じ、体力・運動能力向上につなげることができる場

5) スポーツを活かした地域・経済の活性化

- ・スポーツによるまちづくりの取組を展開し、スポーツが地域・社会に貢献し、スポーツの振興と地域振興の好循環につなげる場

6) スポーツ合宿等ツーリズム

- ・市民や来訪者が参加したくなる、地域資源を生かしたイベントを実施し、地域の活性化につなげることができる場

7) トップレベルのスポーツにふれる機会の創出

- ・高いレベルのスポーツにふれることができ、スポーツによる感動・憧れ・応援等スポーツの価値を分かち合い、夢や希望を育むきっかけとなる場
- ・優れたスポーツ選手が地域スポーツの推進に寄与することで、スポーツに関する人材育成につながる場

②公園・広場として期待される役割

1)市民が集い・憩う、まちの賑わい創出

・市民の集いの場、憩いの場等、子どもから高齢者まで市民の居場所になるとともに、楽しく遊ぶことができ、交流を生み出す場

2)地域防災力の向上

・災害時の避難機能や防災拠点となる機能の確保等、地域防災力の向上につながる場

3)ユニバーサルデザインに基づくまちづくり

・公益的施設の更なるユニバーサル化をリードする、障がい者、高齢者、外国人等、みんなに優しいユニバーサルデザインに配慮した施設づくり

4)持続可能なまちづくり

・公共施設での再生可能エネルギーの導入や、エネルギー効率の高い環境に配慮した施設整備等、災害時にも機能的に対応でき、地域の脱炭素をリードする持続可能なまちづくりにつながる施設づくり

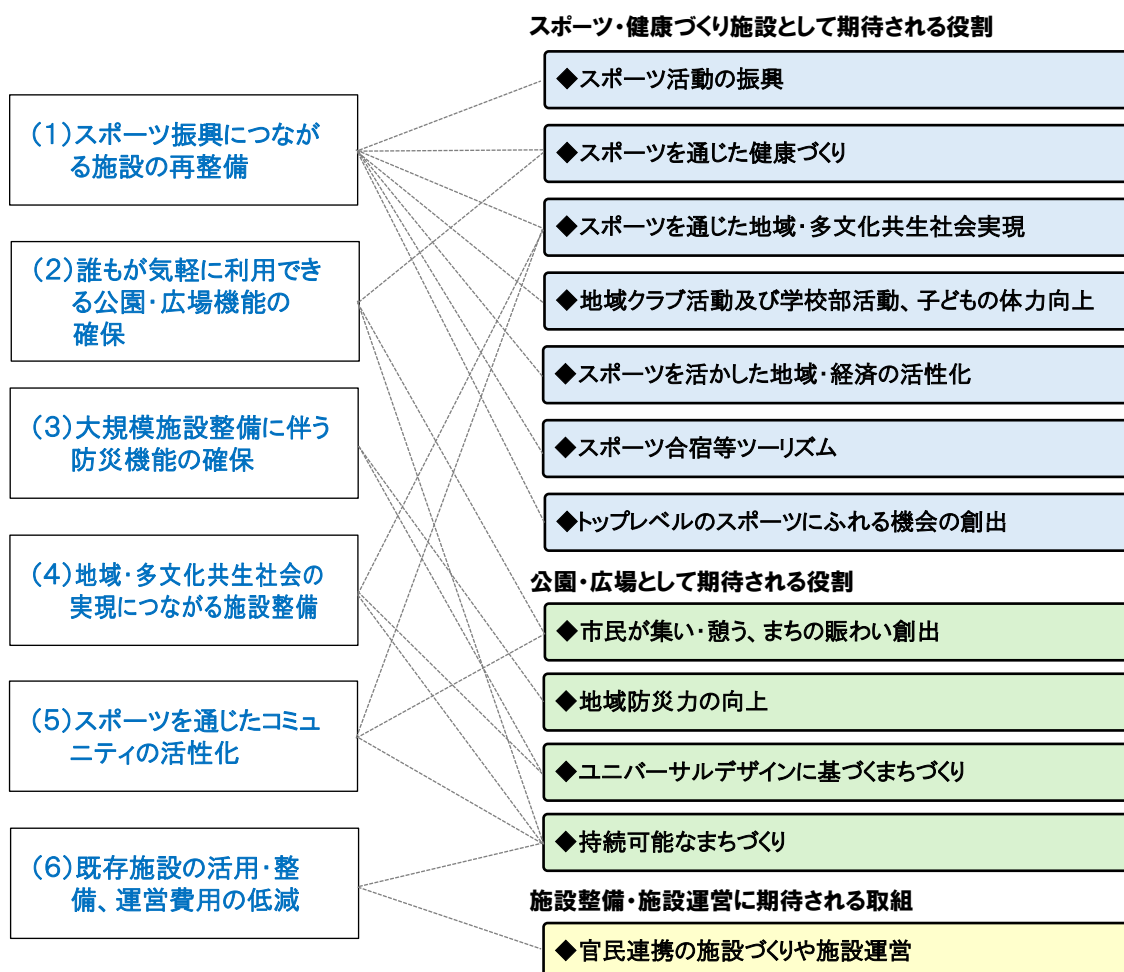
③施設整備・施設運営に期待される取組

1)官民連携の施設づくりや施設運営

・施設整備や維持管理・運営にあたり、民間活力の積極的な活用を進め、施設整備・維持管理の効率化やサービス向上等につなげる公民連携(PPP)の施設づくり・運営

加西市のスポーツ・スポーツ施設整備に関する課題

想定される役割等



■想定される利用者や利用シーンのイメージ

スポーツを楽しむ場として



スポーツ観戦をする場として



スポーツを支える人材育成の場として



スポーツ団体の活動拠点として



市民の憩いの場として

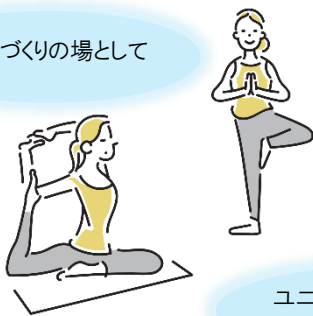


総合運動防災
公園

地域の子どもたちの活動の場として



健康づくりの場として



ユニバーサル、インクルーシブな活動の場として



生涯スポーツの拠点として



防災拠点として



(2)施設整備の考え方

- ・総合運動防災公園を**加西市の中核的スポーツ拠点**と位置づけ、運動・スポーツ、健康づくり等の活動が展開され、**スポーツ・コミュニティの創造・拡大**を図るとともに、**市内のスポーツ施設や公園・広場等と連携・役割分担**を図る。
- ・また、**文化・観光施設、福祉施設、学校等との連携や役割分担**を図り、加西市のスポーツがもつポテンシャルを最大限に活かし、**スポーツがもつ付加価値を高める**とともに、分野の異なる施設との連携を通じ、**地域の活性化**につなげていく。
- ・さらに、総合運動防災公園の整備を機に、加西市のスポーツの機運を高め、スポーツ団体活動の活性化、人材育成等ソフト面のスポーツ振興につなげます。



(3)総合運動防災公園の整備コンセプト

- ・加西市では、「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」を掲げ、**市民のだれもが、「いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツ活動ができる社会の実現**を目指し、市民のスポーツ活動を進めている。
- ・一方、人口減少、少子高齢化、働き方の多様化、さらには、社会の持続可能性の確保、共生社会の実現、大規模な自然災害に対する防災・減災の意識等、これまでにない新たな価値観が広がりつつある。
- ・体育館、陸上競技場を含む総合運動防災公園の整備においては、加西市のこれからのまちづくりについて、様々な夢を抱き、実現していく舞台にしていくことが大切だと考える。

【総合運動防災公園のコンセプト】

まちづくりの夢を実現できる総合運動防災公園
 ～まちのセントラルスポーツ・コミュニティ～

【整備方針】

誰もが集い・幸せを感じることができる公園	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをする人だけでなく、子どもから大人、高齢者まで誰もが集い、楽しく活動し、コミュニティを育む中で、心身の健康づくりの実現や、市民の幸福感(Well-being)が高まる公園づくり
多彩なスポーツ交流・人材育成を実現する公園	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内外で行う競技スポーツをはじめ、様々なスポーツを様々な世代の人が楽しむことができる多目的な施設、公園での活動を通じ、スポーツを愛する人材が育まれる公園づくり ・トップレベルのスポーツに対応できる機能を備えることで、競技者同士の交流や、スポーツへのあこがれを育む施設づくり
安全・安心・快適でフェーズフリーな公園	<ul style="list-style-type: none"> ・日常は様々な人が集まり、様々な利用をされる一方、災害時には避難所や物資の集積拠点等として機能する安全・安心につながる「フェーズフリー」な公園づくり ・天候や気温に左右されず、快適な環境の下で活動できる空間が整う施設づくり
地域・多文化共生社会の実現につながる公園	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人とない人、高齢者と子ども、国籍や民族の違いなど、立場や個性が違う人誰もが集い、楽しむことができるインクルーシブな環境が整う公園づくり
持続可能なまちを支えるグリーンインフラとなる公園	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場等、豊かな自然環境を備える運動防災公園として機能することで、加西市の未来の持続可能なまちづくりを支える公園づくり
にぎわいとふれあいを育む公園	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツだけでなく、子どもから高齢者まで様々な人が集い、遊び、交流する拠点とすることで、にぎわいとふれあいを育み、地域の魅力を楽しむことができる公園づくり ・地域内外のひとの交流を促進するとともに、継続的な関わりを通じた関係人口の増加につながる公園づくり
既存施設の活用、費用対効果の最大化	<ul style="list-style-type: none"> ・整備に係る費用を抑えるため、既存施設の有効活用を図りながら、少ない費用で効果の大きい事業につながる施設づくり ・民間事業者による創意工夫をいかし、施設利用者へのサービス向上や費用軽減効果を高める施設づくり

2 導入施設・機能

総合運動防災公園は、加西市の運動・スポーツ、健康づくりの拠点としての機能をはじめ、スポーツに関する課題や多様な市民ニーズへの対応、コミュニティ形成、防災機能、地域活性化等、まちづくりに資する機能を有する施設とする。

(1) スポーツ・健康づくり施設として想定される施設・機能

■加西市の現状・課題、ニーズ等

・市内スポーツ施設で最も利用者が多い**加西勤労者体育センター**は、**老朽化し耐震性能が不十分**な状況になっており、年齢やジェンダー等にかかわらず、**誰もが共に運動やスポーツ等を楽しめるインクルーシブなスポーツ環境を整えていく**ことが求められている。

・過去に**陸上競技場整備**が検討されているが、**実現に至っておらず**、**広域圏で開催されるスポーツ大会等が市外で開催**されており、「する・みる・ささえる」スポーツ振興の機会を逸している。

・市民の**運動・スポーツ、健康づくりのニーズは多様**であり、これらニーズに対応できる**多目的に活用可能な施設**が求められている。
・オリンピックの開催等もあり、若者を中心に**アーバンスポーツ等の新たなスポーツ**が注目されている。

■導入する施設・機能

様々なスポーツが可能で(バスケットボール3面等)、**観覧機能がついた体育館**

広域圏での大会開催が可能な規模で、**観覧機能がついた陸上競技場**

多様なスポーツに活用できる、**多目的グラウンド**

スケートパーク、3×3等**アーバンスポーツが楽しめる施設**

すべての利用者に配慮し、**多様性とアクセシビリティに対応した使いやすい施設**

(2) 公園・広場として期待される役割

■加西市の現状・課題、ニーズ等

・**子どもから高齢世代**まで、気軽な運動・スポーツの場として公園・広場が活用されており、**市民がのびのびと体を動かし、運動・スポーツを気軽に楽しむ**ことができる**公園・広場整備**が求められている。

・公園・広場として**豊かな緑空間**の確保が求められている。

・子どもが元気に遊べる**総合遊具**に対するニーズが高い。

・雨天や直射日光が厳しい暑い日でも活動できる**屋根付き施設**に対するニーズが高い。

・レストランやカフェ、ジュースや軽食が購入できる売店等**飲食機能**に対するニーズが高い。

・災害時の避難機能や防災拠点となる機能等、**地域防災力の向上につながる公園**が求められている。

■導入する施設・機能

広々とした**芝生広場**
豊かな緑空間

子どもが楽しむことができる**遊具**

全天候で活動可能な**屋根付き広場**

カフェ、軽食や飲み物等を提供する**飲食機能**

避難所等**防災の拠点となる機能**
ヘリポート

(3)想定する具体的機能

(1)、(2)を踏まえ、導入する施設において想定される具体的な機能を整理する。

■スポーツ・健康づくり施設

	想定される種目、利用用途	必要となる機能・設備の例	想定される利用シーン例	災害時
体育館	球技 ・バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、ハンドボール、ソフトバレー、フットサル、ゴールボール、ボッチャ等 武道 ・柔道、剣道、空手、合気道、銃剣道、なぎなた、少林寺拳法等 その他スポーツ ・体カトレーニング、体操、新体操、ダンス、バトントワリング、舞踏、軽スポーツ、ヨガ、各種スポーツ教室等 その他 ・会議、研修 ・レクリエーション利用 ・イベント・興行利用 ・防災的観点から必要となる利用用途 等	・アリーナ(観覧席付き、空調設備あり) ・多目的運動室 ・トレーニング室 ・会議室・研修室 ・放送室 ・器具庫 ・トイレ(多目的含む)、更衣室、シャワー室、医務室 ・事務室、給湯室 ・ロビー、休憩スペース、授乳室、キッズスペース ・カームダウン室 ・飲食提供機能(売店、自動販売機等) ・避難スペース、備蓄倉庫 ・一部諸室へのスマートロック導入 等	・各種スポーツ競技大会や練習 ・トップレベルのスポーツクラブの試合、練習 ・地域の各種団体の運動・スポーツイベント、健康づくり教室 ・地域クラブ活動及び学校部活動 ・多目的運動室でのダンスやヨガ・ピラティス等 ・音楽・舞台イベント、大規模会議、イベント等 ・地域の各種団体による会議室等の貸スペース利用 ・トレーニングマシンによる個人の体づくり ・子ども連れのファミリーの利用 ・障がい者の利用 ・近隣アウトドア施設来訪者によるシャワー利用 ・災害時の避難スペース	・避難者収容機能 ・食料等支援物資集積機能 ・避難所運営スタッフ、ボランティア詰所
陸上競技場	陸上競技 ・トラック競技(短・中・長距離走等) ・フィールド競技(走幅跳、三段跳び、走高跳、砲丸投、やり投、円盤投等) フィールド内を使った競技 ・サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等 その他 ・会議、研修 ・レクリエーション利用 ・イベント・興行利用 ・防災的観点から必要となる利用用途 ・気球の係留飛行 等	・公認記録の承認を得ることができる施設水準で、広域圏での大会開催が可能な第3種公認陸上競技場(400mトラック 8レーン、1,500席程度の観覧席、天然芝(但し人工芝も検討)のインフィールド、シャワー室、用器具庫、照明設備等) ・サブトラック ・会議室、研修室 ・避難スペース、備蓄倉庫 ・放送設備 ・避雷設備 ・一部諸室へのスマートロック導入	・トラック・フィールドを使った陸上競技・球技等の大会や練習 ・トップレベルのスポーツクラブの試合、練習 ・地域の各種団体の運動・スポーツイベント、健康づくり教室 ・地域クラブ活動及び学校部活動 ・大規模イベント等 ・災害時の避難スペース ・災害時のヘリ離発着	・避難者収容機能 ・食料等支援物資集積機能 ・災害時救援等自衛隊の活動拠点機能 ・ヘリポート
多目的グラウンド	球技 ・サッカー、フットサル、ラグビー、グラウンド・ゴルフ、アメリカンフットボール、ホッケー、ラクロス、アルティメット、フライングディスク 等 その他 ・レクリエーション利用 ・イベント・興行利用 ・防災的観点から必要となる利用用途 等	・サッカー等の球技できる面積を有するグラウンド ・照明設備 ・放送設備 ・避雷設備	・グラウンドを使った球技等の大会や練習 ・地域の各種団体の運動・スポーツイベント、健康づくり教室 ・地域クラブ活動及び学校部活動 ・災害時の避難スペース	・テント避難機能 ・食料等支援物資集積機能
アーバンスポーツ施設	種目 ・スケートボード、インラインスケート、BMX、3×3等	・スケートボードやインラインスケート可能な各種セクション ・3×3コート	・若者世代が楽しむスケートボード、スケート、ストリートバスケットの練習	

※施設の整備後、災害対策拠点、原発災害避難所、ヘリ臨時発着場等の指定を行う予定

■公園・広場

	想定される利用用途	必要となる機能・設備の例	想定される利用シーン例	災害時
芝生 広場	憩い・交流 ・スポーツ・健康づくり活動・教室 ・体操・軽スポーツ ・屋外イベント、お祭り ・ピクニック ・休憩 ・自然とのふれあい その他 ・レクリエーション利用 ・イベント・興行利用 ・防災的観点から必要となる利用用途 等	・一定面積の芝生 ・トイレ(多目的含む) ・飲食提供機能(売店、自動販売機等) ・避難スペース、備蓄倉庫等	・地域の各種団体の運動・スポーツイベント、健康づくり教室 ・ウォーキング、ランニング ・ファミリー等が気軽に訪れる憩いの場 ・誰もが楽しむことができるユニバーサルスポーツのイベント ・音楽イベント等 ・災害時の避難スペース	・テント 避難機能 ・食料等 支援物資集積機能
遊具	遊び ・幼児、児童等による遊具遊び その他 ・防災的観点から必要となる利用用途 等	・総合遊具等の遊具	・幼い子ども連れのファミリー等による遊具利用	・避難者 收容機能
屋根付 き広場	運動・スポーツ、健康づくり ・グラウンドゴルフ、フットサル、体操、ダンス、軽スポーツ、健康づくり活動等 その他 ・レクリエーション利用 ・イベント・興行利用 ・防災的観点から必要となる利用用途 等	・一定面積の屋根付きの広場 ・器具庫	・雨天や真夏の暑い日での運動・スポーツ、健康づくり活動 ・地域の各種団体の運動・スポーツイベント、健康づくり教室 ・地域クラブ活動及び学校部活動 ・誰もが楽しむことができるユニバーサルスポーツのイベント	・避難者 收容機能 ・食料等 支援物資集積機能
飲食等	飲食提供 ・来訪者への憩いの場や飲食の提供	・カフェ ・売店 ・キッチンカー	・スポーツ大会、練習による施設利用者への飲食提供 ・公園を利用する人への飲食提供 ・イベント来訪者への飲食提供	・炊き出し等調理機能
その他	憩い ・緑豊かな空間や憩いの場 スポーツ・健康づくり ・広大な空間を活かしたウォーキング、ランニング その他 ・防災的観点から必要となる利用用途、周辺の池 等	・低中高木等の緑の配置 ・ベンチ等休憩施設 ・ウォーキングやランニングができるコース ・広場等施設全体 ・太陽光発電システム ・マンホールトイレ ・かまどベンチ	・豊かな緑の中を散歩 ・ウォーキング、ランニング ・地域エネルギー会社(例:かさいスマートエナジー)によるエネルギーシステムの運用	・応援部隊の活動拠点

※施設の整備後、避難所指定等を行う予定

■施設利用のイメージ
【日常的利用のイメージ】



出典:八千代市 HP

スポーツ大会・練習、地域クラブ活動及び学校部活動



出典:スポーツ TOKYO インフォメーション HP ©SUNROCKER

スポーツ観戦



出典:福岡市 HP

スポーツボランティア等人材育成



出典:浜別町 HP

体カづくりトレーニング



出典:今金町 HP

ヨガ、ピラティス等の体カ・健康づくり



出典:新井市 HP

仕事終わりの方の夜間の運動の場



出典:豊平総合運動公園 HP

シャワー、休憩等リフレッシュ機能



出典:OKB きき清流アリーナ HP

イベント利用



出典:京都市 HP

地域コミュニティ等の会合



出典:四万十市 HP

アーバンスポーツを楽しむ場



屋根付き施設での活動



出典:さくら市 HP

飲食提供



出典:志木市 HP

広場の多目的な利用



出典:西条市スポーツ協会 HP

パラスポーツの場



出典:岩国市愛宕山ふくろ公園 HP

子どもの遊び場

【災害時利用のイメージ】



災害時の避難所



物資の備蓄・配布



ヘリポートとしての活用

防災訓練の場としての活用

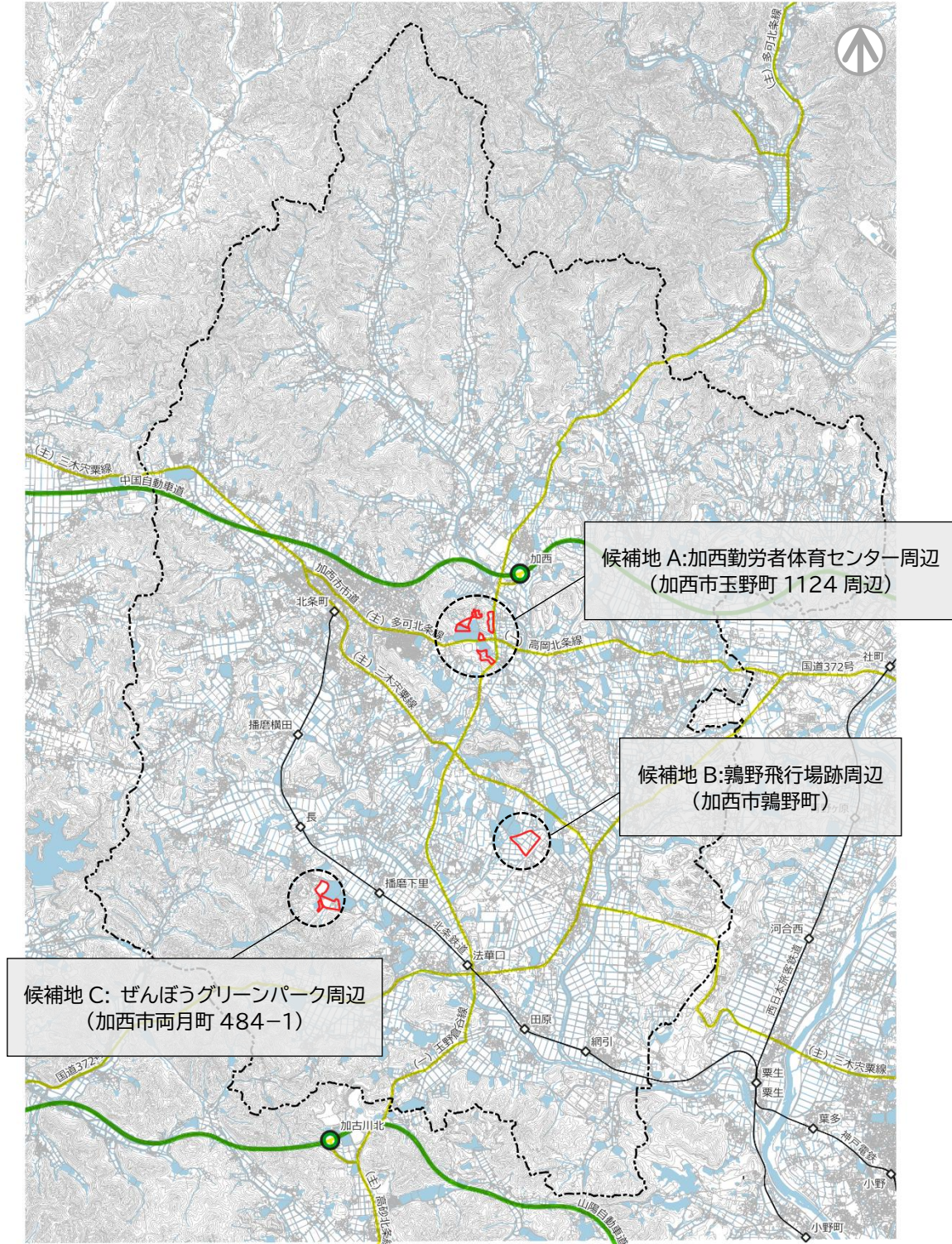


避難や防災時の拠点施設としての活用

第6章 整備候補地の検討

1 候補地の位置

一定のまとまった敷地(10ha 程度)を有することや交通アクセスなどの観点から、「A 加西勤労者体育センター周辺」、「B 鶉野飛行場跡周辺」、「C ぜんぼうグリーンパーク周辺」を候補地として最適地の検討を行った。



出典：国土地理院「基盤地図情報」、国土交通省「国土数値情報」を元に作成

2 候補地の評価基準

候補地を、「土地条件・現況用途」、「法規制」、「災害安全性・重要性」、「接道・道路条件」、「各種調整」、「周辺環境への影響」、の6つの観点から評価項目を設定して検討を行う。

	項目	概要	評価基準
1 土地条件・ 現況用途	①現在の使用状況	高容積に利用されている土地より、低未利用地である方が事業実現性が高いと判定する。	○：農地や空地等の低未利用地や利用されている施設がほとんどない土地 △：一部に利用されているが施設等がある土地 ×：高容積で利用されている土地
	②敷地面積、敷地形状等	施設整備に十分な面積を有している方が事業実現性が高いと判定する。	○：施設整備に十分な面積(10ha以上) △：施設整備に要する面積と同程度(約10ha程度) ×：施設整備に要する面積を下回っている(約10ha以下)
	③土地所有関係	市有地や公有地の方が事業実現性が高いと判定する。	○：市有地 △：国・府等公有地 ×：民間所有地
	④開発上の造成等のコスト	候補地の開発にあたって、高低差が少ないことや水路・擁壁等の整備を要するような開発条件が少ない候補地、または既存施設の撤去等の作業がない方が、造成・撤去コストが少なくすむことから、事業実現性が高いと判定する。	○：高低差が少ない・水路や擁壁の整備が不要、または既存施設がない △：やや高低差がある ×：高低差が大きい、または既存施設が立地している
2 法的条件	①都市計画・用途地域	候補地の現況の都市計画に関する法規制が施設内容に適合している方が、施設整備に要する手続きが簡易であり、事業実現性が高いと判断する。	○：市街化区域内 △：市街化調整区域 ×：その他規制
	②農用地区域	候補地の現況が農地に関する法規制がない方が、施設整備に要する手続きが簡易であり、事業実現性が高いと判断する。	○：農業振興地域・農用地区域外 △：農業振興地域内域 ×：農用地区域内
	③埋蔵文化財包蔵地	候補地が埋蔵文化財包蔵地でない方が、施設整備に要する手続きが簡易であり、事業実現性が高いと判定する。	○：埋蔵文化財包蔵地を含まない △：埋蔵文化財包蔵地に近接 ×：埋蔵文化財包蔵地を含む
3 災害安全性・重要性	①災害想定区域(浸水想定)	大雨による河川の氾濫の際に、候補地の浸水高が小さい方が安全性が高く、事業実現性が高いと判定する。	○：浸水想定区域外 △：浸水想定区域内(浸水高 0.5m未満、0.5m以上～3.0m未満) ×：浸水想定区域内(浸水高 3.0m以上)、家屋倒壊等氾濫想定区域
	②災害想定区域(土砂災害)	大雨による土砂災害の危険性が小さい方が安全性が高く、事業実現性が高いと判定する。	○：土砂災害警戒区域外 △：土砂災害警戒区域内 ×：土砂災害特別警戒区域内
	③緊急輸送道路	緊急輸送道路に近い方が災害時の拠点として重要になると判定する。	○：緊急輸送道路に面する、近接している △：緊急輸送道路から離れている
4 接道・道路条件	①接道	幹線道路との接続が良い方が、来場者の入出場がしやすいと判定する。	○：片側2車線以上の国道又は主要地方道、一般県道に面している △：片側一車線の国道又は主要地方道、一般県道に等に面している ×：それ以外
	②交通環境	公共交通となる鉄道駅との距離やバス路線に近いほど利便性が高いと判定する。	○：近くに鉄道駅とバス停があり、本(便)数が比較的多い △：近くに鉄道駅とバス停又はそのいずれかがあるが、本(便)数が限られている ×：近くに鉄道駅とバス停から離れており、本(便)数も限られている

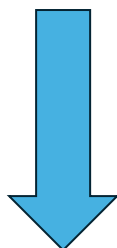
	項目	概要	評価基準
5 各種調整	① 代替地の設定	代替地不要な方が事業実現性が高いと判定する。	○：代替地が不要 △：部分的に代替地が必要 ×：代替地が必要
	② 既存施設の活用	公共施設等、既存施設を有効に活用できる方が事業実現性が高いと判定する。	○：既存施設が活用できる △：一部既存施設が活用できる ×：既存施設が活用できない
	③ 各候補地のまちづくりの方向	各候補地において、上位・関連計画等でまちづくりの方向性が示されており、運動・スポーツ施設との連動性が期待される方が優れていると判定する。	○：まちづくりの方向性と連動する △：一部まちづくりの方向性と連動する ×：まちづくりの方向性と連動しない
6 周辺環境への影響	① 周辺の土地利用	候補地の立地が、周辺土地利用の環境に悪影響を及ぼさない方が、優れていると判定する。	○：農地・空闲地等が大半 △：宅地(商業・業務地・住宅等) ×：宅地(住宅が大半)
	② 周辺施設との連携	周辺の既存施設との連携等により魅力や集客性向上につながる可能性があり、近隣に活用可能な既存施設、観光資源や集客施設等があり、それらと連携することで集客性向上や付加価値を生み出す可能性が高いものを優れていると判定する。	○：近隣に該当する施設がある △：該当する施設が周辺にあるが一定の距離がある ×：周辺に該当する施設がない

3 候補地の評価・選定

候補地		A 加西勤労者体育センター周辺	B 鶉野飛行場跡周辺	C ぜんぼうグリーンパーク周辺
1 土地条件・現況用途	①現在の使用状況	・広場やため池等として利用されているが施設はほとんどみられず、土地活用への影響は小さい。	・田畑として利用されており、土地活用への影響は小さい。	・多目的運動場として利用されているが施設はほとんどみられず、土地活用への影響は小さい。 ・なお、善防中学校はR10年に新中学校に統合予定
		○	○	○
	②敷地面積、敷地形状等	・約 8.2ha ・活用を想定する土地が約 1.1km 圏内6か所に分散している上、不整形な土地が多く、運動公園の一体的整備は難しい。	・約 10.3ha ・活用を想定する土地が約 0.6km 圏内におさまり、一か所に集約しており、整形となっており、運動公園の一体的な整備が行いやすい。	・約 8.4ha ・活用を想定する土地が不整形で約 0.6km 圏内2か所に分散しており、運動公園の一体性には工夫が必要
		×	○	×
③土地所有関係		・47筆に分かれており、26の所有者があり、民地や兵庫県有地が含まれており、用地買収や県との調整が必要	・101筆に分かれており、28の所有者があり、ほとんどが民地となっているため、用地買収が必要で、地権者多いことから調整に長期間を要することが想定される。	・9筆に分かれており、全て市有地であり、用地買収等に要する費用が不要。
		△	×	○
④開発上の造成等のコスト		・高低差があり、切土・盛土等の大規模な造成費用を要することが想定される。	・高低差は少ないが現況用途が田畑のため、地盤が軟弱で、地盤改良に係る費用が必要	・高低差が少なく、大規模な造成工事は不要 ・現況用途を考えると、地盤改良も不要と考えられる。
		×	△	○
2 法的条件等	①都市計画・用途地域	・市街化調整区域で、施設整備に一定の手続きが必要	・市街化調整区域で、施設整備に一定の手続きが必要 ・一部鶉野飛行場跡地地域資源活用地区地区計画区域【滑走路跡地整備地区】に指定されており、地区計画区域の変更等の手続きが必要	・市街化調整区域で、施設整備に一定の手続きが必要
		△	×	△
	②農用地区域	・一部農用地区域含み、農地転用の手続きが必要	・全域が農用地区域となっており、大規模面積の農地転用は困難を伴う。	・農用地区域が含まれておらず、農地法上の手続きは不要
	△	×	○	
③埋蔵文化財包蔵地		・一部埋蔵文化財包蔵地を含むことから、施設整備にあたっては、埋蔵文化財調査が必要となる。	・埋蔵文化財包蔵地は含まれておらず、埋蔵文化財調査は不要	・埋蔵文化財包蔵地に近接しており、整備工事の際には埋蔵文化財への留意が必要
		×	○	△
3 災害安全性・重要性	①災害想定区域（浸水想定）	・浸水想定区域は含まれていない。	・浸水想定区域は含まれていない。	・浸水想定区域は含まれていない。
		○	○	○
	②災害想定区域（土砂災害）	・土砂災害警戒区域は含まれていない。	・土砂災害警戒区域は含まれていない。	・土砂災害警戒区域は含まれていない。
		○	○	○

	候補地	A 加西勤労者体育センター周辺	B 鶯野飛行場跡周辺	C ぜんぼうグリーンパーク周辺
3 災害安全性・重要性	③緊急輸送道	・緊急輸送道路に近接しており、防災拠点としての役割を果たしやすい。	・緊急輸送道路から離れており、近接する候補地と比較すると、防災拠点としての機能性がやや劣る。	・緊急輸送道路から離れており、近接する候補地と比較すると、防災拠点としての機能性がやや劣る。
		○	△	△
4 接道、交通環境条件	①接道	・片側1車線の県道371号 高岡北条線等と接道 (片側1車線、一般県道)	・片側1車線の市道中野家塚線と接道 (片側1車線)	・片側1車線の県道81号 小野香寺線等と接道 (片側1車線、主要地方道)
	△	△	△	
	②交通環境	・北条町駅から約2.5kmと一定の距離がある。 ・中国自動車道加西ICから約1.4kmと比較的近接している。 ・高速バス、路線バス、コミュニティバス等の利用が可能で交通利便性が高い。	・法華口駅から約2.5kmと一定の距離がある。 ・中国自動車道加西ICから約5.0kmと比較的離れている。 ・コミュニティバスのみ利用可能で、交通利便性に一定の制約がある。	・播磨下里駅から約1.0kmと鉄道駅には最も近い。 ・中国自動車道加西ICから約9.4km、山陽自動車道加古川北ICから約5.9kmと比較的離れている。 ・バス停が1.0km圏内にあるが、本(便)数が限られており、交通利便性に一定の制約がある。
	○	△	△	
5 各種調整	①代替地の設定	・一部農用地区域を含むが、代替地等の農業振興施策を求められる可能性は低い。(農用地区域等)	・全域が農用地区域で、大規模な代替地等の農業振興施策を求められる可能性が非常に高い。(農用地区域)	・代替地はほぼ不要
	○	×	○	
	②既存施設の活用	・活用する敷地に応じて、野球場、テニスコート、多目的グラウンド等一部既存施設を活用	・既存施設は活用できない。	・ぜんぼうグリーンパークや善防中学校敷地の活用となり、公共施設(用地)の有効活用につながる。
△	×	○		
	③各候補地のまちづくりの方向	・都市マスで「緑遊拠点」に位置付けられ、周辺の運動施設や観光拠点とともに交流機能の強化が期待されている。	・都市マスで「副都市核」「未来創造拠点」に位置付けられ、学び、交流、地域活性化等、スマートタウンとしての整備が期待されている。	・都市マスで「緑遊拠点」に位置付けられ、古法華自然公園や加西アルプスとともに交流機能の強化が期待されている。
	○	○	○	
6 周辺環境への影響	①周辺の土地利用	・農地・空閑地等が大半で周辺への施設整備の影響は小さい。	・農地・空閑地等が大半で周辺への施設整備の影響は小さい。	・農地・空閑地等が大半で周辺への施設整備の影響は小さい。
	○	○	○	
	②周辺施設との連携	・いこいの村はりまや周辺のスポーツ施設との連携で、スポーツ拠点の形成につながる。	・sora かさいや鶯野飛行場跡地との連携で、集客性アップや観光周遊増につながる。 ・加西中学校と近接し、統合後の土地利用次第で連携可能	・古法華自然公園との連携で、野外アクティビティエリアの拡大や集客性アップにつながる。
	○	○	○	
合計		22	20	27

※○=2、△=1、×=0



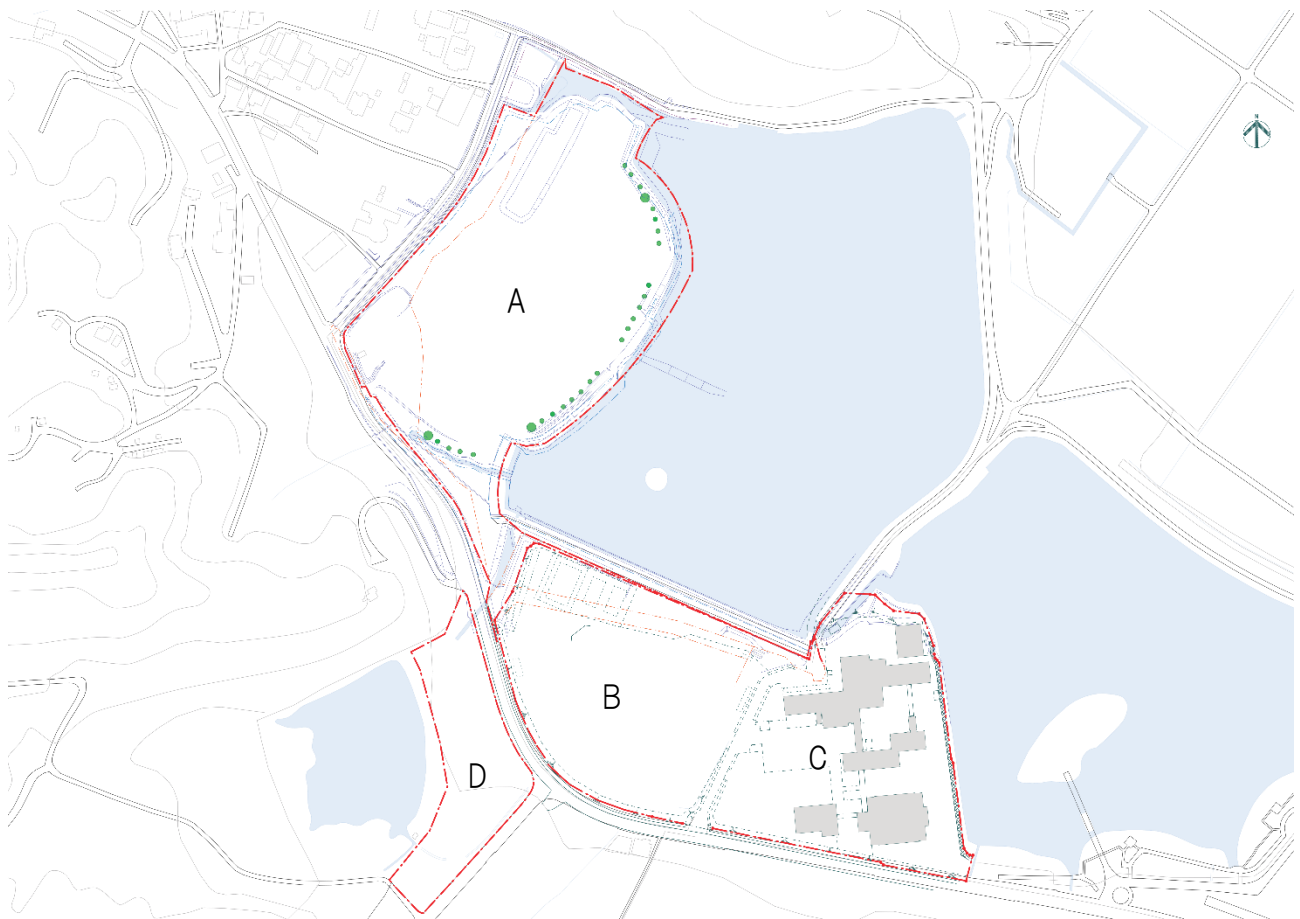
【スポーツ推進審議会意見】
候補地選定に当たっては、スピード感を持って、総合運動防災公園整備を進められることが最も重要である。
そのため、他の候補地や現加西中学校周辺などの他の選択肢と比較しても、新たな用地買収が不要であり、かつ大規模な造成工事等も必要としない「ぜんぼうグリーンパーク周辺」が最適であると考えます。

上記の結果 「ぜんぼうグリーンパーク周辺」 を整備候補地とする。

4 候補地における整備ゾーニングの検討

候補地で選定した「ぜんぼうグリーンパーク」は、下図のように大きく4つのエリアに分けられる。

エリア	面積	現状	備考
A:ぜんぼうグリーンパーク	約 3.6ha	土グラウンド、倉庫、トイレ棟等	記念樹、善防池分土工跡、北西民有地
B:善防中学校グラウンド	約 2.0ha	土グラウンド、プール、野球用バックネット等	道路との高低差
C:善防中学校校舎周辺	約 2.0ha	校舎、体育館、武道場	市道
D:道路向かい空地	約 0.8ha	山林	高低差

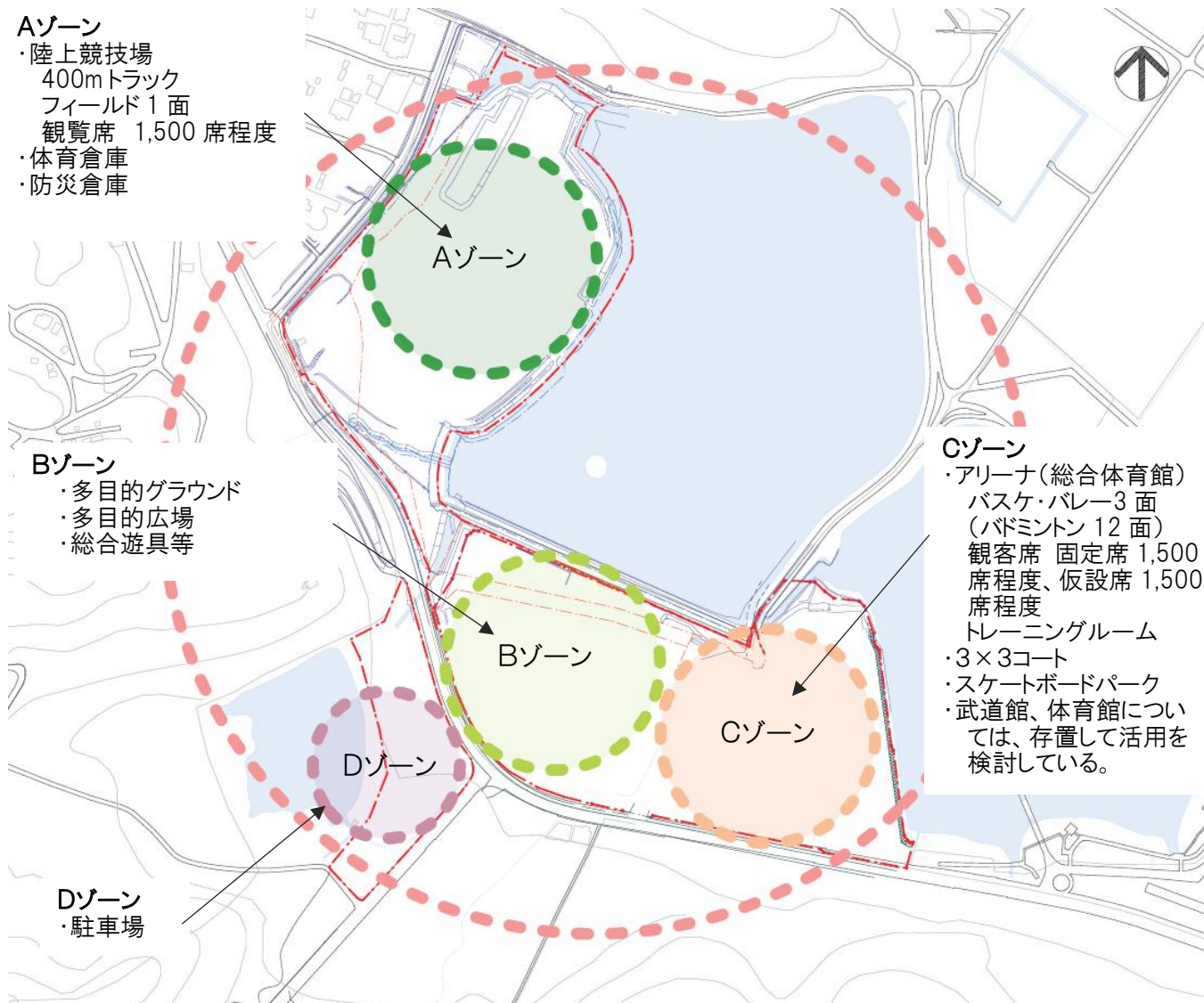


出典：国土地理院「基盤地図情報」、加西市「善防中学校配置図」、「善防池用地測量 用地平面図」を元に作成

本事業において総合運動防災公園に設置する施設機能のうち、特に規模の大きいものは、陸上競技場、多目的グラウンド・広場、アリーナ(総合体育館)、駐車場の4つである。それぞれの施設機能について、先の4エリアに最適な配置を以下のように設定する。

施設機能	配置上の要件
陸上競技場	トラック廻りのスペースや観客席等のために広大な敷地が必要
多目的グラウンド・広場	一定規模の整形の敷地が必要
アリーナ (総合体育館)	一定規模の敷地が必要
駐車場	利用者のための一定規模の敷地が必要。不整形でも可

設置エリア	選定理由
A	当初から陸上競技場用地として整備されていた。
B	A に次ぐ規模で整形であり、A に比較的近く連携しやすい。
C	既存体育館、武道場等を活用できる可能性がある。
D	不整形ながら一定規模が確保可能



第7章 総合運動防災公園整備に想定される事業スキーム

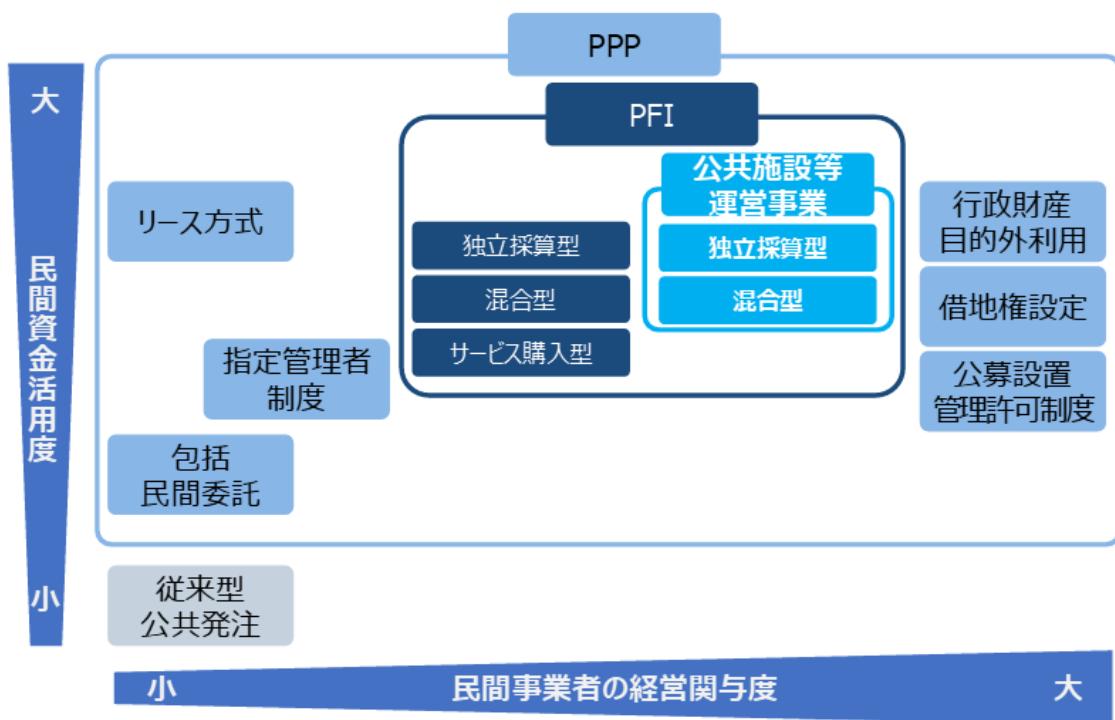
1 本事業への適用が想定される事業スキーム

人口減少・少子高齢化や厳しい財政状況、公共施設の老朽化といった現状において、適切な公共サービスの維持のために、公共施設の整備・運営等に係るコストの効率化や広域管理、施設集約化等が求められている。これらの実現のために、官民連携手法の活用は有効な手段の一つと考えられている。

PPP (官民連携)	PPPは、Public(官)とPrivate(民)のPartnership(連携)であり、それぞれお互いの強みを生かすことによって、最適な公共サービスの提供を実現し、地域の価値や住民満足度の最大化を図るなど様々な形で活用されている。
PFI	PFI(Private Finance Initiative)とは、PPP(官民連携)の一形態で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

「PFI事業の概要」(内閣府)を元に作成

PPP/PFI事業の概要イメージ



出典:「PFI事業の概要」(内閣府)

本事業において適用が想定される事業手法としては、従来方式に加え、官民連携手法として、DB、DB+O、DBO、PFI 方式等が考えられる。それぞれの方式の特徴を以下にまとめるが、採用する具体的な事業方式については、引き続き検討していくこととする。

	概要	資金調達	施設所有	設計	建設	管理運営
公設公営 (従来方式: 設計委託+ 工事請負+ 公共直営)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共が自ら資金調達 ・設計・建設は公共がそれぞれ分離発注 ・管理運営も公共が直営 ・施設所有権は事業期間中、公共が持ち続ける。 	公共	公共	民間へ 個別発注	民間へ 個別発注	公共
DB(設計・建設) 方式 (設計施工 一括発注+ 公共直営)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共が自ら資金調達 ・設計・建設は公共が一括発注 ・管理運営は公共が直営 ・施設所有権は事業期間中、公共が持ち続ける。 	公共	公共	民間へ 一括発注		公共
DB(設計・建設) +O(管理運営) 方式 (設計施工 一括発注+ 管理運営委託)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共が自ら資金調達 ・設計・建設は公共が一括発注 ・管理運営は別途民間事業者 に委託または指定管理者制度 を採用 ・施設所有権は事業期間中、公共が持ち続ける。 	公共	公共	民間へ 一括発注		民間へ 個別発注
DBO(設計・建設・ 管理運営) 方式 (設計施工管理 運営一括発注)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共が自ら資金調達 ・設計・建設・管理運営を公共 が一括発注 ・施設所有権は事業期間中、公共が持ち続ける。 	公共	公共	民間へ 一括発注		
PFI-BTO(建設・ 所有権移転・管 理運営)方式	<ul style="list-style-type: none"> ・民間が資金調達をし、設計・ 建設、維持管理及び運営を一 括発注する。 ・施設所有権は、施設整備終了 後に民間から公共に譲渡され る。 	民間	公共	民間へ 一括発注		

※設計:D、建設:B、維持管理・運営 O、所有権移転:T の略

2 事業スケジュールの検討

本事業は、整備する施設・敷地が複数にわたることから、それぞれを順に実施していく必要がある。まずは基本となる従来手法で実施した場合の事業スケジュールを以下に示し、その上で、最初に整備する陸上競技場について、前項で整理した事業方式別の事業スケジュールを示す。具体的な事業スケジュールについては、今後の事業手法選定の上で、決定していくこととする。

従来手法の場合の全体事業スケジュールイメージ

年度	R7度	R8度	R9度	R10度	R11度	R12度	R13度	R14度		
陸上競技場	基本計画	発注準備	基本設計	発注準備	実施設計	発注準備	建設工事	開業準備	供用開始	
総合体育館			発注準備	解体設計	発注準備	解体工事				
			発注準備	基本設計	発注準備	実施設計	発注準備	建設工事	開業準備	供用開始
多目的グラウンド			発注準備	基本設計	発注準備	実施設計	発注準備	建設工事	開業準備	供用開始
駐車場		発注準備	造成設計	発注準備	造成工事	供用開始				

※上記のスケジュールは従来手法の場合の想定であり、事業手法の選定や今後の社会状況等により変わる。

事業方式別の陸上競技場整備スケジュールイメージ

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		
公設公営 (従来手法)	基本計画	発注準備	基本設計	発注準備	実施設計	発注準備	建設工事	開業準備	供用開始
DB方式	基本計画	発注準備	公募・選定・契約	基本・実施設計・施工			開業準備	供用	
DB+O方式 (指定管理)	基本計画	発注準備	公募・選定・契約	基本・実施設計・施工			開業準備	供用	
DBO方式	基本計画	発注準備	公募・選定・契約	基本・実施設計・施工			開業準備		
PFI-BTO方式	基本計画	発注準備	導入可能性調査	アドバイザー 公募・選定・契約	基本・実施設計・施工				

参考 地域や利用者ニーズ把握のアンケート・ヒアリング

1 市民アンケート

1. 調査概要

加西市民を対象に第二次加西市スポーツ推進計画後期計画策定及び総合運動公園の将来的な整備及び、スポーツ・運動の実施状況、スポーツに関するニーズ、総合運動公園に求める機能に関する意向の把握を目的としてアンケート調査を実施した。

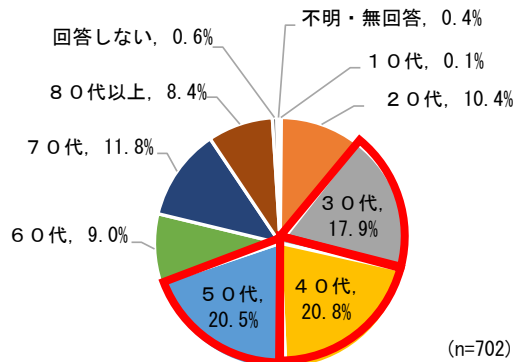
対象者	18歳以上の市民 2,000人(無作為抽出)
アンケート実施期間	令和6年7月22日～8月7日
アンケート方法	郵送にて調査票を配布(郵送及びWEB経由で回収)
アンケート回答数	配布件数:2,000件 回答数:702件 回答率:35.1%

2. 調査結果

1 回答者属性

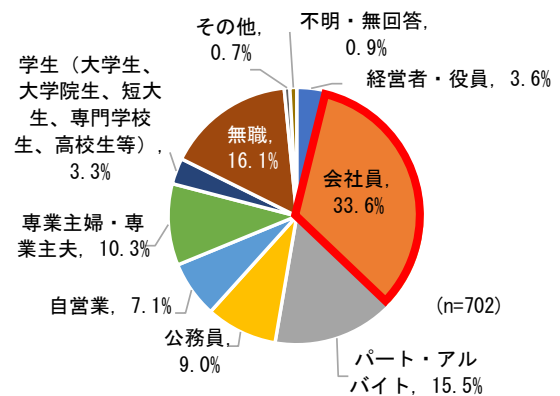
問1 年齢

○30代、40代、50代がそれぞれ約2割ずつ。



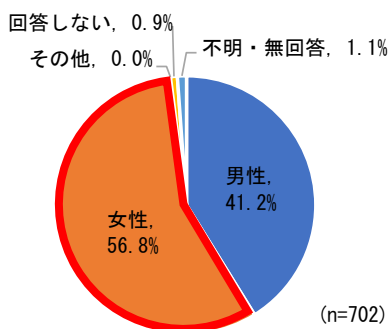
問2 職業等

○「会社員」が3割で最も多い。



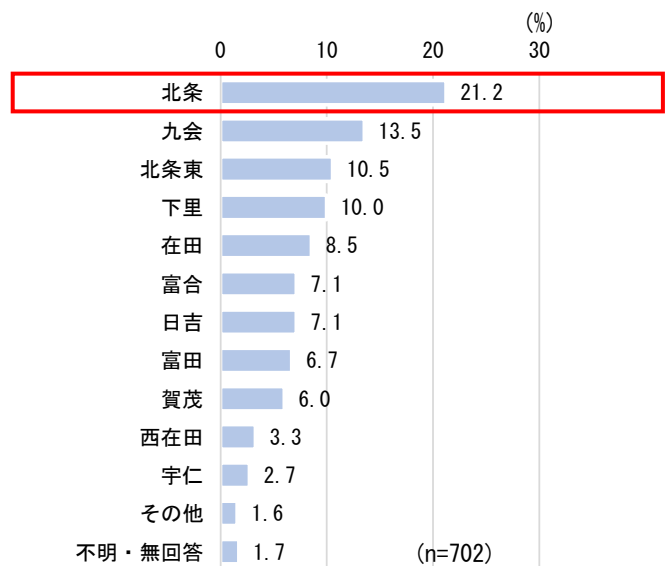
問3 性別

○男女比は4:6 女性が多い。



問4 居住地

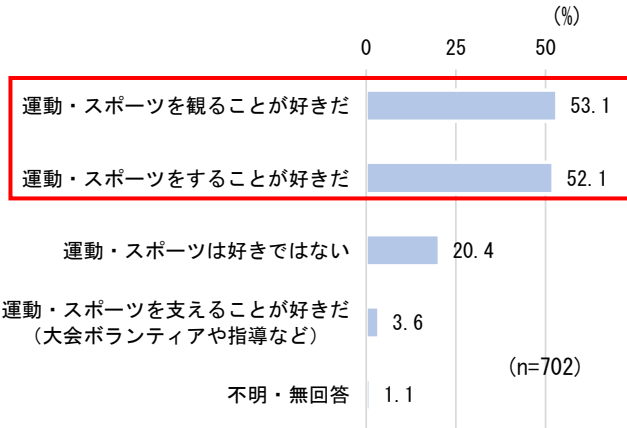
○北条の居住者が2割と最も多い。



2 スポーツへの関心・実施状況について

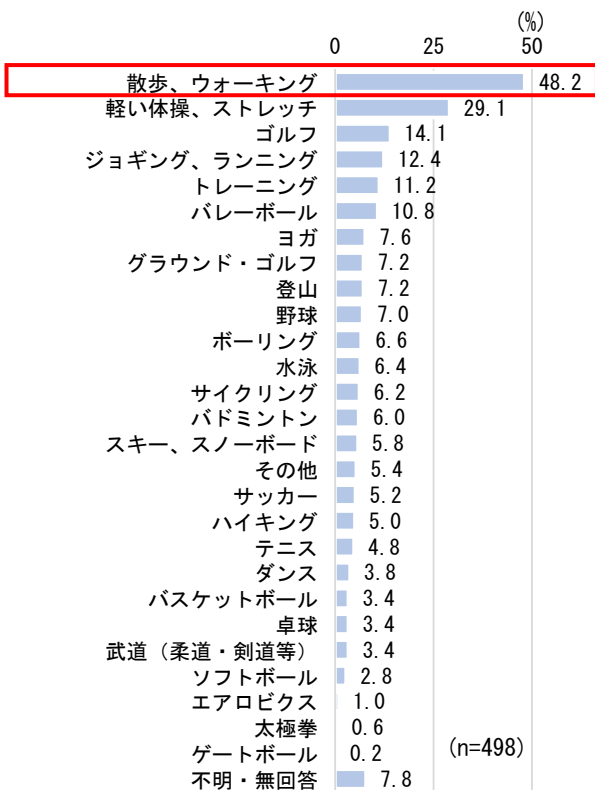
問5 運動・スポーツについてどのように感じているか。

○運動・スポーツをしたり、観たりすることが好きな人はそれぞれ半数以上



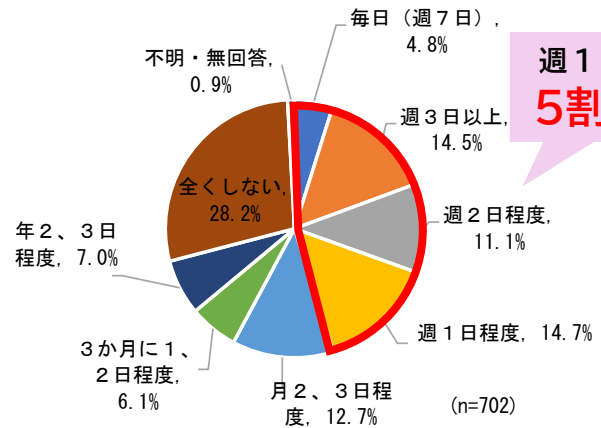
問7 どのようなスポーツをしたか。

○半数近くが「散歩、ウォーキング」を実施



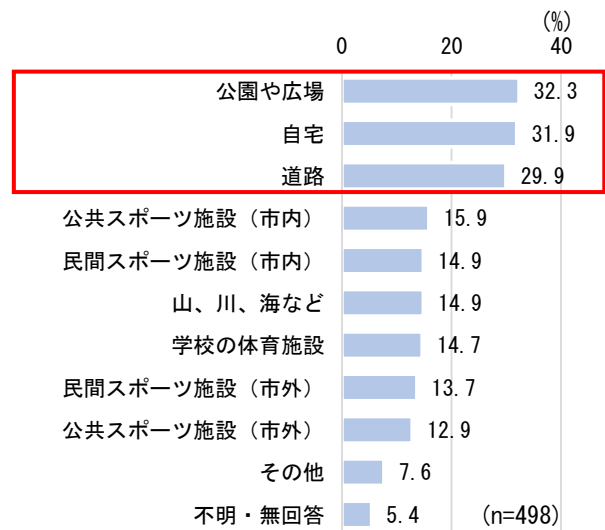
問6 過去1年間の運動・スポーツ(1回30分以上)の実施頻度

○週1日以上運動・スポーツをしている人の割合は5割近く、週3日以上は2割近く。



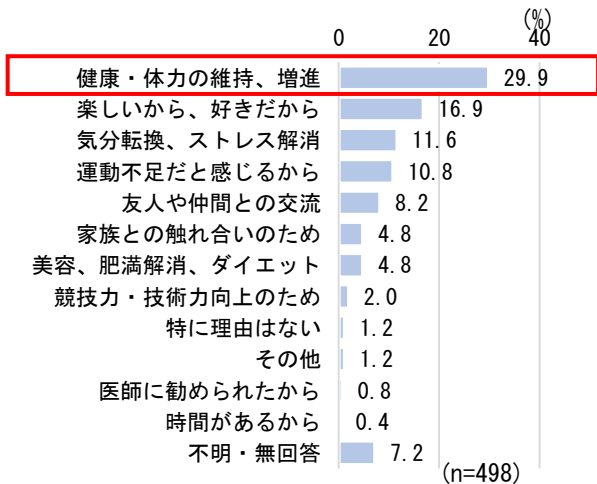
問8 運動・スポーツを行った場所

○公園や広場、自宅、道路がそれぞれ約3割ずつ。



問9 運動・スポーツを行う理由

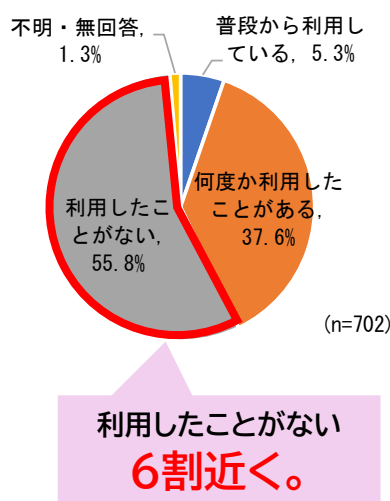
○約3割が「健康・体力の維持、増進」のために運動・スポーツを実施



3 市のスポーツ施設について

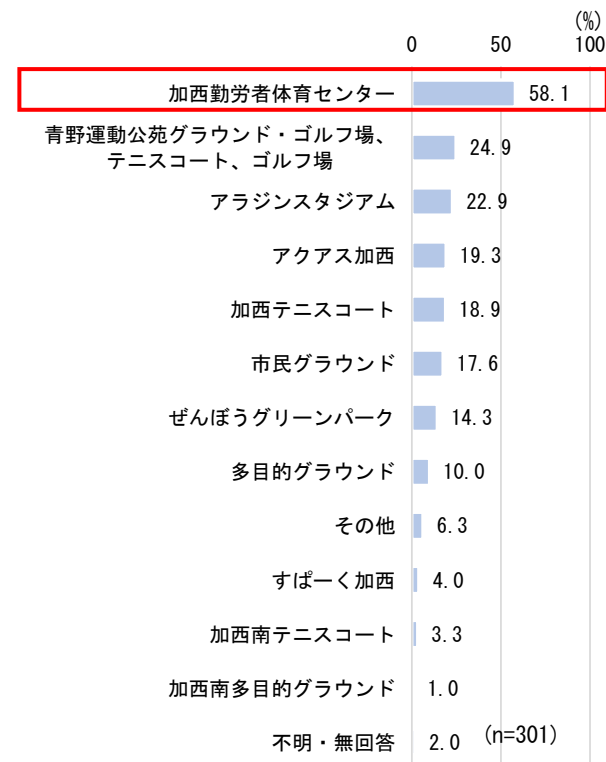
問10 本市のスポーツ施設について、利用したことはあるか。

○6割近くが「利用したことがない」。



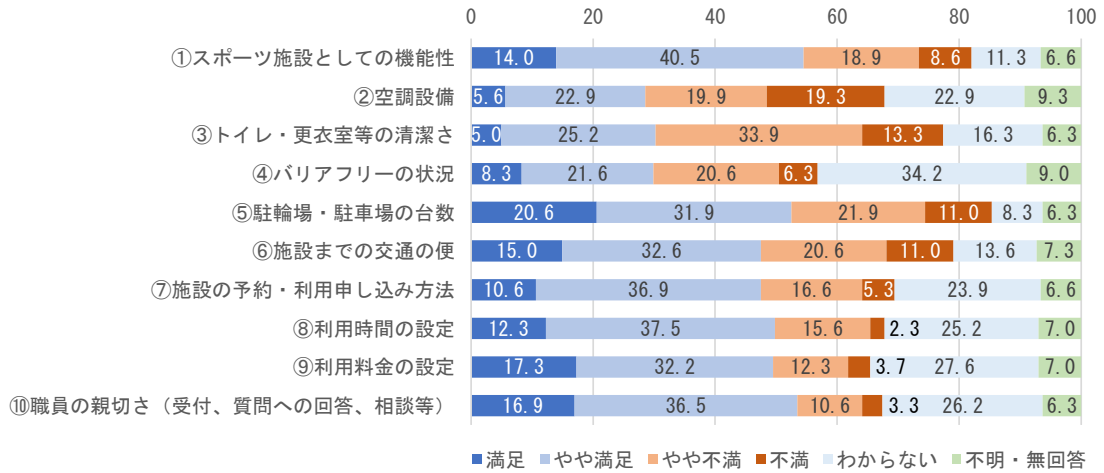
問11 本市のスポーツ施設の中で利用したことがある施設

○6割近くが加西勤労者体育センターを利用



問 12 本市のスポーツ施設の利用満足度

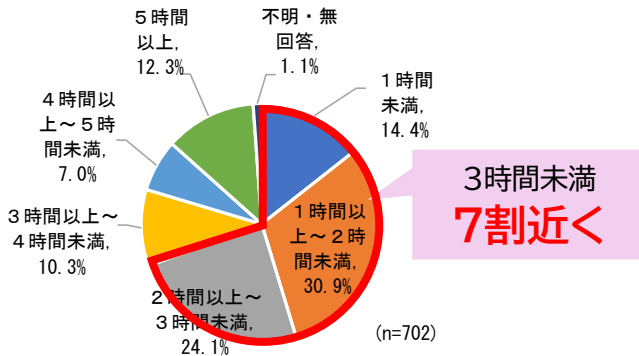
- 駐輪場・駐車場の台数、利用料金、職員の親切さ、交通の便などの満足度が高い。
- 空調設備、トイレ・更衣室の清潔さに不満を感じている人が多い。



4 余暇の過ごし方について

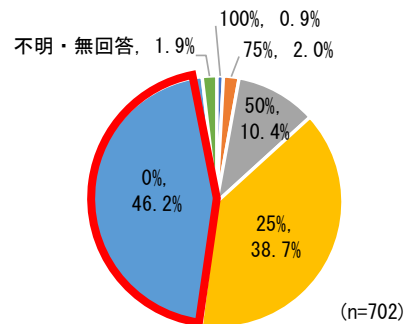
問 13 1日のうち自由に使える時間（平日）

- 平日は、3割が「1時間以上～2時間未満」、7割近くが3時間未満



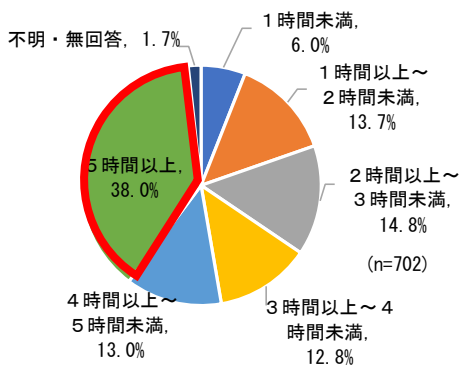
問 14 自由に使える時間のうち運動・スポーツにどの程度の時間を費やすか。（平日）

- 半数近くが0%、25%が4割近く。



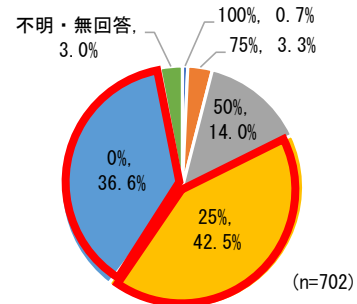
問 15 1日のうち自由に使える時間（休日）

- 休日は、「5時間以上」が4割近く。



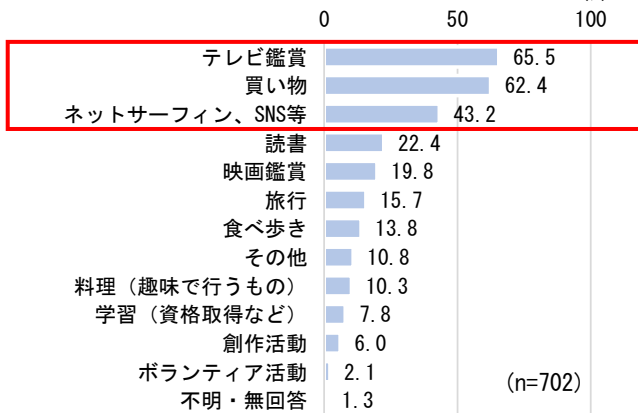
問 16 自由に使える時間のうち運動・スポーツにどの程度の時間を費やすか。（休日）

- 4割が「25%」、「0%」も4割近く。



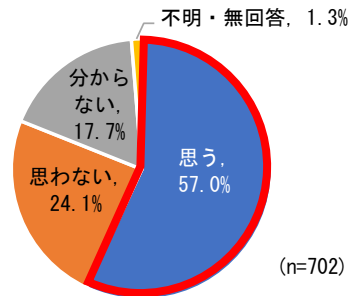
問 17 自由に使える時間を使って、運動・スポーツ以外で行うこと

○「**テレビ鑑賞**」が7割近く、「**買い物**」が6割、「**ネットサーフィン、SNS等**」が4割



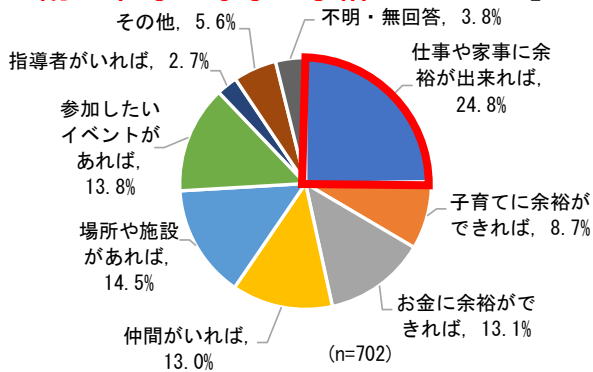
問 18 運動・スポーツをする機会（時間）を増やしたいか。

○6割近くが運動・スポーツをする**機会（時間）を増やしたい**。



問 19 運動・スポーツをする機会を増やすにはどのようなことが必要か。

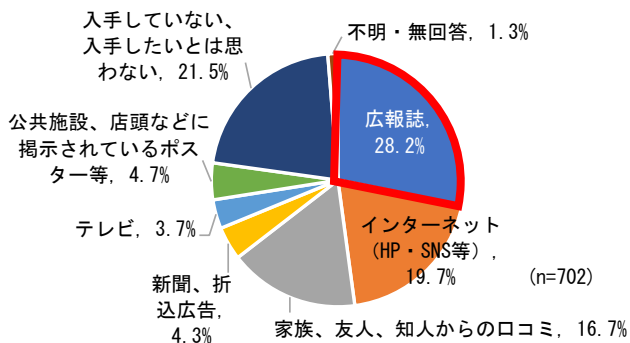
○2割が「**仕事や家事に余裕ができれば**」



5 市が行うスポーツ事業等について

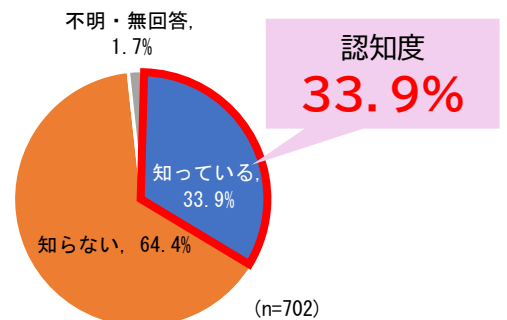
問 20 運動・スポーツイベント等に関する情報をどこから入手しているか。

○「**広報誌**」が3割近く。



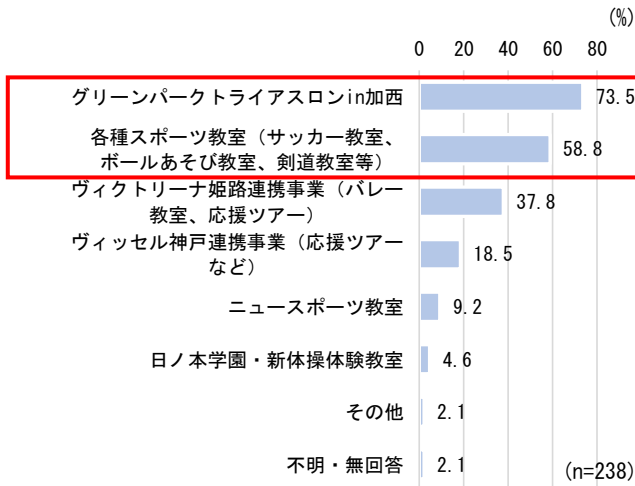
問 21 あなたは、本市において開催されている運動・スポーツイベント、教室を知っているか。

○6割以上が「**知らない**」、**認知度は 33.9%**



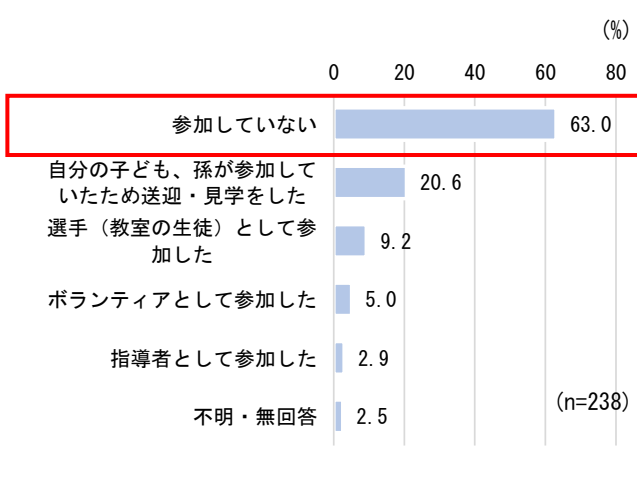
問 22 本市のスポーツ事業のうち知っている事業

○グリーンパークトライアスロン in 加西、各種スポーツ教室などの認知度が高い。



問 23 本市の実施しているスポーツ事業に参加したことがあるか。

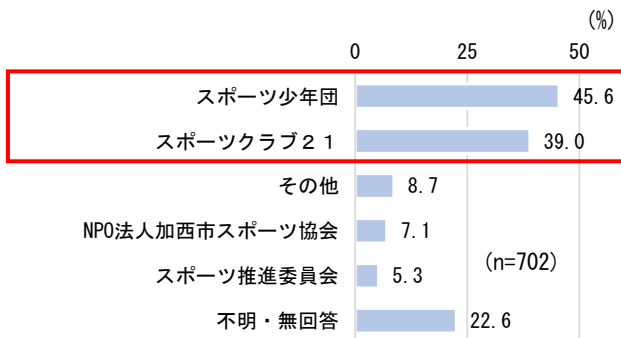
○6割以上が「参加していない」、子どもや孫の参加が2割、自身の参加は2割弱



6 インクルーシブスポーツについて

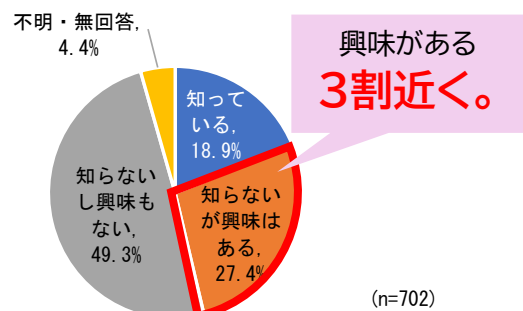
問 24 知っているスポーツ団体

○「スポーツ少年団」が半数近く、「スポーツクラブ21」が4割近く。



問 25 インクルーシブスポーツを知っているか。

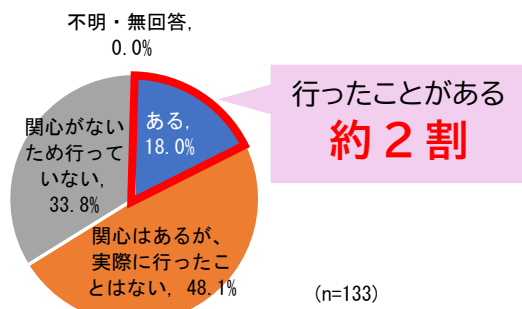
○5割近くが知らないが、興味がある人は3割近く。



問 26 インクルーシブスポーツを行ったり、関連イベントに参加したことがあるか。

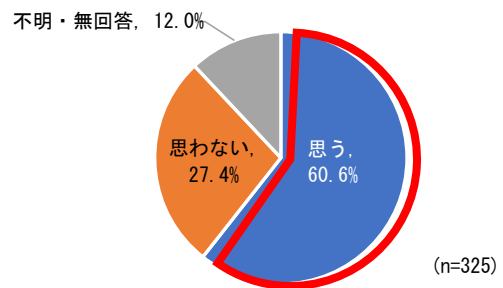
○8割以上が行っていないが、関心ありは半数近く。

○実際に行ったことがある人は2割弱



問 27 今後インクルーシブスポーツを行ったり、観戦したいと思うか。

○6割が今後インクルーシブスポーツを行ったり、観戦したいと思う。



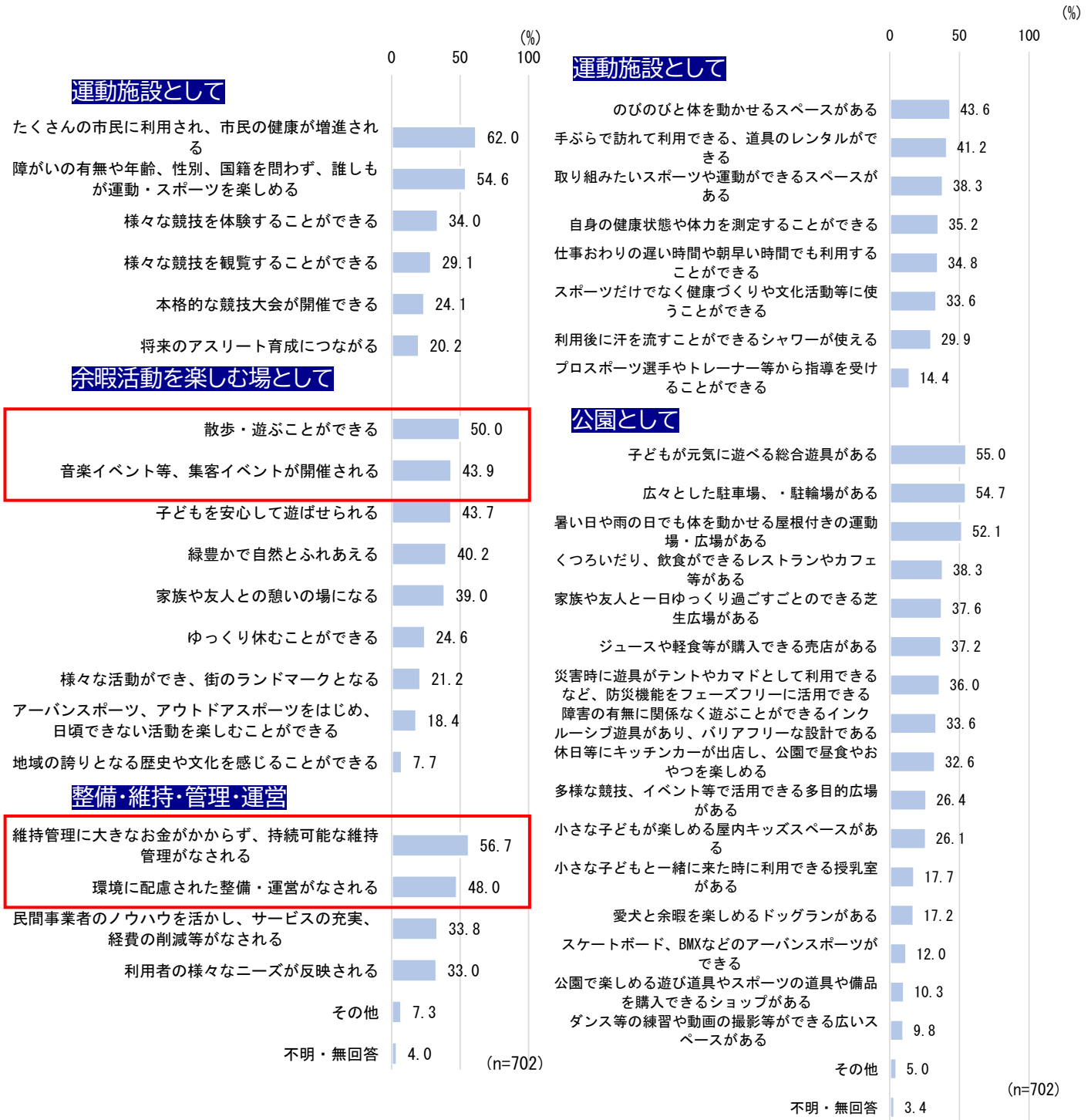
7 総合運動公園整備について

問 28 総合運動公園で大切にすべき視点

- 運動施設として：多くの市民に利用され、市民の健康増進、誰もが運動・スポーツを楽しめる など
- 余暇を楽しむ場所として：散歩・遊ぶことができる、集客イベントの開催 など
- 整備・維持・管理・運営：持続可能な維持管理や環境に配慮された整備・運営 など

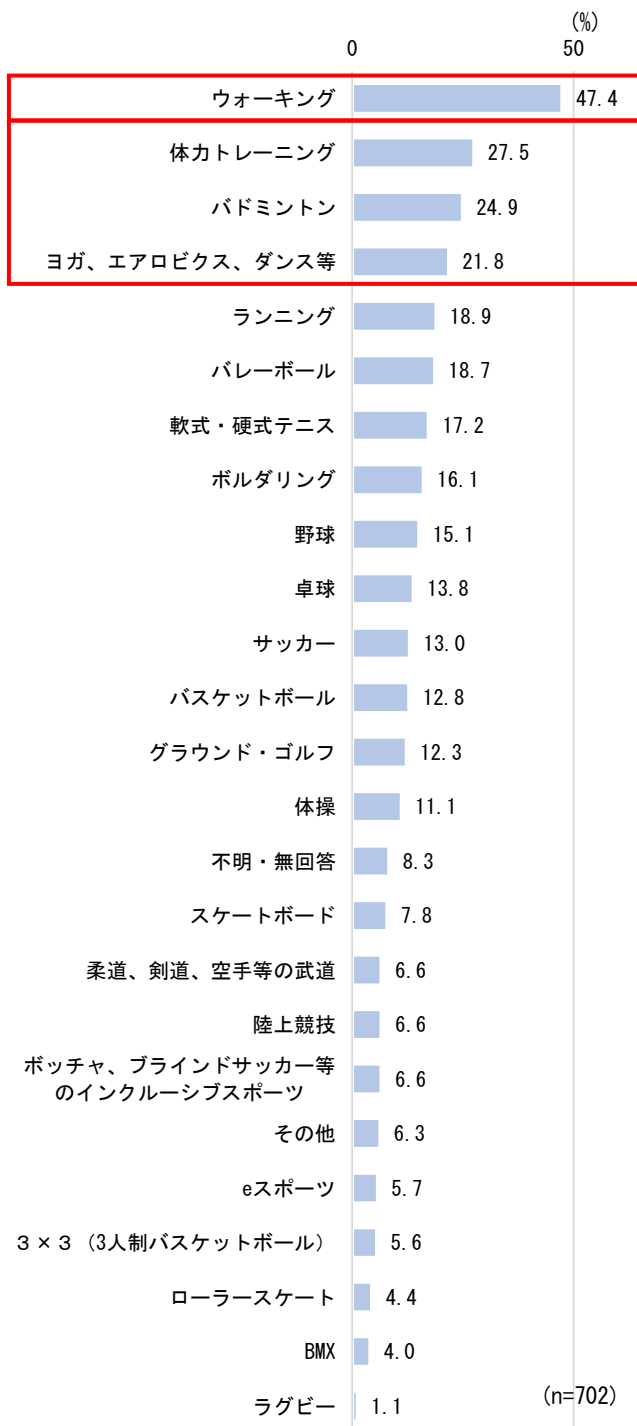
問 29 総合運動公園に求められる使い方や機能

- 運動施設として：のびのびと体を動かせ、取り組みたい運動・スポーツができるスペースや道具のレンタル など
- 公園として：子どもが元気に遊べる総合遊具や広々とした駐車場・駐輪場、屋根付きの運動場・広場 など



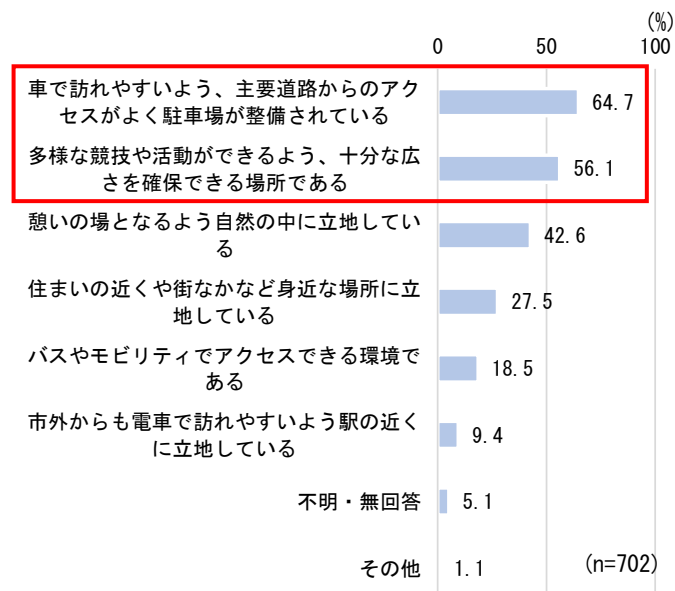
問 30 総合運動公園で楽しみたいスポーツ

- 半数近くがウォーキング
- 体カトレーニングやバドミントン、ヨガ・エアロビクス・ダンス等も2～3割



問 31 総合運動公園は、どのような場所であることが重要か。

- 主要道路からのアクセスが良く駐車場が整備、十分な広さを確保できる場所 など



2 中学生アンケート

(1) 調査概要

加西市内の中学校に通う中学2年生を対象に、スポーツの実施状況やスポーツ施設の利用状況、新たな総合運動公園整備にあたっての意見を聞き取るためのアンケート調査を実施した。

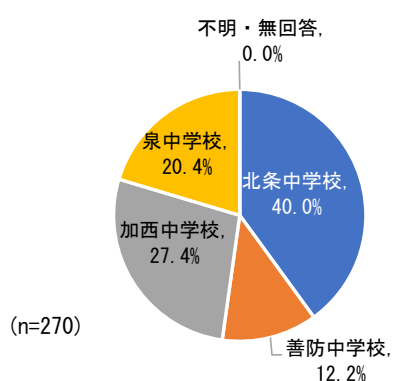
対象者	北条中学校、善防中学校、加西中学校、泉中学校の中学2年生
アンケート実施期間	令和6年9月2日～令和6年9月6日
アンケート方法	授業内でWEBアンケートURLを配布(WEB回答)
アンケート回答数	配布件数:308件 計:270件 回答率:87.6%

(2) 調査結果

1 回答者属性

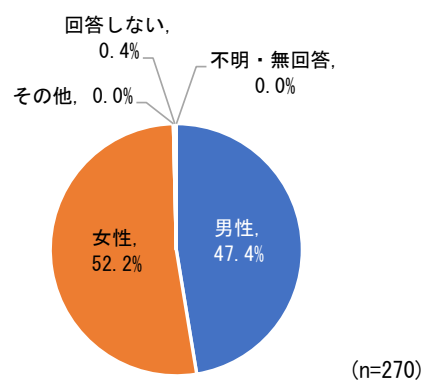
問1 【所属中学校】

○北条中学校が4割



問2 【性別】

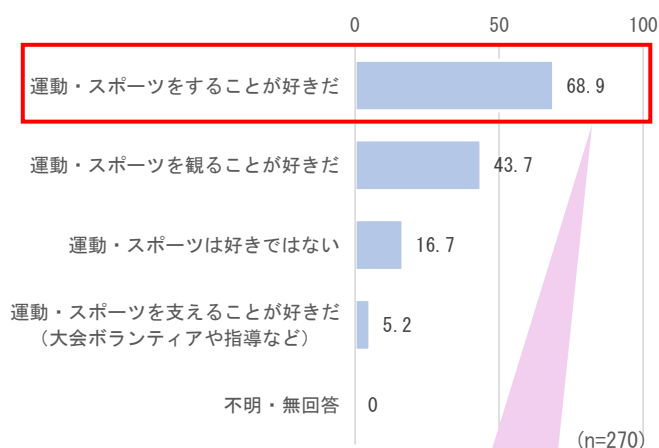
○男女比は5:5 やや女性が多い。



2 スポーツへの関心・実施状況について

問3 運動・スポーツについてどのように感じているか。

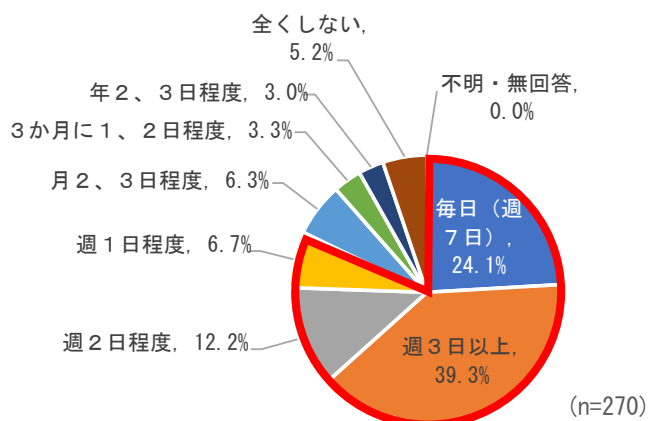
○「運動・スポーツをすることが好きだ」が7割近



運動・スポーツ好き
7割近く。

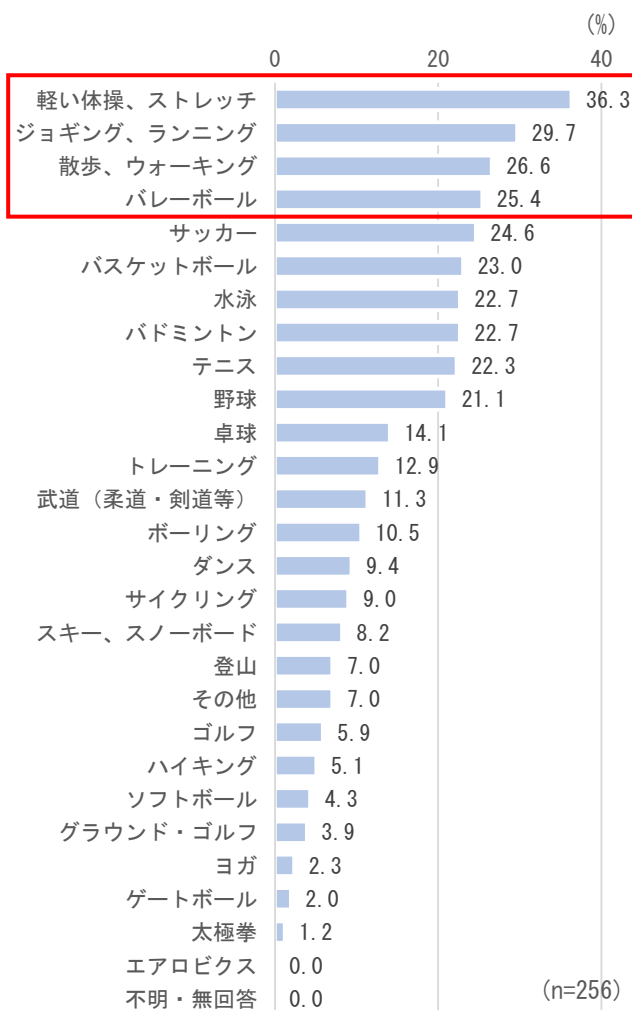
問4 これまでの1年間に、体育の授業(部活動を含む)のほかに、運動・スポーツ(1回30分以上)をどれくらいしたか。

○「週1日以上」運動・スポーツを実施している生徒が8割



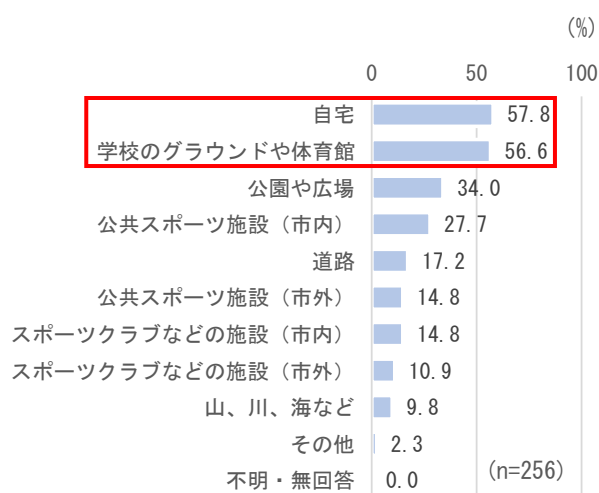
問5 何の運動やスポーツをしたか。

○運動・スポーツの実施内容は「軽い体操・ストレッチ」が**4割近く**。「ジョギング・ランニング」、「散歩、ウォーキング」、「バレーボール」が**3割近く**。



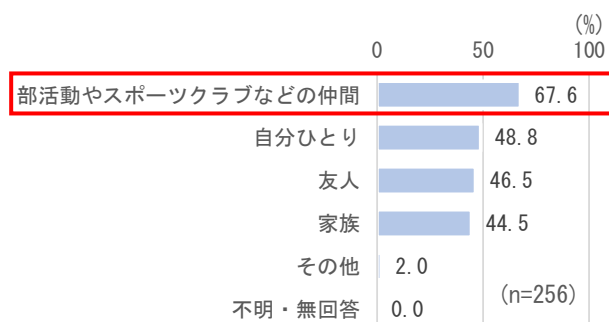
問6 どのような場所で運動やスポーツをしたか。

○運動・スポーツの実施場所は「自宅」、「学校のグラウンドや体育館」が**6割近く**。



7 体育の授業のほかに、運動やスポーツをした人は、誰と一緒にすることが多いですか。

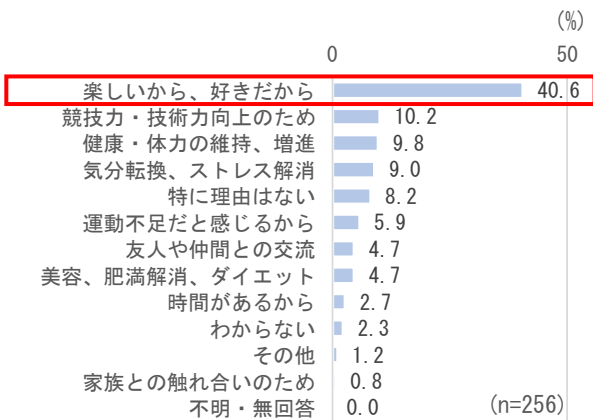
「部活動やスポーツクラブなどの仲間」と運動・スポーツを実施している人が**7割近く**。



軽い体操、ストレッチ
4割近く。
ジョギング、ランニング、散歩、
ウォーキング、バレーボール
3割近く。

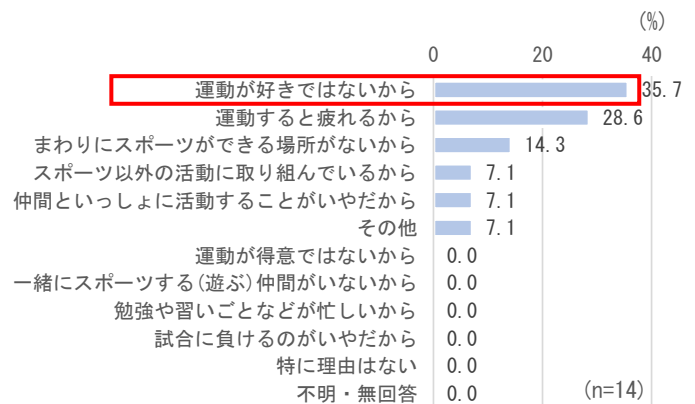
問8 運動やスポーツをする理由

○「楽しいから、好きだから」を理由に運動・スポーツを実施している人が**4割**



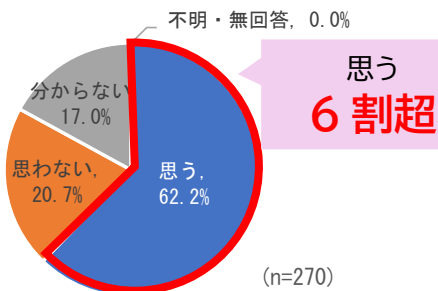
問9 運動やスポーツをしていない理由

○「運動が好きではないから」を理由に運動・スポーツを実施していない人が**4割近く**。



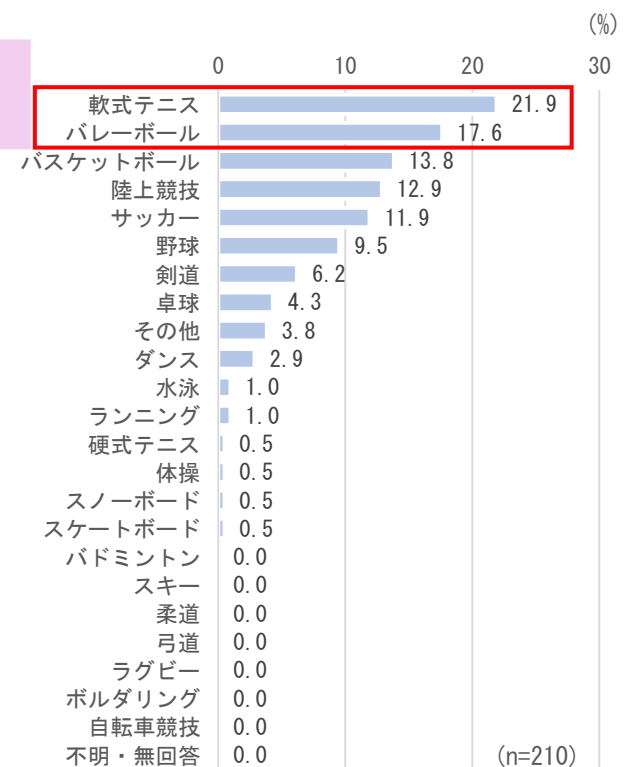
問10 体育の授業のほかに、運動やスポーツをする時間を増やしたいか。

○運動・スポーツをする時間を増やしたいと思っている人が**6割**



問12 運動部活動やスポーツクラブの種目

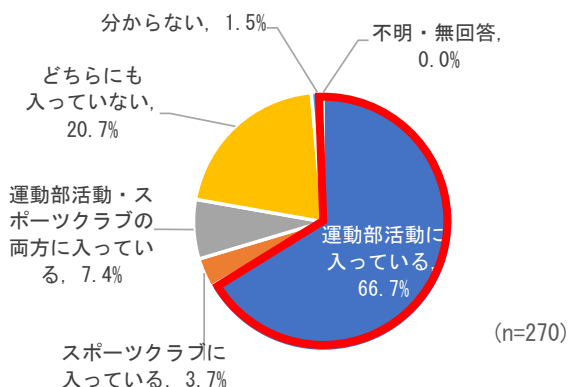
○「軟式テニス」「バレーボール」が**2割前後**



3 部活動・スポーツクラブについて

問11 あなたは、学校の運動部活動やスポーツクラブに入っていますか。(○ひとつ)

○「運動部活動に入っている」人が**7割近く**。



4 総合運動公園整備について

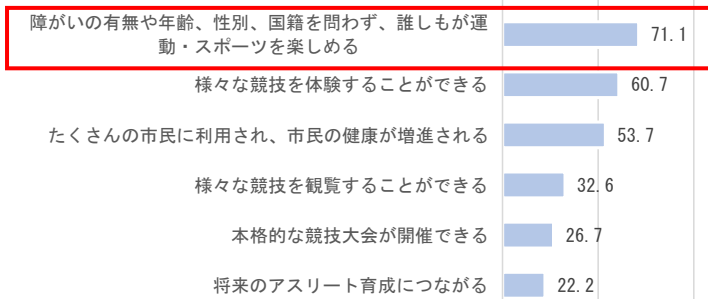
問 13 新しい総合運動公園の整備において大切にすべき視点

○「友人と気軽に遊びに来られる」を求めている人が**8割**近く。「障害の有無や性別、国籍を問わず、誰しものが運動・スポーツを楽しめる」「環境に配慮された整備・運営がなされる」が**7割**

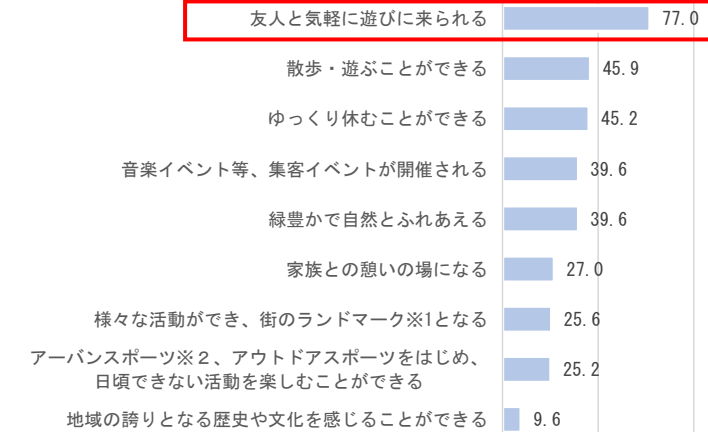
問 14 総合運動公園に求められる使い方や機能

○「のびのびと体を動かせるスペースがある」「取り組みたいスポーツや運動ができるスペースがある」が**7割前後**。「ジュースや軽食等が購入できる売店が**6割**近く。

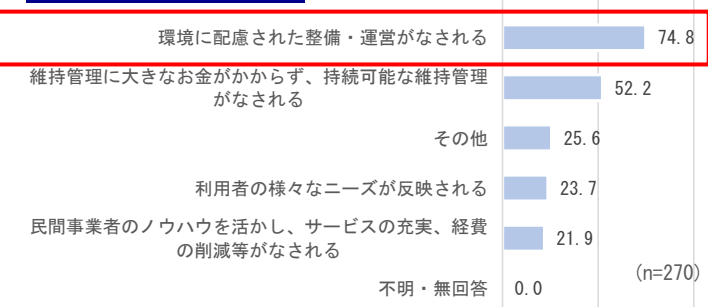
運動施設として



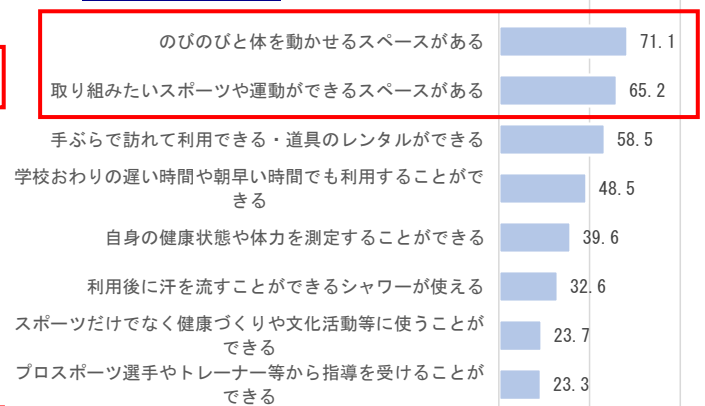
余暇活動を楽しむ場として



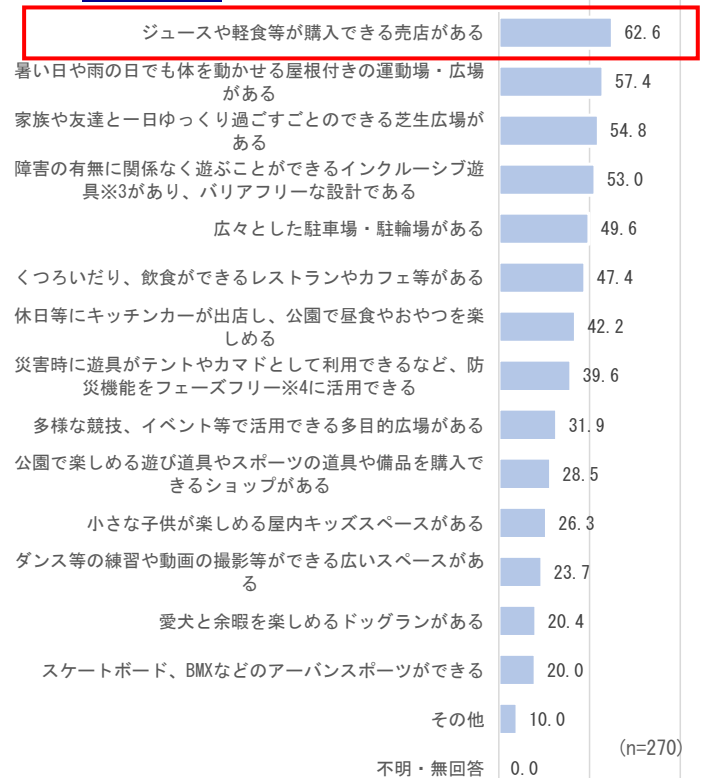
整備・維持・管理・運営



運動施設として

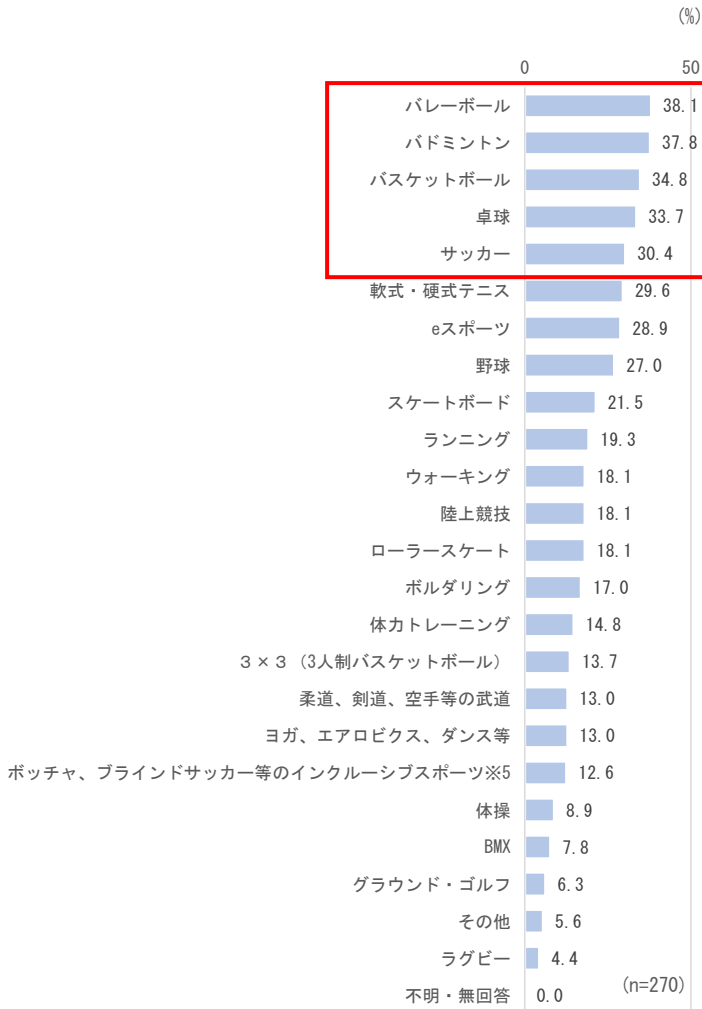


公園として



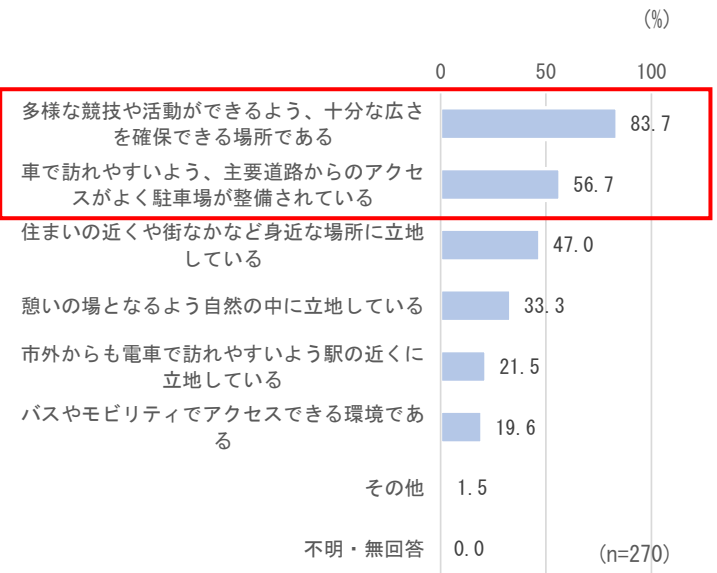
問 15 総合運動公園で楽しみたいスポーツ

○バレーボールやバドミントン、バスケットボール、卓球、サッカーが**上位**



問 16 総合運動公園はどのような場所であることが重要か。

○整備にあたり重要なことは、「多様な競技や活動ができるよう十分な広さを確保できる場所である」が**8割**、「車で訪れやすいよう、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されている」が**6割近く**。



3 利用者アンケート

(1) 調査概要

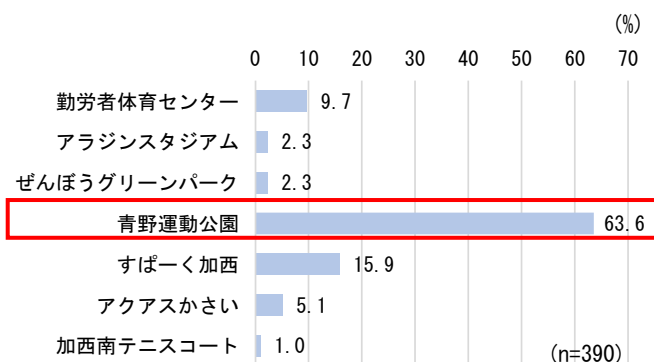
市内スポーツ施設利用者を対象に、施設の利用状況や新たな総合運動公園整備にあたっての意見を聞き取るためのアンケート調査を実施した。

対象者	市内スポーツ施設(加西勤労者体育センター・テニスコート、アラジスタジアム・多目的グラウンド・市民グラウンド、ぜんぼうグリーンパーク、青野運動公苑(グラウンド・ゴルフ場、テニスコート、ゴルフ場等)、すぱーく加西、アクアスカさい、加西南テニスコート・加西南多目的グラウンド)の利用者
アンケート実施期間	令和6年7月25日～令和6年8月5日
アンケート方法	各施設窓口での調査票配布(紙・WEB 回答)
アンケート回答数	配布件数:450件 計:390件 回答率 86.7%

(2) 調査結果

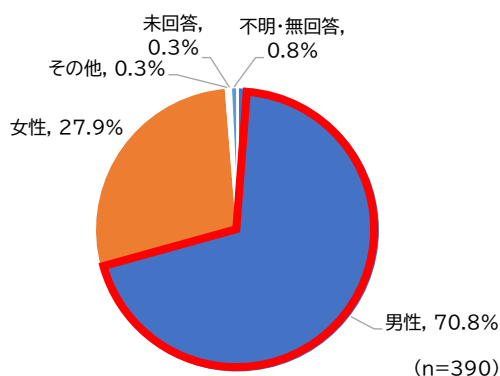
【回答者属性】利用施設

○6割が「青野運動公園」を利用



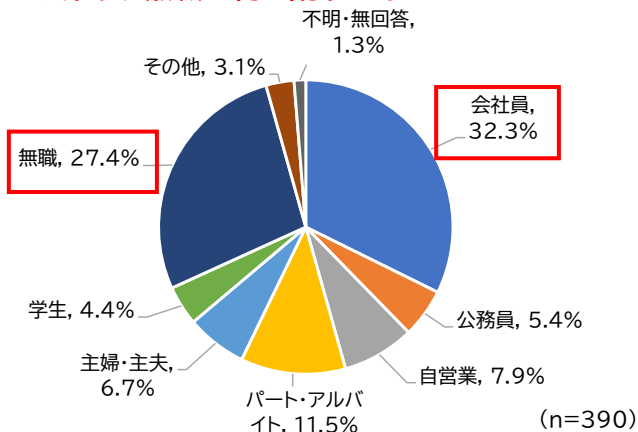
問1 性別・年代

○男女比は7:3 男性が多い。

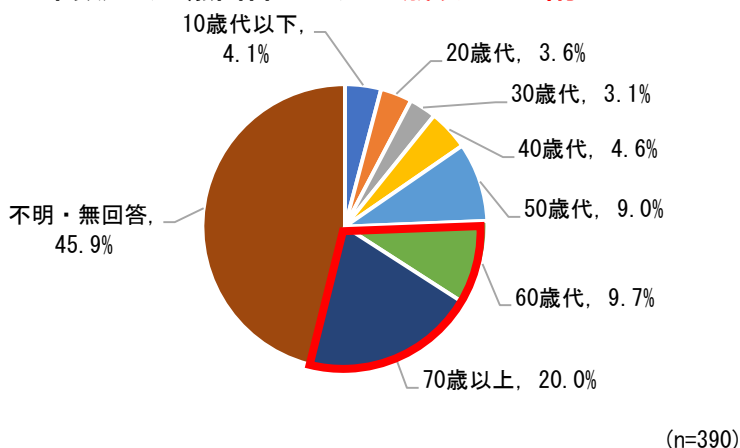


問2 職業

○会社員、無職が約3割ずつ。

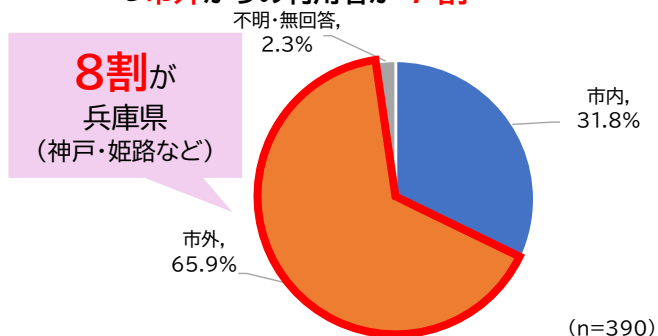


○半数近くが無回答だが、60歳以上が3割



問3 住所

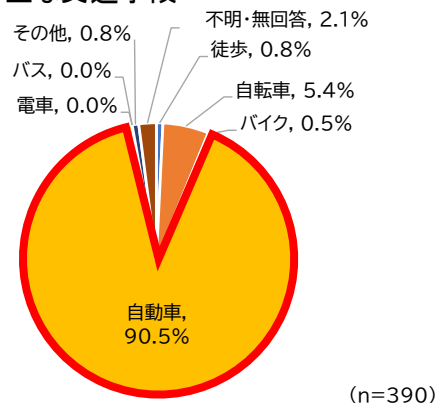
○市外からの利用者が7割



施設の利用状況

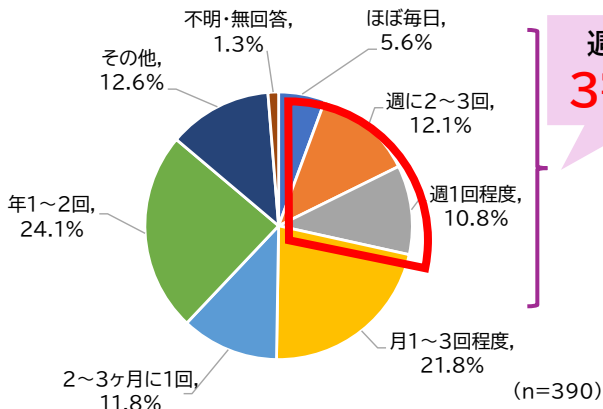
問5 主な交通手段

○9割が自動車で来訪



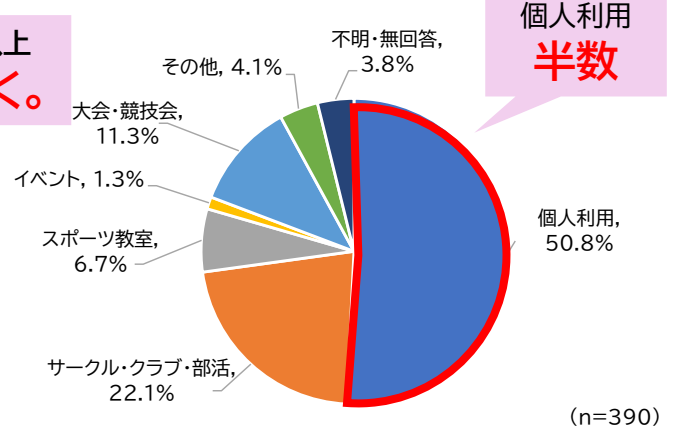
問6-1 利用頻度

○年に1~2回、月に1~3回程度などが多い中、
週1回以上の利用者も3割近く。



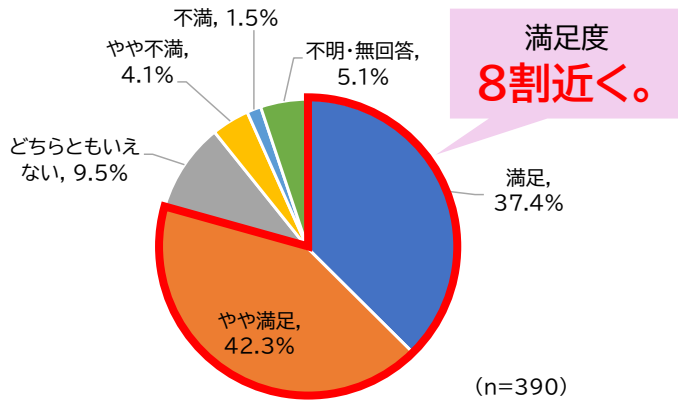
問6-2 利用目的

○個人利用が半数、サークル・クラブ・部活が2割



問6-4 利用満足度 ※問6-3各施設の利用内訳について省略

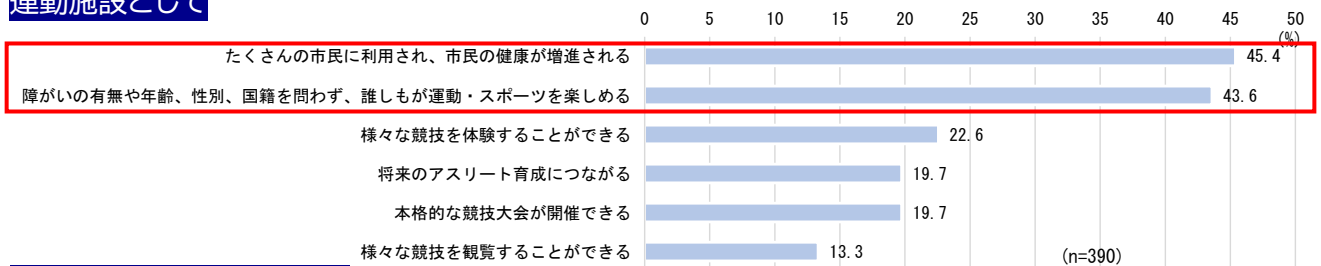
○8割近くが満足



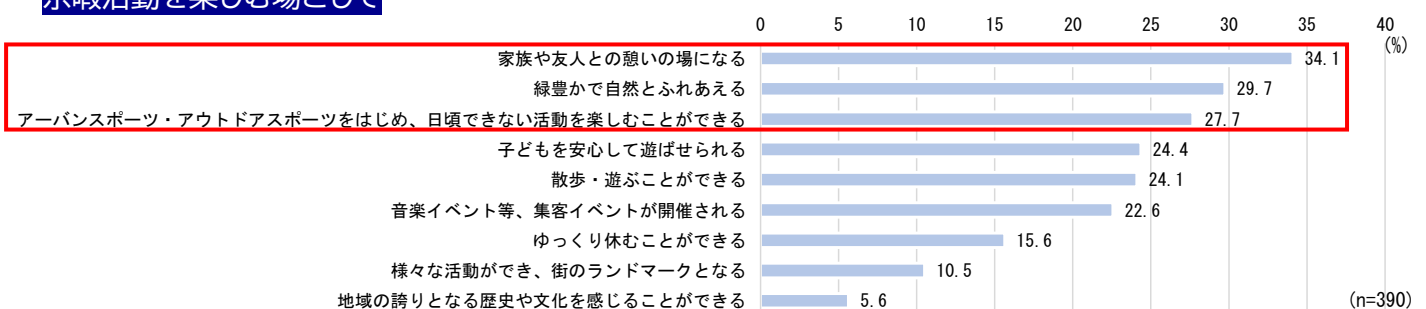
総合運動公園整備について 問7 総合運動公園で大切にすべき視点

○「たくさんの市民に利用され、市民の健康が増進される」、「障がいの有無や年齢、性別、国籍を問わず、誰もが運動・スポーツを楽しめる」、「環境に配慮された整備・運営がなされる」などが4割前後

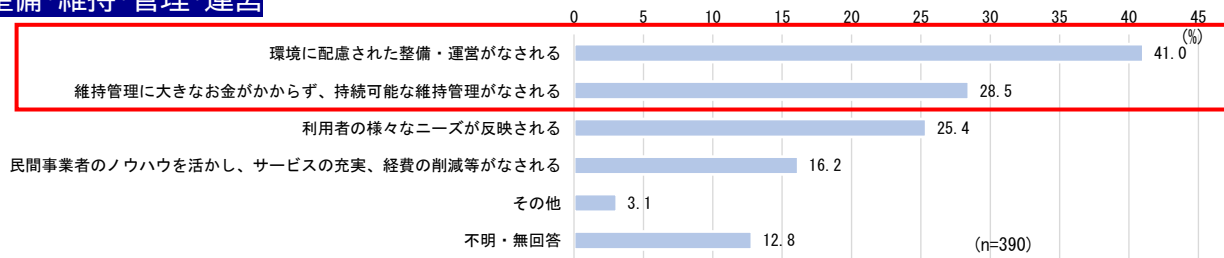
運動施設として



余暇活動を楽しむ場として

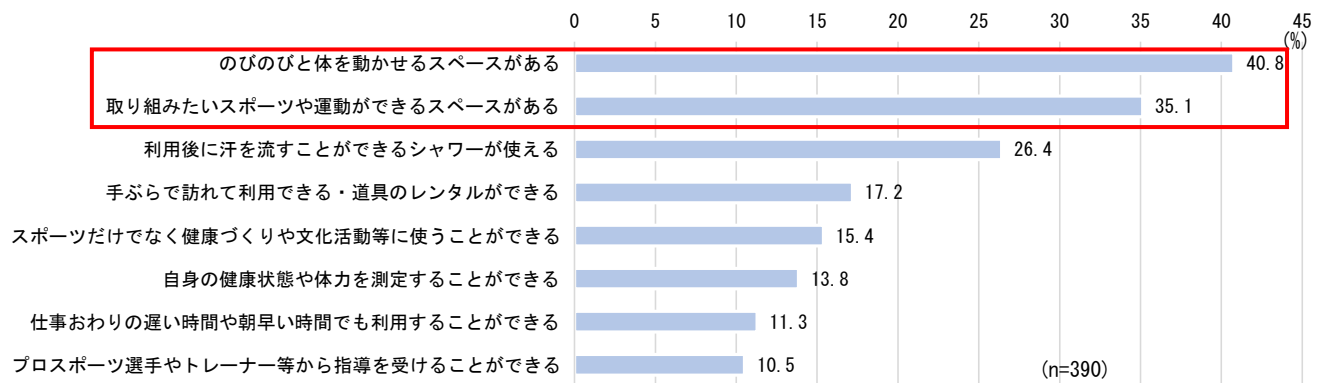


整備・維持・管理・運営



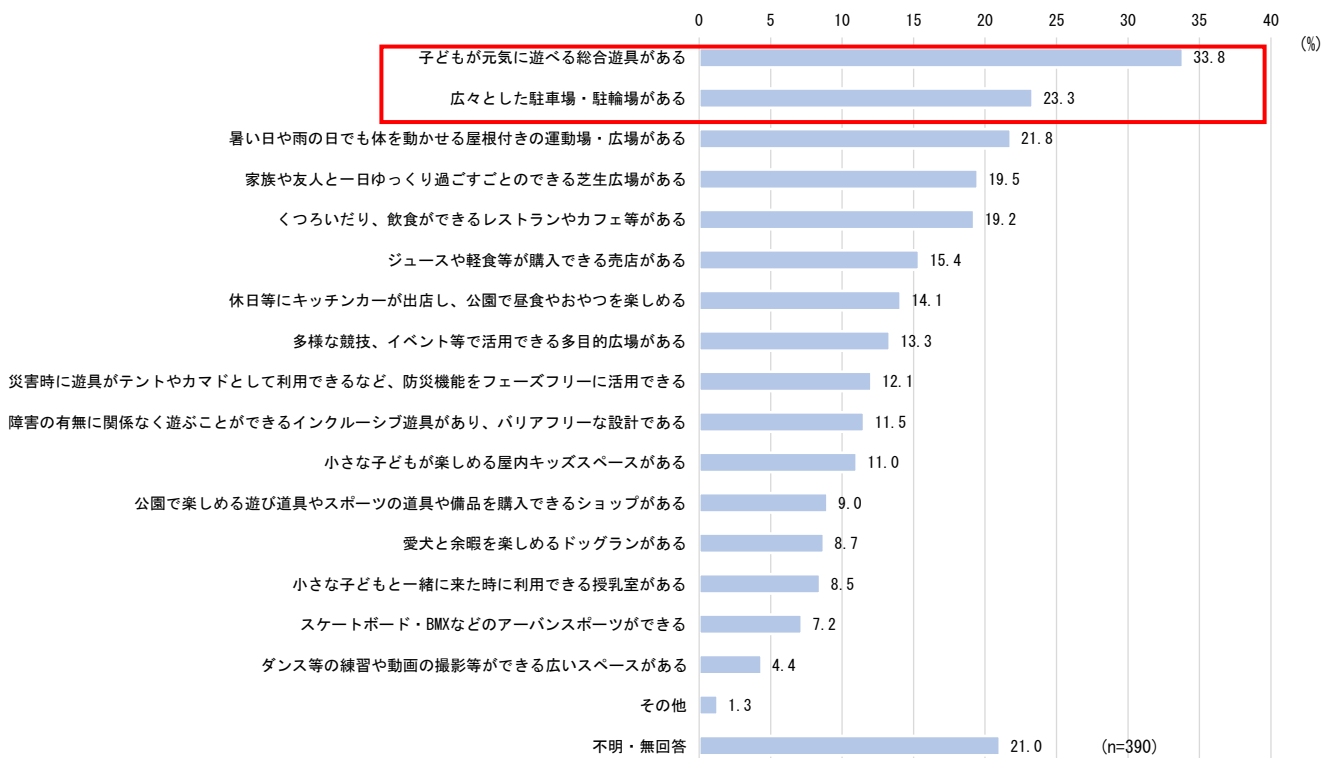
問8 総合運動公園に求められる使い方や機能

運動施設として ○のびのびと体を動かしたり、取り組みたいスポーツや運動ができるスペースが **4割程度**



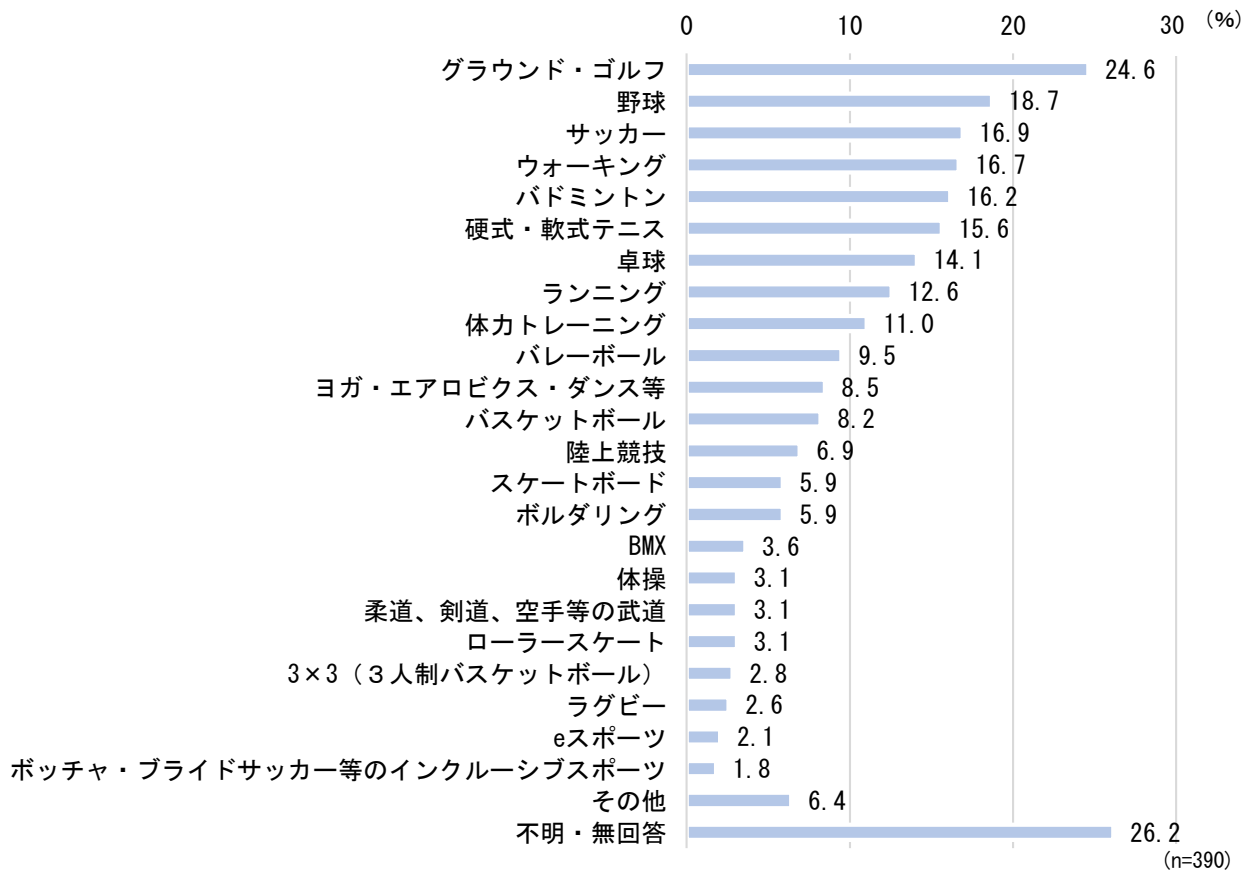
公園として

○子どもが元気に遊べる総合遊具が **3割超**、広々とした駐車場・駐輪場が **2割超**



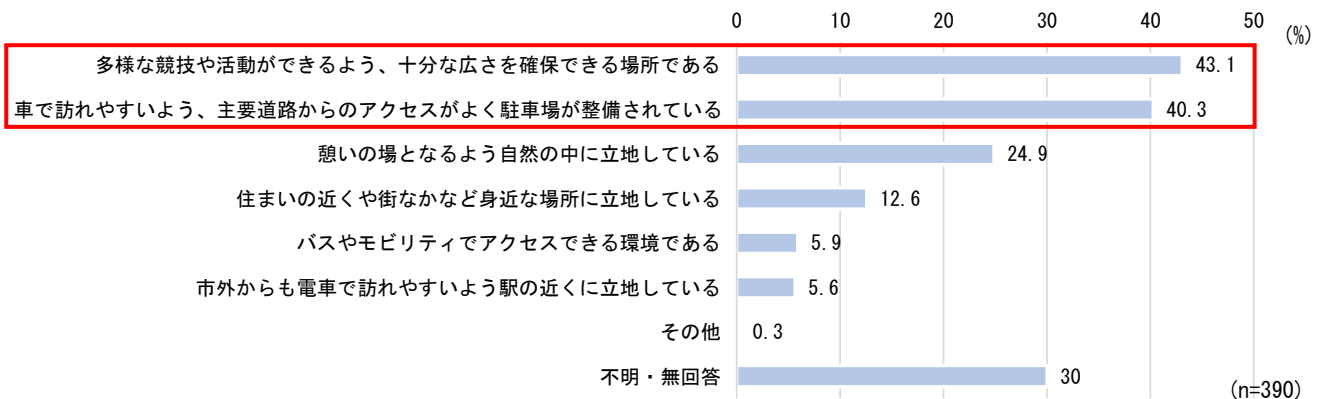
問9 総合運動公園で楽しみたいスポーツ

○グラウンド・ゴルフや、野球、サッカー、ウォーキング、バドミントンなどの回答が多い



問10 総合運動公園はどのような場所であることが重要か。

○多様な競技や活動ができる十分な広さが確保できる場所や、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されているが **4割超**



4 企業アンケート

(1) 調査概要

加西市内の企業を対象に、市内スポーツ施設の利用状況や新たな総合運動公園整備にあたっての意見を聞き取るためのアンケート調査を実施した。

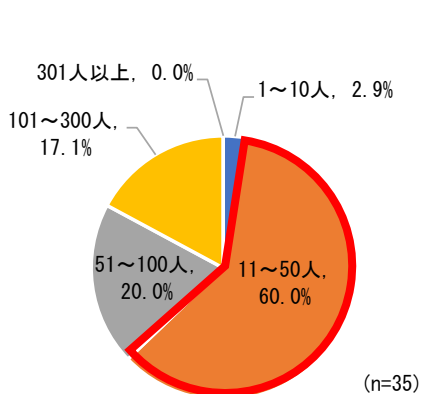
対象者	加西商工会議所の会員で従業員 11 名以上の事業所(200 社)
アンケート実施期間	令和 6 年 11 月 19 日～令和 6 年 12 月 4 日
アンケート方法	郵送での調査票配布(紙・WEB 回答)
アンケート回答数	配布件数:200 件 計:35 件 回答率 17.5%

(2) 調査結果

1 回答者

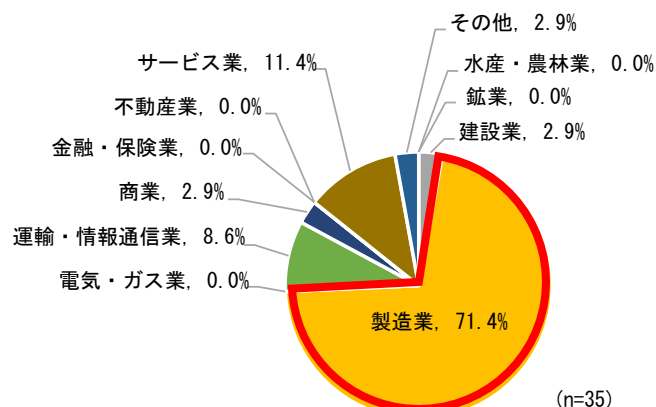
事業所の従業員数

○6割が「11人～50人」の従業員数



主な事業

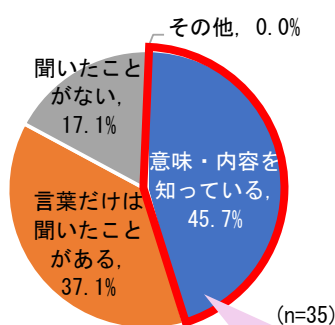
○7割が「製造業」



2 スポーツ・健康づくりへの関心・取組状況について

問1 「健康経営」について。

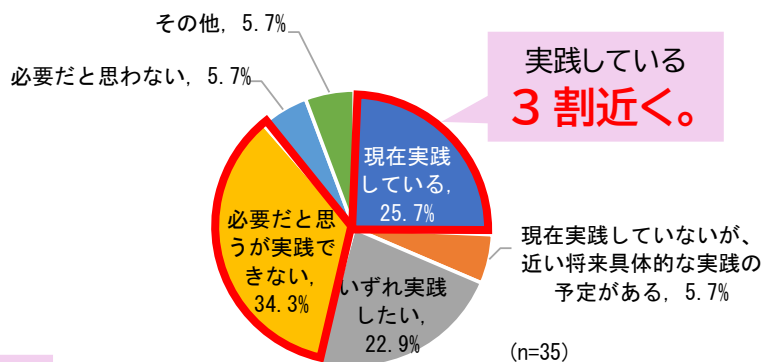
○「意味・内容を知っている」は半数近く。



意味・内容知っている
半数近く。

問2 「健康経営」を実践しているか。

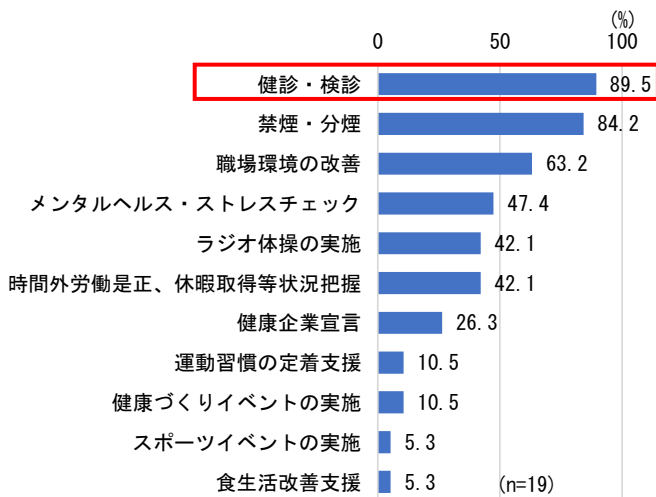
○「現在実践している」は3割近く。「必要だと思
うが実践できていない」も3割超



実践している
3割近く。

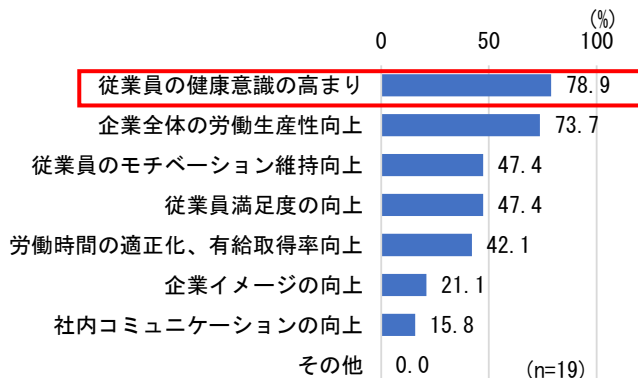
問3-1 「健康経営」で実践している（実践の予定がある）具体的な取組

○「健診・検診」が9割近く。「スポーツイベントの実施」は1割未満



問3-2 「健康経営」に取り組む（予定含む）目的はどのようなことか。

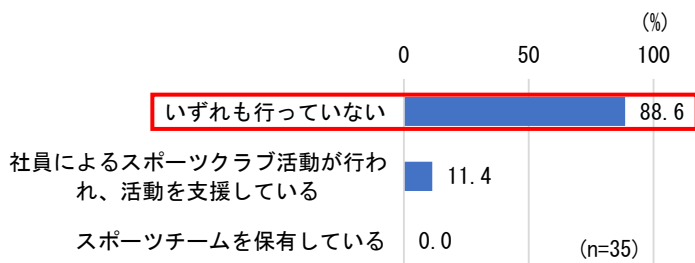
○「従業員の健康意識の高まり」が8割近く。



3 市のスポーツ施設について

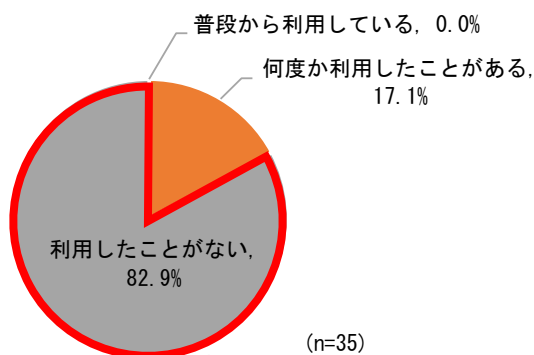
問4 運動・スポーツチームやクラブ等によるスポーツ活動を行っているか。

○「いずれも行っていない」が9割近く。



問5 本市のスポーツ施設について、利用したことはあるか。(スポーツ以外で利用した場合を含む)

○8割が「利用したことがない」

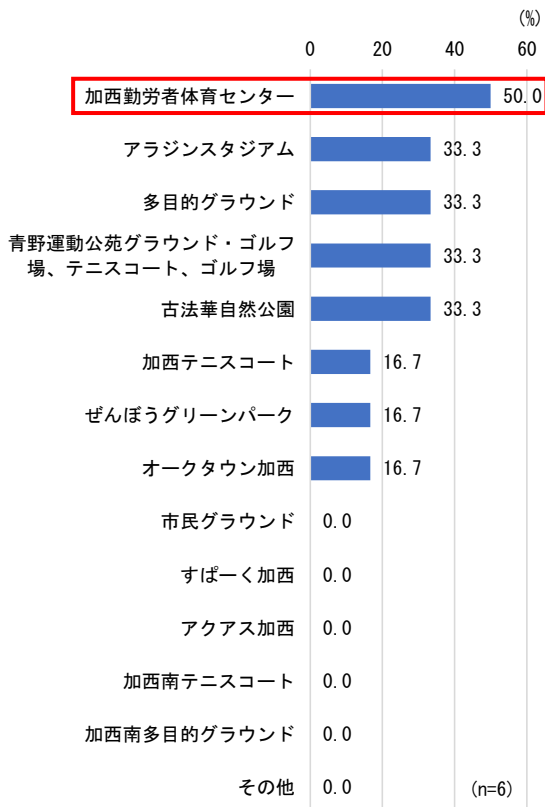


利用したことがない
8割超

4 総合運動公園整備について

問6 本市のスポーツ施設の中で利用したことがある施設

○半数が「加西勤労者体育センター」を利用



問6-2 どのような目的、用途で施設を利用したか。

○利用目的は「会社でのイベント」「社内サークル活動」等

目的
会社イベント (2)
社員の福利厚生 ・ 弊社利用者への紹介
スポーツをする 散歩 交友のため
所属しているバスケットボールチームの練習
社内サークル活動

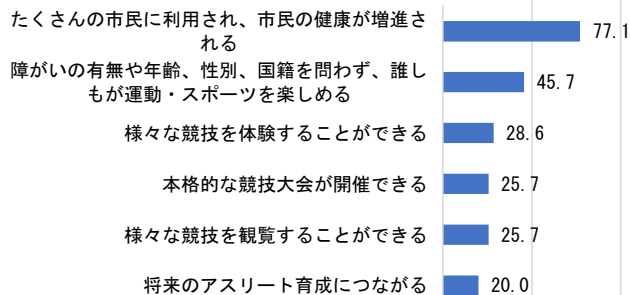
○利用用途は「レクリエーション活動」「ゴルフ、テニス」等

用途
レクリエーション活動
・ ゴルフ ・ テニス ・ ソフトテニス ・ グラウンド ・ ゴルフ ・ バレーボール
バスケットボールの練習
バレーボール、バドミントン

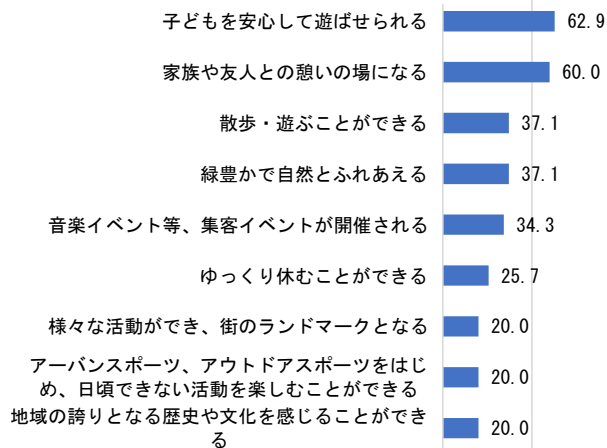
問7 新しい総合運動公園の整備において大切にすべき視点

○「たくさんの市民に利用され、市民の健康が増進される」が8割近く、「子どもを安心して遊ばせられる」、「家族や友人との憩いの場になる」などが6割前後

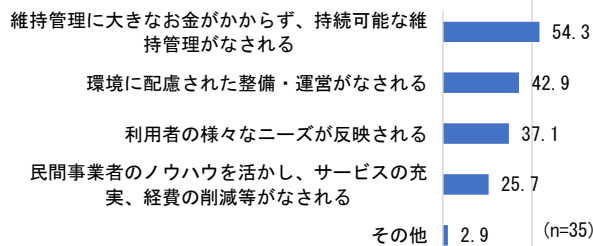
運動施設として



余暇活動を楽しむ場として



整備・維持・管理・運営

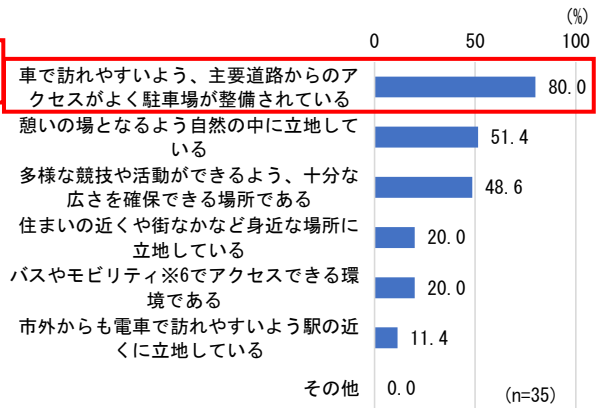
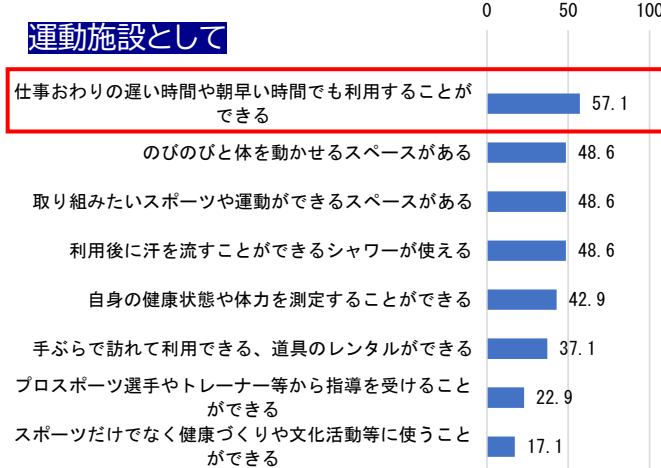


問8 どのような使い方ができれば、また、どのような機能があれば、総合運動公園を利用したいか。

問9 総合運動公園はどのような場所であることが重要か。

○「子どもが元気に遊べる総合遊具がある」が8割、「仕事おわりの遅い時間や朝早い時間でも利用することができる」が6割近く。

○「車で訪れやすいよう、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されている」が8割



5 関係団体アンケート

(1)調査の概要

①調査の目的

総合運動公園の整備に向けて、市内で活動する団体等を対象に、市内の運動施設や公園の利用状況、総合運動公園に求められる役割や必要となる機能等について、具体的なニーズを把握し、総合運動公園の基本構想・基本計画検討につなげることを目的に調査を実施する。

②調査期間・調査方法

調査方法	配布：郵送(一部加西市から持ち込み) 回収：郵送・WEB
調査時期	8月10日～8月25日

③調査対象・調査項目及び調査方法 調査期間・回収状況

1)高齢者団体

調査対象	加西市シニアクラブ連合会
回答率	100%(1団体/1団体)
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ○団体概要(加入者数、主に運動・スポーツに取り組むクラブ数、取り組んでいる主なスポーツ競技、主に利用する市内運動・スポーツ施設) ○市内スポーツ施設(満足度、問題点・課題) ○将来の活動の方向性(10年後の活動のあり方、所属人数の目標、地域や学校等とのつながり等) ○総合運動公園(整備にあたって大切にすべき視点、新たな施設の使い方、楽しみたいスポーツ、立地場所等)

2)障がい者団体

調査対象	加西市身体障害者福祉協会
回答率	100%(1団体/1団体)
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ○団体概要(加入者数、身体障害者が主に利用する運動・スポーツ施設及びスポーツ競技の種類・野外活動等) ○市内で身体障害者が活動している運動・スポーツクラブ ○市内スポーツ施設(満足度、問題点・課題) ○将来の活動の方向性(10年後の活動のあり方、所属人数の目標、地域や学校等とのつながり等) ○総合運動公園(整備にあたって大切にすべき視点、新たな施設の使い方、楽しみたいスポーツ、立地場所等)

3)青少年育成団体

調査対象	子ども会育成連絡協議会、加西市青少年団体連絡協議会、青少年健全育成連絡協議会
回答率	66.6%(2団体/3団体)
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ○団体概要(加入者数、加入団体数、主に団体で利用する運動・スポーツ施設及びスポーツ競技・野外活動等) ○市内スポーツ施設(満足度、問題点・課題) ○将来の活動の方向性(10年後の活動のあり方、所属人数の目標、地域や学校等とのつながり等) ○総合運動公園(整備にあたって大切にすべき視点、新たな施設の使い方、楽しみたいスポーツ、立地場所等)

4)スポーツ協会傘下の競技団体

調査対象	各競技団体(18 団体)※競技団体(15団体)理事+会長・副会長・理事長
回答率	72.2%(13 団体/18 団体)
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ○団体概要(加入者数、主に団体に利用する運動・スポーツ施設及びスポーツ競技等) ○スポーツ活動に取り組む上での問題点、課題(所属人数、指導者不足・高齢化、活動場所の不足等) ○市内スポーツ施設(満足度、問題点・課題) ○将来の活動の方向性(10 年後の活動のあり方、所属人数の目標、地域や学校等とのつながり等) ○部活動地域移行(担い手になる可能性、活動場所等) ○総合運動公園(整備にあたって大切にすべき視点、新たな施設の使い方、楽しみたいスポーツ、立地場所等)

5)スポーツ少年団

調査対象	各競技団体(23 団体)
回答率	78.2%(18 団体/23 団体)
主な調査項目	(4)と同じ。

6)スポーツクラブ 21

調査対象	市内団体(6団体)※現在活動中のクラブ
回答率	66.6%(4 団体/6 団体)
主な調査項目	(4)と同じ。

7)加西市スポーツ推進委員

調査対象	18 人
回答率	83.3%(15 人/18 人)
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ○回答者属性(性別、年齢、活動地域) ○スポーツ活動に取り組む上での問題点、課題(地域で運動・スポーツに取り組む人の減少、指導者不足・高齢化、活動場所の不足等) ○市内スポーツ施設(満足度、問題点・課題) ○将来の活動の方向性(10 年後の活動のあり方、地域や学校等とのつながり等) ○部活動地域移行(担い手になる可能性、活動場所等) ○総合運動公園(整備にあたって大切にすべき視点、新たな施設の使い方、楽しみたいスポーツ、立地場所等)

(2)調査結果

①シニアクラブ連合会・加西市身体障害者福祉協会・青少年育成団体 回答:4 団体

団体概要について

- ・高齢者団体ではスポーツ活動としてグラウンド・ゴルフ、モルック、ゲートボールを青野運動公園、市民グラウンド、すば一く加西で実施している。※別途各地区シニアクラブの活動でそれぞれ小学校か市のグラウンドで実施
- ・障がい者団体ではスポーツ活動としてグラウンド・ゴルフを実施
- ・青少年育成団体ではスポーツ活動としてドッジボール大会、球技大会等を善防公民館・ぜんぼうグリーンパークで実施している。

現在の活動環境について

- ・青野運動公園について、「市の施設ではないため使用料が生じる」「電気設備とトイレが遠く不便」、「雨天の心配」「加西市全体からみて立地が不便」等の意見があった。
- ・市民グラウンドは、中心地にもあり利便性がよく駐車台数が多いが、駐車場からのアクセスが悪いとの意見があった。
- ・すば一く加西は屋内型で利用しやすいが、大きな大会の開催には不向きとの評価があった。
- ・施設全体としてトイレ等の日常点検を望む声があった。
- ・善防公民館、グリーンパークに関しては「利用時間・利用枠の拡大」や「施設の付属器具や用具の改善・拡充」「ナイター照明設備の設置・充実」「利用施設の整備」を求める意見があった。

団体の今後の活動について

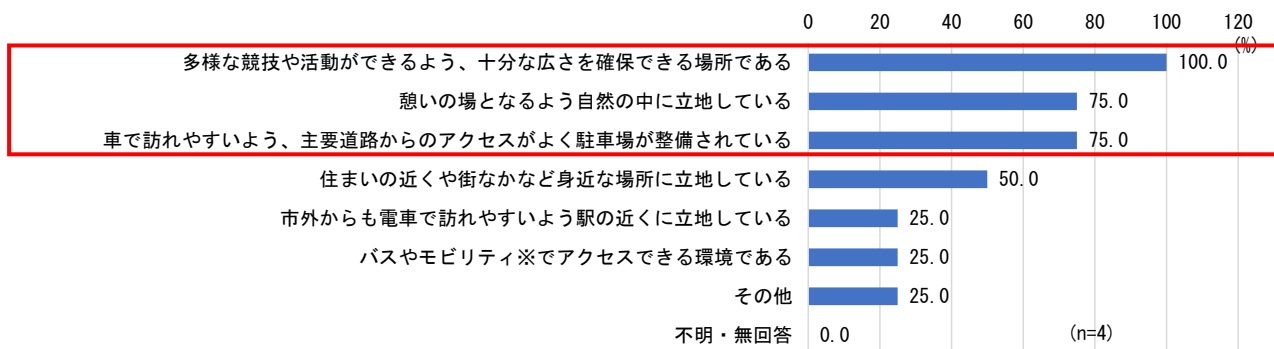
- ・当面はグランドゴルフ(を継続)との意見があった。

新たな総合運動公園の整備について

- ・新たな総合運動公園について、高齢者団体は「利用する予定はない」、障がい者団体は「利用したい」、青少年育成団体は「現時点ではわからない」との回答があった。
- ・障がい者団体はスポーツ活動の場・レクリエーション大会の場として使用したいとの意向があった。
- ・高齢者・障がい者の利用を促進するためには、車いすでも使えるアクセス性の良いトイレや施設全体のバリアフリー、駐車場からのアクセス性が重要との意見があった。また、大きな大会を催す場合は駐車場及び周辺に昼食がとれる施設が必要、全天候型が望ましい、との意見があった。

【新たな総合運動公園についてどのような場所であることが重要か】

- ・「多様な競技や活動ができるよう、十分な広さを確保できる」は全ての対象団体が重要と考えている。「場所である憩いの場となるよう自然の中に立地している」「車で訪れやすいよう、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されている」が8割



②競技団体 回答:13 団体

団体について

・各団体の会員数は、4人～1,736人となっており、大小様々な規模の団体から回答があった。

団体の運営・活動の現状について

・会員増には、それぞれの地域において参加者を増やすための声掛け、他市との交流、教室・体験会等の実施に取り組んでいる。

・高齢者・障がい者活動への配慮は、8割の団体で配慮している。(子どもから高齢者までが参加できる、年齢に合わせた競技・指導体制等)

活動場所・施設について

・普段の練習・大会には市内各地のスポーツ施設をはじめ、学校施設等が活用されている。

・使用している加西市の公共スポーツ施設の満足度について

- ① スポーツ施設としての機能性:半数近くが満足
- ② 空調設備:半数以上が不満
- ③ トイレ・更衣室等の清潔さ:7割近くが不満
- ④ バリアフリーの状況:4割近くが満足
- ⑤ 駐輪場・駐車場の台数:7割近くが満足
- ⑥ 施設までの交通の便:半数以上が満足
- ⑦ 施設の予約・利用申し込み方法:半数以上が満足
- ⑧ 利用時間の設定:8割以上が満足
- ⑨ 利用料金の設定:8割以上が満足
- ⑩ 職員の親切さ:6割以上が満足

・活動している施設について半数近くが更衣室・駐車場等の改善・拡充を望んでいる。

活動における課題について

・高齢化、所属人数の減少を挙げる団体が多くなっている。また、大きな大会を受け入れる施設、活動できる場所が少ないとの意見もある。

団体の今後の活動について

・活動者を増やしたいと意見が9割と最も多い。

・小中学生、高校生等と一緒に活動をしたい、他市との合同の大会を開催、プロ興行の実施をしたいとの意見があった。

行政に対して期待している点について

・練習や大会に使用する場所の充実を求める意見が6割と最も多い。

部活動の地域移行について

・3割が「条件が整えば担い手になることは可能」と回答している一方、4割近くの団体が、担い手になることは難しいと回答

新たな総合運動公園の整備について

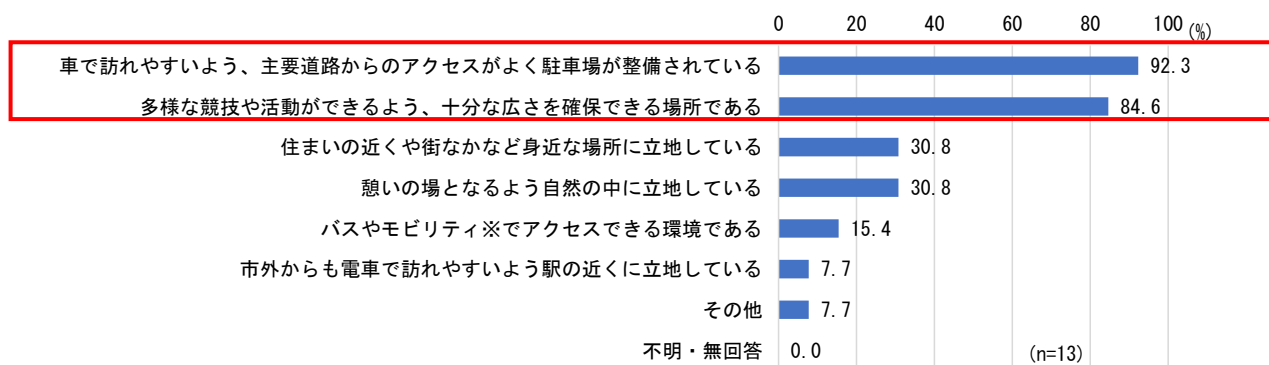
・新たな総合運動公園について8割近くの団体が「使用したい」と回答している。

・新たな総合運動公園で想定される使い方は大会の開催、普段の練習場所などの回答が多い。

・所属者の利用を促進する上で留意が必要な事項については、屋内空調や観客席、屋根付きベンチの整備、トイレの充実、周辺飲食店や休憩場所の充実等の要望がある。

【新たな総合運動公園についてどのような場所であることが重要か】

・「車で訪れやすいよう、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されている」が9割、「多様な競技や活動ができるよう、十分な広さが確保できる場所である」が8割



③スポーツ少年団 回答:18 団体

団体について

- ・各団体の会員数は9人～140人となっている。

団体の運営・活動の現状について

- ・会員増には、入団案内やPRの工夫、体験会や教室等の開催に取り組んでいる様子が見える。
- ・高齢者・障がい者活動への配慮は、8割の団体が配慮している。(年齢に合わせた競技・指導体制、気配り・目配り等)

活動場所・施設について

- ・普段の練習・大会には主に市内学校施設や公民館等を活用。スポーツ施設利用団体は少数。
- ・使用している加西市の公共スポーツ施設の満足度について

- ① スポーツ施設としての機能性:半数近くが不満
- ② 空調設備:半数が不満
- ③ トイレ・更衣室等の清潔さ:6割以上が不満
- ④ バリアフリーの状況:3割が満足
- ⑤ 駐輪場・駐車場の台数:6割が満足
- ⑥ 施設までの交通の便:6割が満足
- ⑦ 施設の予約・利用申し込み方法:6割が満足
- ⑧ 利用時間の設定:8割以上が満足
- ⑨ 利用料金の設定:6割以上が満足
- ⑩ 職員の親切さ:6割以上が満足

- ・活動している施設について4割が「利用施設の整備」、「施設の付属器具や用具の改善・拡充」を望んでいる。具体的な課題点として、空調の整備、器具の保管場所などが求められている。

活動における課題について

- ・所属人数の減少、指導者不足を挙げる団体が多くなっている。

団体の今後の活動について

- ・活動者を増やしたいと意見が6割と最も多い。
- ・小学校、中学校と連携した体験会、部活動の連携などに今後取り組みたいとの意見があった。

行政に対して期待している点について

- ・練習や大会に使用する場所の充実を求める意見が半数と最も多い。

部活動の地域移行について

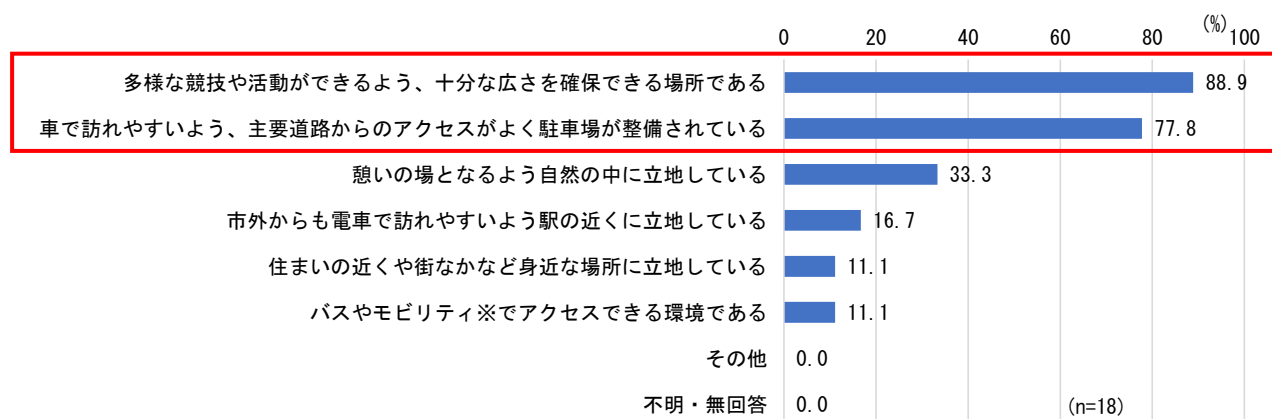
- ・3割が「条件を整えば担い手になることは可能」と回答している一方、半数の団体が、担い手になることは難しいと回答

新たな総合運動公園の整備について

- ・新たな総合運動公園について半数の団体が「使用したい」と回答している。
- ・新たな総合運動公園で想定される使い方は大会の開催、普段の練習場所、練習試合等の回答が多い。
- ・所属者の利用を促進する上で留意が必要な事項については、屋内空調やトイレの充実の要望が多い。

【新たな総合運動公園についてどのような場所であることが重要か】

・「多様な競技や活動ができるよう、十分な広さが確保できる場所である」が9割近く、「車で訪れやすいよう、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されている」が8割近く。



④スポーツクラブ 21 回答:4 団体

団体について

- ・各団体の会員数は約 60 人～130 人となっている。

団体の運営・活動の現状について

- ・会員増には、行事の際の声掛けや広報誌による PR に取り組んでいる。
- ・高齢者・障がい者活動への配慮は、半数の団体で配慮している。(気配り・目配り等)

活動場所・施設について

- ・普段の練習・大会には主に市内学校施設や公民館等を活用
- ・使用している加西市の公共スポーツ施設の満足度について

- ① スポーツ施設としての機能性: 半数が不満
- ② 空調設備: 全団体が不満
- ③ トイレ・更衣室等の清潔さ: 8 割近くが不満
- ④ バリアフリーの状況: 7 割が不満
- ⑤ 駐輪場・駐車場の台数: 半数が満足
- ⑥ 施設までの交通の便: 8 割近くが不満
- ⑦ 施設の予約・利用申し込み方法: 半数が満足
- ⑧ 利用時間の設定: 8割以上が満足
- ⑨ 利用料金の設定: 半数が満足
- ⑩ 職員の親切さ: 8 割近くが満足

- ・活動している施設について半数が「施設の付属器具や用具の改善・拡充」を望んでいる。具体的な課題点として、空調の整備が求められている。

活動における課題について

- ・高齢化、所属人数の減少を挙げる団体が多くなっている。

団体の今後の活動について

- ・よりたくさんの方がスポーツを楽しめる団体にしたいという意見が半数と最も多い。
- ・スポーツ少年団等と連携したイベントの開催に今後取り組みたいとの意見があった。

行政に対して期待している点について

- ・練習や大会に使用する場所の充実を求める意見が半数と最も多い。

部活動の地域移行について

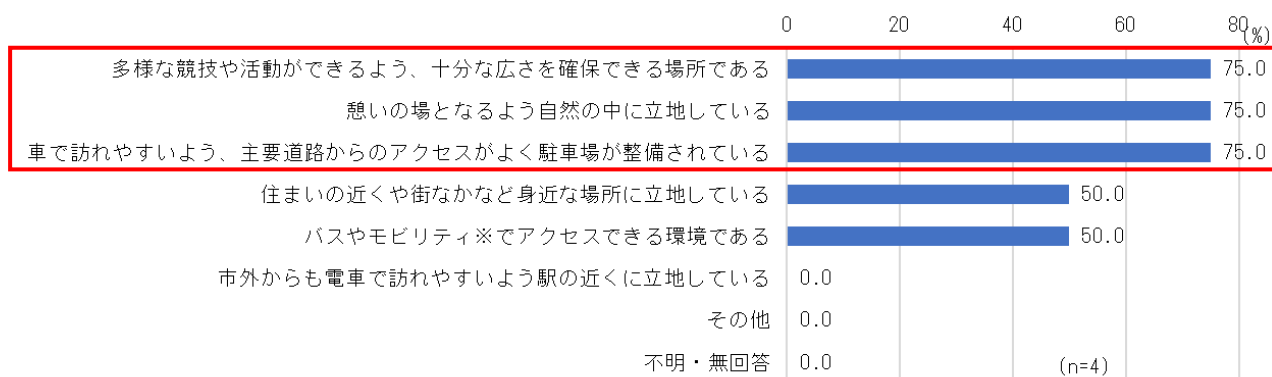
- ・半数の団体が、担い手になることは難しいと回答

新たな総合運動公園の整備について

- ・新たな総合運動公園について 8 割の団体が「使用したい」と回答している。
- ・新たな総合運動公園で想定される使い方は大会の開催、普段の練習場所、イベントなどの回答が多い。
- ・所属者の利用を促進する上で留意が必要な事項については、屋内空調や休憩スペースの整備の要望が多い。

【新たな総合運動公園についてどのような場所であることが重要か】

・「多様な競技や活動ができるよう、十分な広さが確保できる場所である」、「憩いの場となるよう自然の中に立地している」、「車で訪れやすいよう、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されている」がそれぞれ8割近く。



⑤スポーツ推進委員 回答者:15名

回答者属性について

- ・スポーツ推進委員の年代は40歳代～70歳代で、60歳代が約半数となっている。

スポーツ推進活動の現状について

- ・主に勤労者体育センターや市内学校施設や公民館等が活動場所となっている。
- ・活動内容はニュースポーツ教室が最も多く、他にソフトバレーボールやヨガ、健康体操などの活動が行われている。
- ・活動している施設について半数前後が「施設の付属器具や用具の改善・拡充」「更衣室・駐車場等の付帯設備の改善・拡充」を望んでいる。具体的な課題点として、空調の整備、施設の広さの拡充が挙げられている。

スポーツ推進活動の問題点・課題について

- ・指導者不足、スポーツ活動へ参加する市民が少ないことなどが問題点として挙げられている。また、活動場所の不足や、活動している施設等の環境への不満等も挙げられている。

今後のスポーツ推進活動について

- ・「活動者を増やしたい」「よりたくさんの方がスポーツを楽しめる団体にしたい」という意見がと意見が7割前後と最も多い。
- ・幅広い年齢層や他地域と連携した体験会、今の活動の充実、広報の強化などに今後取り組みたいとの意見があった。

部活動の地域移行について

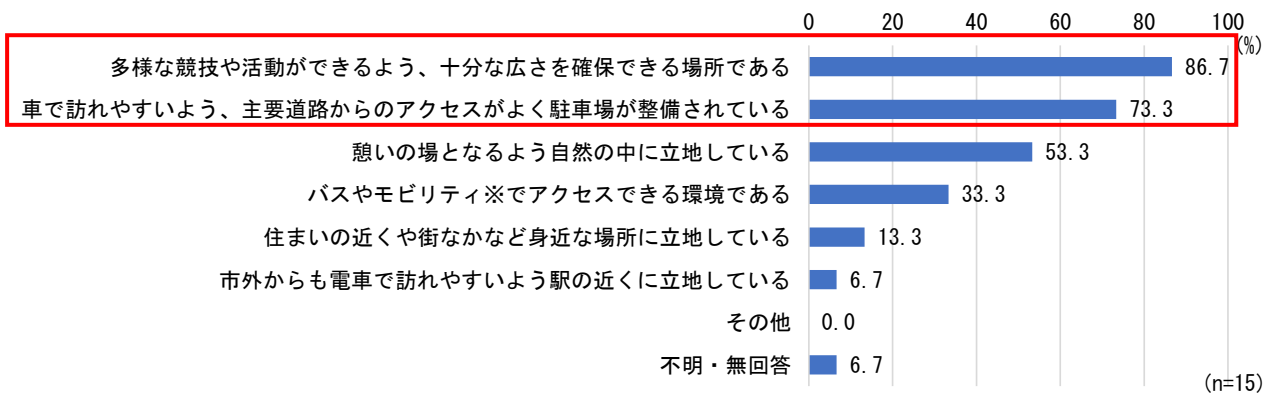
- ・できることがあれば協力したいという意見がある一方、指導にはスキルが不足し難しいとの意見も多い。

新たな総合運動公園の整備について

- ・新たな総合運動公園について8割の委員が「使用したい」と回答している。
- ・新たな総合運動公園で想定される使い方は教室の開催、練習場所、イベントなどの回答が多い。
- ・所属者の利用を促進する上で留意が必要な事項については、トイレ、駐車場の確保、管理のしやすさや安全の確保、ジョギングコースの整備などの要望があった。

【新たな総合運動公園についてどのような場所であることが重要か】

- ・「多様な競技や活動ができるよう、十分な広さが確保できる場所である」「車で訪れやすいよう、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されている」が9割近く、「車で訪れやすいよう、主要道路からのアクセスがよく駐車場が整備されている」が7割。



加西市総合運動防災公園 基本構想

発行日 2025年(令和7年)8月

発行 加西市地域部文化スポーツ課

電話 0790-42-1110(代表)

URL <https://www.city.kasai.hyogo.jp/>